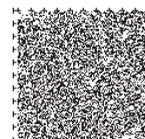
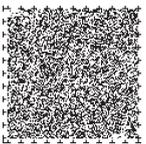


# 障害者の住まい方に関する調査 報告書

平成29年（2017年）3月

練馬区

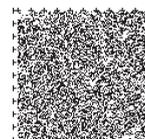




# 障害者の住まい方に関する調査 報告書

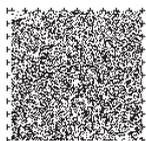
平成29年（2017年）3月

練馬区



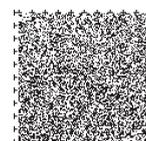
#### 【音声コードについて】

- 各ページの角に印刷された模様は「音声コード」と言います。
- 市販の「活字読上げ装置」を利用して音声聞くことができます。
- 模様の印刷された部分を装置に差し込んで読み取らせてます。
- なお、模様の印刷された部分には、位置をわかりやすくするために、ページの端に「切りかき」をつけています。
- また、音声コードで読みあげられる内容は、実際に印刷されている内容とは、若干異なる場合があります。あらかじめご了承ください。



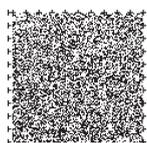
# 目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査期間	1
5	回収状況と集計数	1
	（1）回収状況	1
	（2）障害等の重複状況と集計数	1
6	報告書の見方	2
II	調査回答者の概要	3
1	調査票の記入者	3
2	年齢	3
3	性別	4
4	障害者手帳の所持	4
5	障害の程度	5
6	医療費助成制度の利用状況	6
7	障害支援区分の認定状況と認定区分	7
8	障害福祉サービスの利用状況	8
	（1）利用している障害福祉サービス	8
	（2）生活介護・自立訓練・就労支援・デイケアの通所日数	11
9	医療的ケアの状況	12
	（1）日常生活を送るための医療的ケアの必要性	12
	（2）必要な医療的ケア	13
III	現在の生活状況	14
1	自身の収入源	14
2	現在の就労形態	17
3	自身の1か月の合計収入（生活保護・家族等の収入除く）	18
4	主な生計維持者	21
5	主な生計維持者の年齢	24
6	主な生計維持者の年収	25
7	居住地区	27
8	現在の居住形態	28
9	同居家族と主な介助者	29



# 目 次

<b>IV 住まい方の希望</b> .....	32
1 希望する住まい方 .....	32
(1) 全体の傾向 .....	32
(2) 知的障害者の状況 .....	36
(3) 精神障害者の状況 .....	40
(4) 身体障害者の状況 .....	44
(5) 難病患者の状況 .....	50
2 グループホームに求めるもの .....	54
(1) グループホームの家賃負担の希望 .....	54
(2) グループホームの立地条件（周辺環境）について重視すること ..	57
(3) グループホームの入居条件の希望 .....	60
(4) グループホームで必要とする支援 .....	63
(5) グループホームにほしい共同設備（自由意見） .....	66
(6) グループホーム整備にあたっての希望（自由意見） .....	68
(7) グループホーム入居にあたっての心配ごと・課題（自由意見） ..	70
<b>V 地域で生活するための希望</b> .....	72
1 地域で生活するために希望するサービス（自由意見） .....	72
2 地域で生活する時に困ったこと .....	73
3 住まいに関する意見・要望（自由意見） .....	76
<b>資料 使用した調査票</b> .....	77



# I 調査の概要

## 1 調査目的

障害者が住み慣れた地域で安心して生活していくためには、暮らしの基盤となる住まいの確保が不可欠である。障害者の個々の状況によっては、グループホームなど、居住の場の充実が必要となる。

そこで、グループホームへの入居など、障害者自身や家族の将来の住まい方へのニーズを把握し、今後の施策展開の参考とするため、本調査を実施する。

## 2 調査対象

身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、自立支援医療制度（精神通院）の利用者、難病医療費助成制度の申請者より抽出（平成28年3月現在）

## 3 調査方法

郵送配布・郵送回収

## 4 調査期間

平成28年9月7日（水）～10月17日（月）

## 5 回収状況と集計数

### （1）回収状況

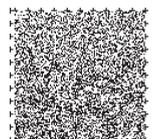
		発送数	有効回収数	有効回収率
調査票の区分	知的障害者	2,163	959	44.3%
	精神障害者	2,438	739	30.3%
	身体障害者	2,251	1,009	44.8%
	難病患者	1,786	751	42.0%
合計		8,638	3,458	40.0%

### （2）障害等の重複状況と集計数

 重複

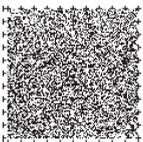
		調査票の区分				集計数 (重複含む)
		知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者	
調査の回答	知的障害者	959	12	85	5	1,061
	精神障害者	190	739	51	11	991
	身体障害者	5	16	1,009	170	1,200
	難病患者	8	10	91	751	860

※ 調査回答者のなかには、複数の障害がある方がいる。複数の障害がある方の意見を適切に反映するため、重複障害のある方の回答はそれぞれの障害種別に重複して集計している。



## 6 報告書の見方

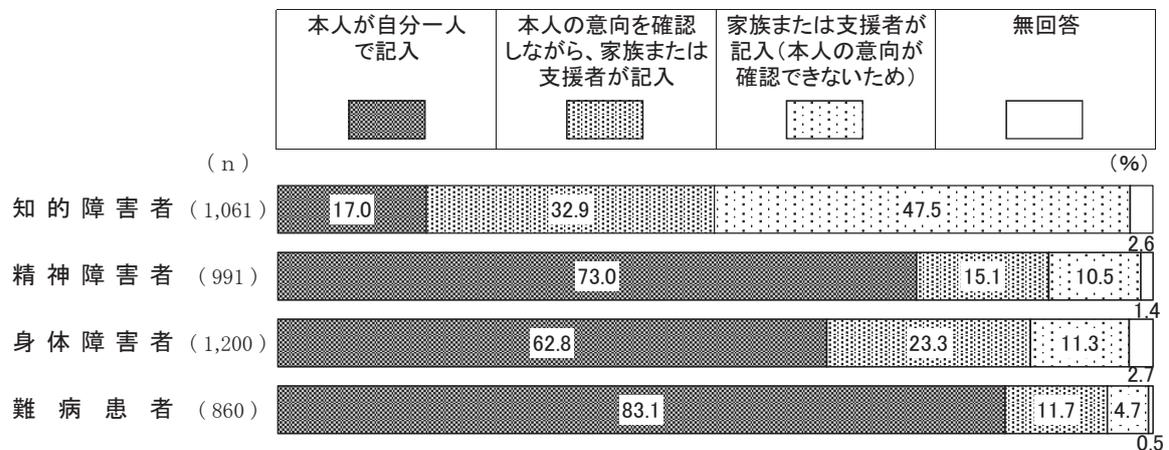
- (1) 図・表中の「 $n$ 」とは、その質問への回答者総数（基数）のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として百分率で算出し、小数点第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) クロス集計では、属性部分（分析軸）から「無回答」を除いて表示しているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。
- (5) また、クロス集計の属性部分（分析軸）のうち、回答者総数が少ない場合、掲載を省略している場合がある。
- (6) 図・表中、スペースの都合上、回答選択肢の一部を簡略化している場合がある。
- (7) 各設問の説明では、基数（ $n$ ）が少ない項目は分析の対象から外している。



## II 調査回答者の概要

### 1 調査票の記入者

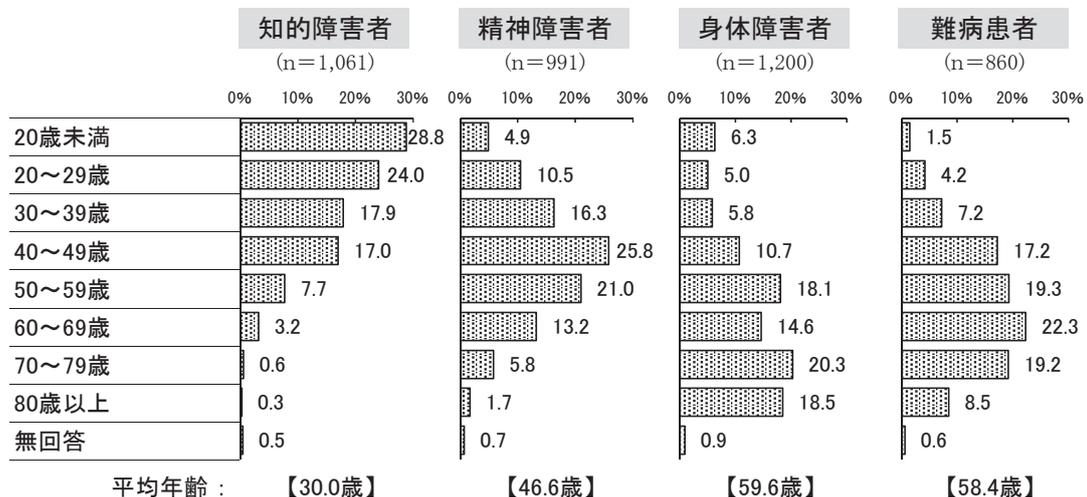
問1：この調査票は、どなたが記入されますか。（○は1つ）



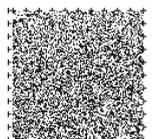
- 調査票の記入者は、「本人が自分一人で記入」は難病患者（83.1%）が8割台、精神障害者（73.0%）が7割台、身体障害者（62.8%）が6割台となっている。知的障害者は「家族または支援者が記入（本人の意向が確認できないため）」（47.5%）が5割近くを占めている。

### 2 年齢

問2：あなたの年齢をお答えください。※平成28年（今年の）4月1日現在でご記入ください。

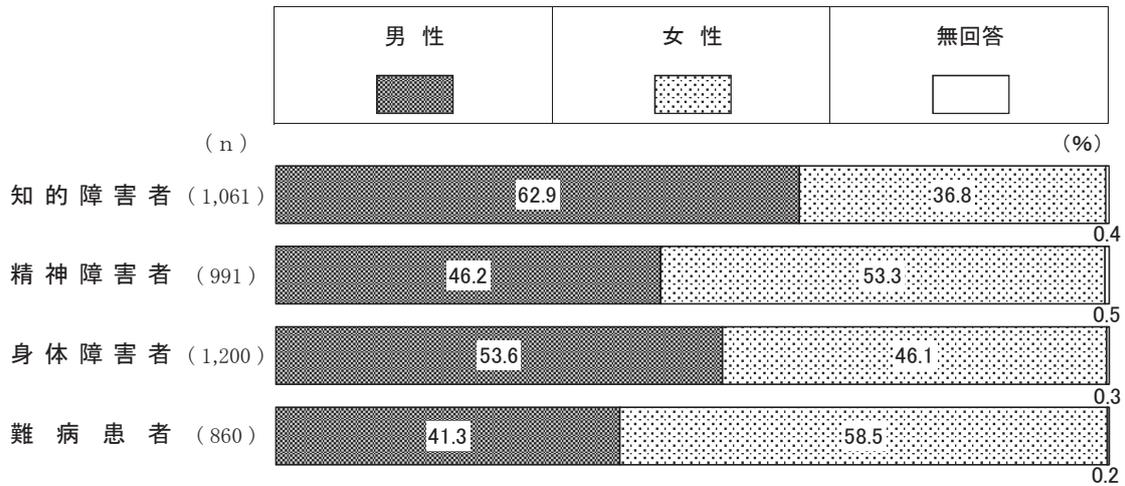


- 年齢は、知的障害者は「20歳未満」が3割近く、「20～29歳」が2割半ばと、29歳までで5割を超えており、平均は30.0歳となっている。精神障害者は「40～49歳」「50～59歳」がそれぞれ2割台と多く、年齢の分布は広く、平均は46.6歳となっている。身体障害者、難病患者は50歳以上の合計でそれぞれ7割前後を占め、平均はともに60歳近くとなっている。



### 3 性別

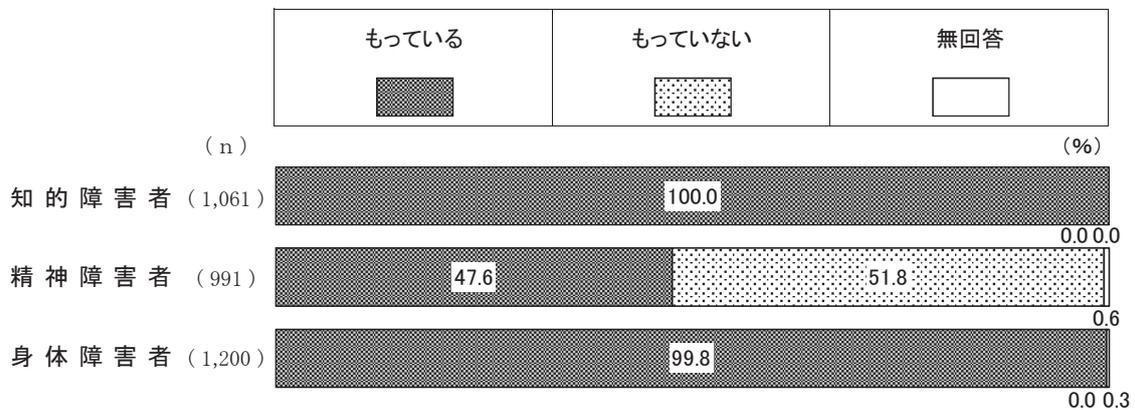
問3：あなたの性別をお答えください。（○は1つ）



- 性別は、知的障害者は「男性」（62.9%）が6割を超え、難病患者は「女性」（58.5%）が6割近くとなっている。

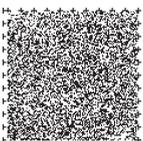
### 4 障害者手帳の所持

問4：あなたは障害者手帳を持っていますか。（○は1つ）



※知的障害者は「愛の手帳」、精神障害者は「精神障害者保健福祉手帳」、身体障害者は「身体障害者手帳」の所持について。  
 ※難病患者は重複する障害の手帳の所持となるため割愛している。

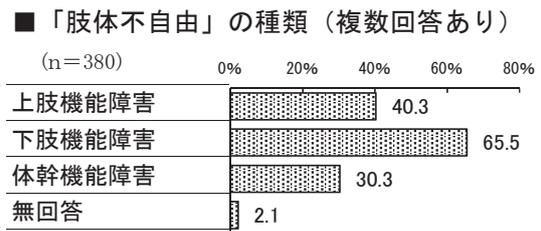
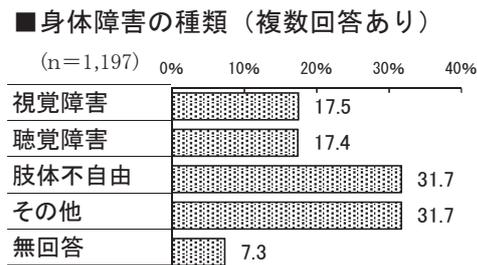
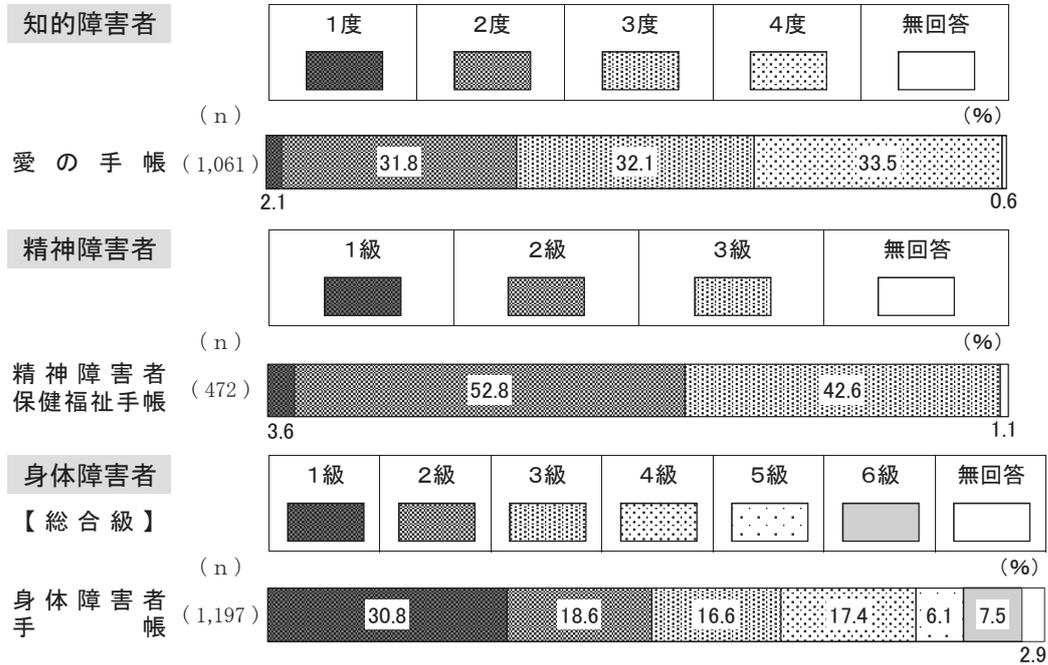
- 障害者手帳の所持については、知的障害者（愛の手帳）、身体障害者（身体障害者手帳）は対象の条件になっているためほぼ全員が所持している。精神障害者（精神障害者保健福祉手帳）は「もっている」（47.6%）が5割近くとなっている。



## 5 障害の程度

【問4で「1. もっている」とお答えの方にお聞きします】

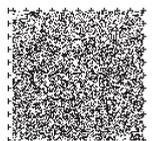
問4-1：あなたがもっている障害者手帳の種類と等級・度数をお答えください。



■ 身体障害の種類別等級 (n) (%)

(n)		1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	無回答
視覚障害	(210)	31.0	27.6	9.0	9.0	15.2	6.7	/	1.4
聴覚障害	(208)	/	31.7	18.3	18.8	/	29.3	/	1.9
肢体不自由	上肢機能障害 (153)	17.0	25.5	24.8	11.1	2.0	13.1	6.5	-
	下肢機能障害 (249)	14.9	12.0	24.9	31.7	6.0	6.0	4.0	0.4
	体幹機能障害 (115)	27.0	29.6	26.1	3.5	12.2	/	/	1.7
その他	(380)	48.9	6.8	17.6	20.5	2.6	0.5	/	2.9

- 障害の程度は、知的障害者は「2度」（31.8%）、「3度」（32.1%）、「4度」（33.5%）がそれぞれ3割台となっている。
- 精神障害者は「2級」（52.8%）が5割を超え、「3級」（42.6%）が4割台となっている。
- 身体障害者の総合級は「1級」（30.8%）が3割を占め、「2級」「3級」「4級」が1割半ばから2割近くとなっている。身体障害の種類は「視覚障害」「聴覚障害」がそれぞれ2割近く、「肢体不自由」「その他」がそれぞれ3割を超えている。肢体不自由のうち、「下肢機能障害」が6割半ばと多く、上肢機能障害が4割、体幹機能障害が3割となっている。

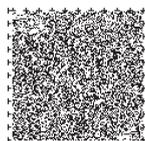


## 6 医療費助成制度の利用状況

問5：あなたは、自立支援医療（精神通院）または難病医療費の助成を利用していますか。

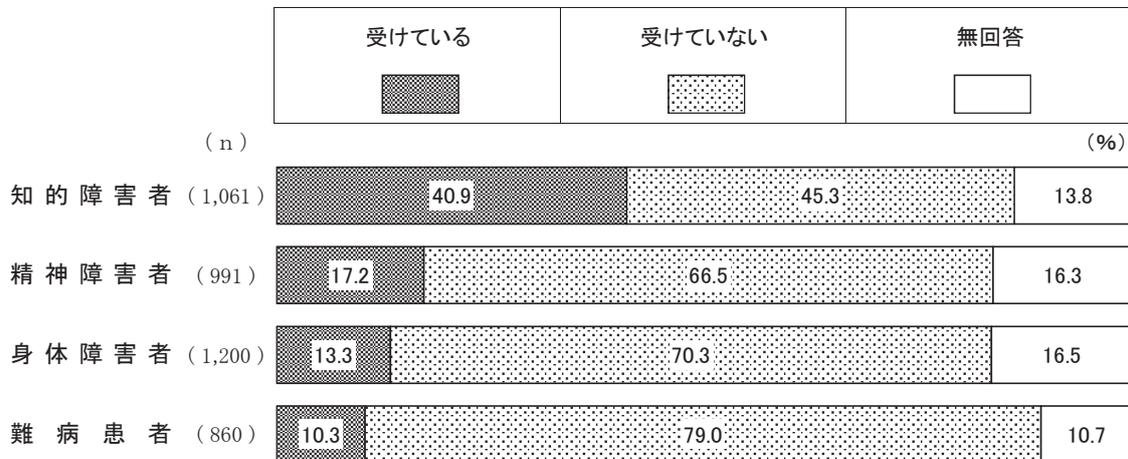
精神障害者		(%)	難病患者		(%)
(n)	自立支援医療 (精神通院)を 利用している		(n)	難病医療費助成を 利用している	
精神障害者	(991)	95.9	難病患者	(860)	99.2

- 医療費助成制度の利用状況は、精神障害者の自立支援医療（精神通院）の利用、難病患者の難病医療費助成の利用は対象の条件のため、100%近くとなっている。

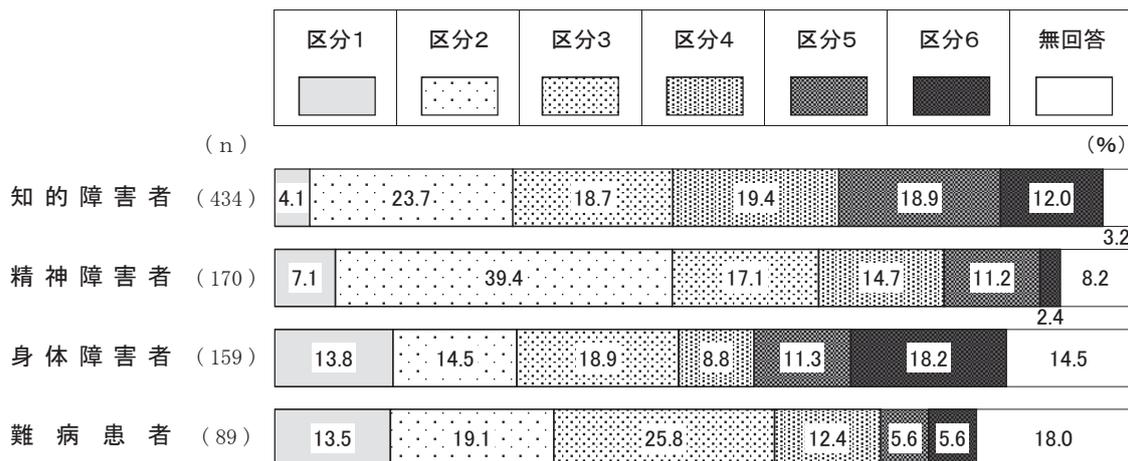


## 7 障害支援区分の認定状況と認定区分

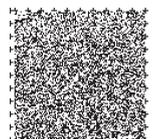
問6：あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。（○は1つ）  
認定を受けている場合には、現在の区分に○をつけてください。



<区分認定を受けている人>



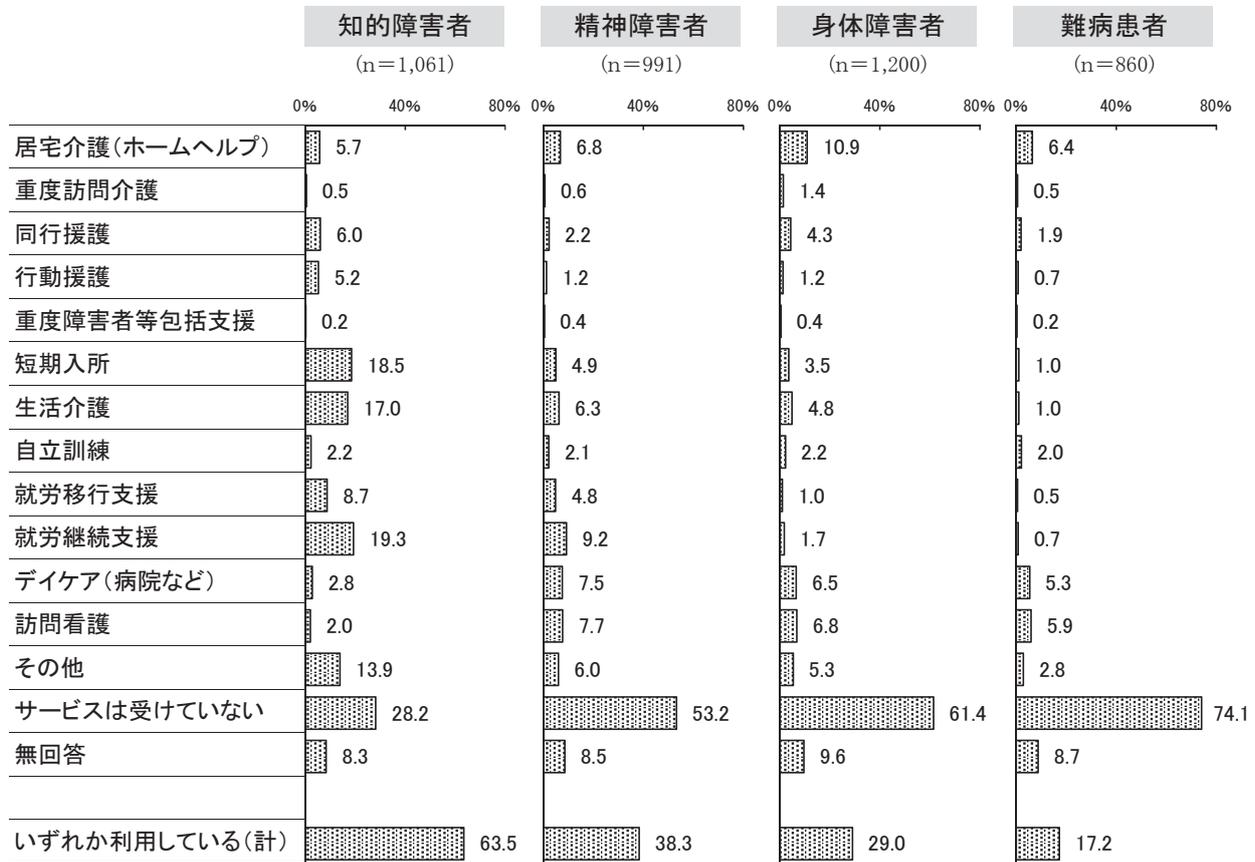
- 障害支援区分の認定を「受けている」は、知的障害者（40.9％）で4割、精神障害者（17.2％）で2割近く、身体障害者（13.3％）、難病患者（10.3％）でそれぞれ1割台となっている。
- 認定を受けている人の認定区分は、知的障害者は「区分2」（23.7％）が2割を超え、「区分3」（18.7％）、「区分4」（19.4％）、「区分5」（18.9％）がそれぞれ2割近く、「区分6」（12.0％）が1割台となっている。精神障害者は「区分2」（39.4％）が4割を占めている。身体障害者は「区分1」から「区分6」まで1割から2割と分布しており、「区分6」（18.2％）が2割近くと他の障害者より多くなっている。難病患者は「区分2」（19.1％）が2割、「区分3」（25.8％）が2割半ばとなっており、「区分5」「区分6」（ともに5.6％）は少なくなっている。



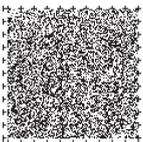
## 8 障害福祉サービスの利用状況

### (1) 利用している障害福祉サービス

問7：あなたは現在、障害福祉サービスを利用していますか。  
 あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



- 利用している障害福祉サービスは、知的障害者は「短期入所」「生活介護」「就労継続支援」がそれぞれ2割近くとなっており、「いずれか利用している(計)」(63.5%)が6割を超えている。
- 精神障害者は「いずれか利用している(計)」(38.3%)が4割近くと知的障害者に次いで多くなっている。
- 身体障害者は「居宅介護(ホームヘルプ)」が1割となっており、「いずれか利用している(計)」(29.0%)が3割となっている。
- 難病患者は「いずれか利用している(計)」(17.2%)が2割未満と最も少なくなっている。



【 利用している障害福祉サービス 】

(%)

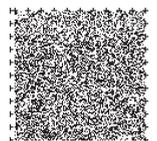
知的障害者		(n)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	短期入所	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	デイケア (病院など)	訪問看護	その他	サービスは 受けていない	無回答	いずれか 利用している (計)
全体		(1,061)	5.7	0.5	6.0	5.2	0.2	18.5	17.0	2.2	8.7	19.3	2.8	2.0	13.9	28.2	8.3	63.5
支援 区分 別	受けていない	(481)	1.7	-	1.9	1.9	-	3.5	1.7	1.2	6.0	10.2	2.5	1.5	15.4	53.2	7.1	39.7
	区分1・2	(121)	10.7	0.8	9.1	3.3	0.8	16.5	8.3	1.7	13.2	33.1	3.3	4.1	18.2	9.9	5.0	85.1
	区分3・4	(165)	7.9	-	9.1	10.9	-	41.2	30.3	4.2	12.1	38.2	2.4	-	10.9	3.6	3.0	93.3
	区分5・6	(134)	14.2	2.2	14.2	13.4	-	54.5	76.9	3.0	0.7	9.0	-	2.2	11.9	3.0	0.7	96.3

- 知的障害者について支援区分別にみると、「同行援護」「行動援護」「短期入所」「生活介護」などは区分が重いほど多く、区分5・6は「生活介護」が7割半ば、「短期入所」が5割を超えている。また、「就労継続支援」は区分1・2、区分3・4でそれぞれ3割を超えている。「いずれか利用している(計)」は区分1・2で8割半ば、区分3・4、区分5・6で9割を超えている。

(%)

精神障害者		(n)	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等 包括支援	短期入所	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	デイケア (病院など)	訪問看護	その他	サービスは 受けていない	無回答	いずれか 利用している (計)
全体		(991)	6.8	0.6	2.2	1.2	0.4	4.9	6.3	2.1	4.8	9.2	7.5	7.7	6.0	53.2	8.5	38.3
支援 区分 別	受けていない	(659)	3.5	0.2	0.6	0.3	0.2	1.1	1.5	0.9	3.3	4.4	6.7	5.3	4.9	68.7	6.2	25.0
	区分1・2	(79)	26.6	1.3	6.3	2.5	1.3	5.1	13.9	3.8	10.1	25.3	6.3	17.7	11.4	17.7	5.1	77.2
	区分3・4	(54)	13.0	-	7.4	7.4	-	35.2	25.9	5.6	9.3	33.3	3.7	3.7	11.1	5.6	5.6	88.9
	区分5・6	(23)	8.7	4.3	21.7	13.0	-	43.5	60.9	-	4.3	17.4	-	4.3	8.7	-	-	100.0

- 精神障害者について支援区分別にみると、知的障害者と同様、「同行援護」「行動援護」「短期入所」「生活介護」などは区分が重いほど多く、区分5・6は「生活介護」が6割、「短期入所」が4割を超えている。また、「就労継続支援」は区分1・2で2割半ば、区分3・4で3割台となっている。「いずれか利用している(計)」は区分1・2で8割近く、区分3・4で9割近く、区分5・6で100%となっている。



(%)

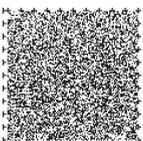
身体障害者		居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	デイケア (病院など)	訪問看護	その他	サービスは受けていない	無回答	いずれか利用している (計)	
(n)																		
全体	(1,200)	10.9	1.4	4.3	1.2	0.4	3.5	4.8	2.2	1.0	1.7	6.5	6.8	5.3	61.4	9.6	29.0	
支援 区 分 別	受けていない	(843)	5.9	0.4	2.1	0.2	-	1.4	1.4	1.3	0.7	5.2	5.0	3.1	76.4	6.6	17.0	
	区分1・2	(45)	31.1	2.2	13.3	4.4	2.2	2.2	11.1	8.9	2.2	6.7	11.1	8.9	15.6	22.2	11.1	66.7
	区分3・4	(44)	40.9	2.3	11.4	9.1	-	11.4	13.6	9.1	6.8	11.4	15.9	11.4	11.4	20.5	2.3	77.3
	区分5・6	(47)	34.0	19.1	12.8	8.5	-	31.9	42.6	6.4	-	-	2.1	17.0	10.6	4.3	4.3	91.5
障 害 の 種 類 別	視覚障害	(210)	11.0	1.4	15.2	1.0	-	1.9	5.2	1.9	1.4	2.4	5.7	4.3	4.3	56.7	9.5	33.8
	聴覚障害	(208)	2.9	1.0	1.0	1.0	0.5	4.3	4.8	1.4	0.5	0.5	4.3	1.4	4.3	72.1	10.6	17.3
	肢体不自由	(380)	20.5	2.9	2.4	2.9	0.8	6.8	6.3	3.2	0.5	1.3	12.4	12.4	8.2	46.8	8.2	45.0
	その他	(380)	7.6	1.6	2.4	0.8	0.5	2.9	5.3	1.8	1.1	2.4	5.5	6.6	3.4	67.1	9.7	23.2

- 身体障害者について支援区分別にみると、「重度訪問介護」「短期入所」「生活介護」「訪問看護」などは区分が重いほど多く、区分5・6は「生活介護」が4割を超え、「短期入所」が3割台となっている。「居宅介護(ホームヘルプ)」は区分3・4で4割、区分5・6で3割半ばとなっている。「いずれか利用している(計)」は区分1・2で6割半ば、区分3・4で8割近く、区分5・6で9割を超えている。
- また、障害の種類別にみると、視覚障害で「同行援護」が1割半ば、肢体不自由で「居宅介護(ホームヘルプ)」が2割などとなっている。「いずれか利用している(計)」は視覚障害で3割台、聴覚障害で2割近く、肢体不自由で4割半ばとなっている。

(%)

難病患者		居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問介護	同行援護	行動援護	重度障害者等包括支援	短期入所	生活介護	自立訓練	就労移行支援	就労継続支援	デイケア (病院など)	訪問看護	その他	サービスは受けていない	無回答	いずれか利用している (計)	
(n)																		
全体	(860)	6.4	0.5	1.9	0.7	0.2	1.0	1.0	2.0	0.5	0.7	5.3	5.9	2.8	74.1	8.7	17.2	
支 援 区 分 別	受けていない	(679)	3.5	-	0.6	0.1	-	0.7	0.1	1.3	-	0.4	3.8	4.0	0.7	84.1	6.2	9.7
	区分1・2	(29)	6.9	-	6.9	3.4	-	-	6.9	-	3.4	17.2	6.9	10.3	27.6	27.6	44.8	
	区分3・4	(34)	20.6	-	2.9	5.9	-	2.9	5.9	11.8	8.8	-	11.8	14.7	8.8	41.2	5.9	52.9
	区分5・6	(10)	60.0	30.0	20.0	10.0	-	-	10.0	-	-	-	40.0	20.0	-	10.0	90.0	

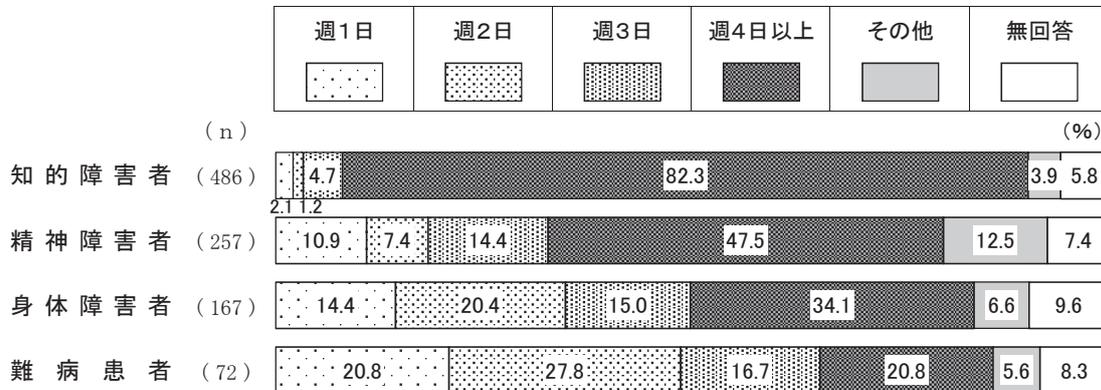
- 難病患者について支援区分別にみると、「居宅介護(ホームヘルプ)」「重度訪問介護」「行動援護」「訪問看護」などは区分が重いほど多くなっている。「いずれか利用している(計)」は区分1・2で4割半ば、区分3・4で5割台、区分5・6で9割となっている。



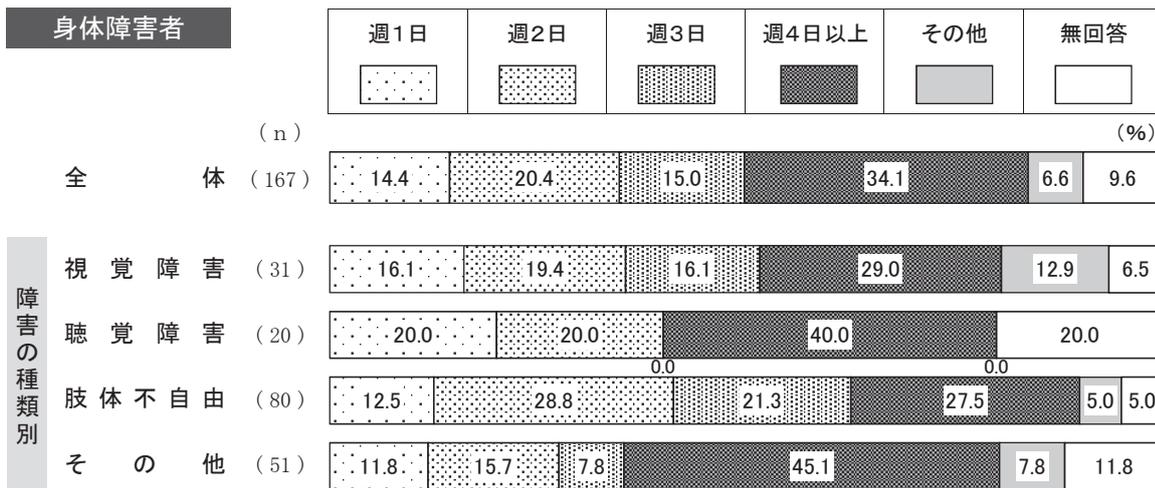
(2) 生活介護・自立訓練・就労支援・デイケアの通所日数

【 問7で「7.生活介護」「8.自立訓練」「9.就労移行支援」「10.就労継続支援」「11.デイケア（病院など）」とお答えの方にお聞きます 】

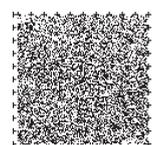
問7-1：「生活介護」「自立訓練」「就労移行支援」「就労継続支援」「デイケア」へは、1週間に平均何日くらい通っていますか。（○は1つ）



- 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、デイケア（病院など）のいずれかのサービスを利用している人の1週間の通所日数は、知的障害者は「週4日以上」（82.3%）が8割を占め多くなっている。
- 精神障害者は「週4日以上」（47.5%）が5割近く、「週3日」（14.4%）が1割半ばとなっており、知的障害者に次いで通所日数が多くなっている。
- 身体障害者は「週4日以上」（34.1%）が3割半ば、「週1日」「週2日」「週3日」がそれぞれ1割半ばから2割となっている。
- 難病患者は「週1日」から「週4日以上」がそれぞれ2割前後と分布しており、通所日数は最も少なくなっている。



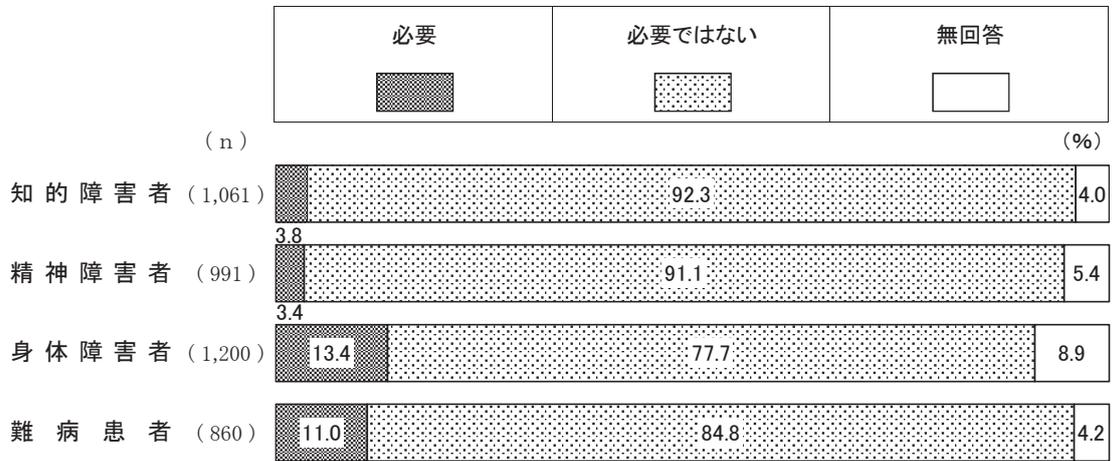
- 身体障害者について障害の種類別にみると、視覚障害は「週1日」から「週4日以上」まで比較的分散している。聴覚障害は「週4日以上」が4割、肢体不自由は「週2日」と「週4日以上」がそれぞれ3割近く、その他は「週4日以上」が4割半ばと多くなっている。



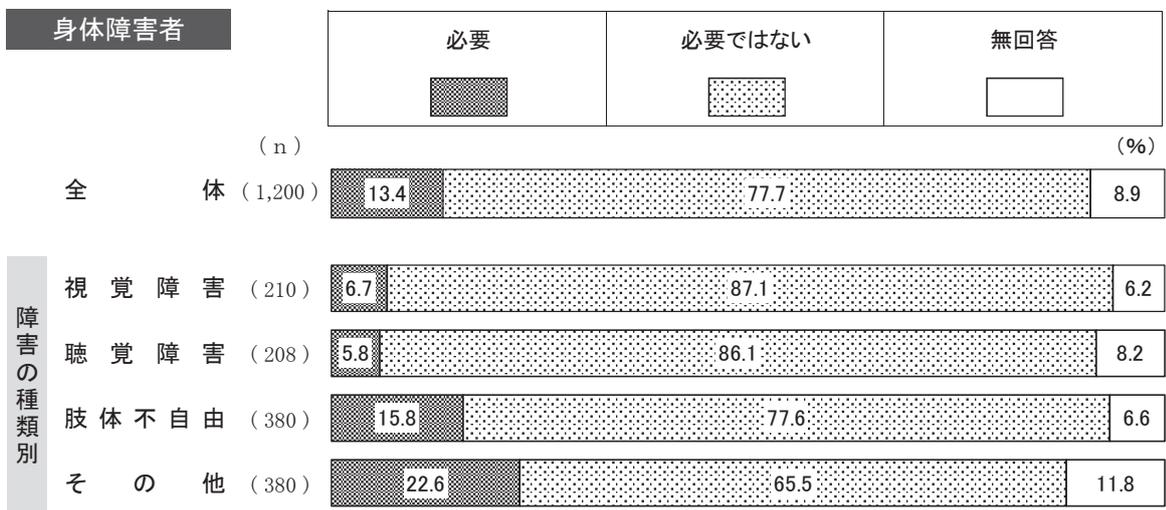
## 9 医療的ケアの状況

### (1) 日常生活を送るための医療的ケアの必要性

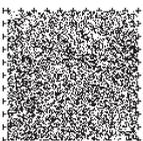
問8：あなたは現在、日常生活をおくるために、医療的なケアを必要としていますか。  
(○は1つ)



- 日常生活を送るために医療的ケアを「必要」と回答した割合は、知的障害者（3.8%）、精神障害者（3.4%）でそれぞれ1割未満、身体障害者（13.4%）、難病患者（11.0%）でそれぞれ1割台となっている。



- 身体障害者について障害の種類別にみると、肢体不自由（15.8%）で1割半ば、その他（22.6%）で2割を超えている。

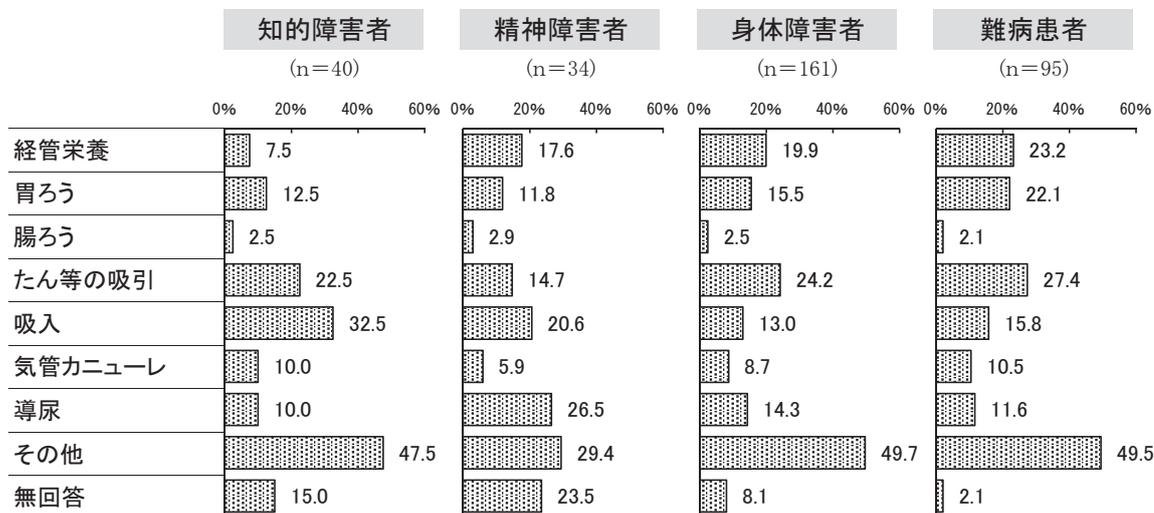


## (2) 必要な医療的ケア

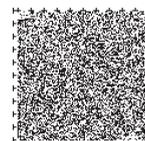
【問8で「1. 必要」とお答えの方にお聞きします】

問8-1：どのような医療的ケアが必要ですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)



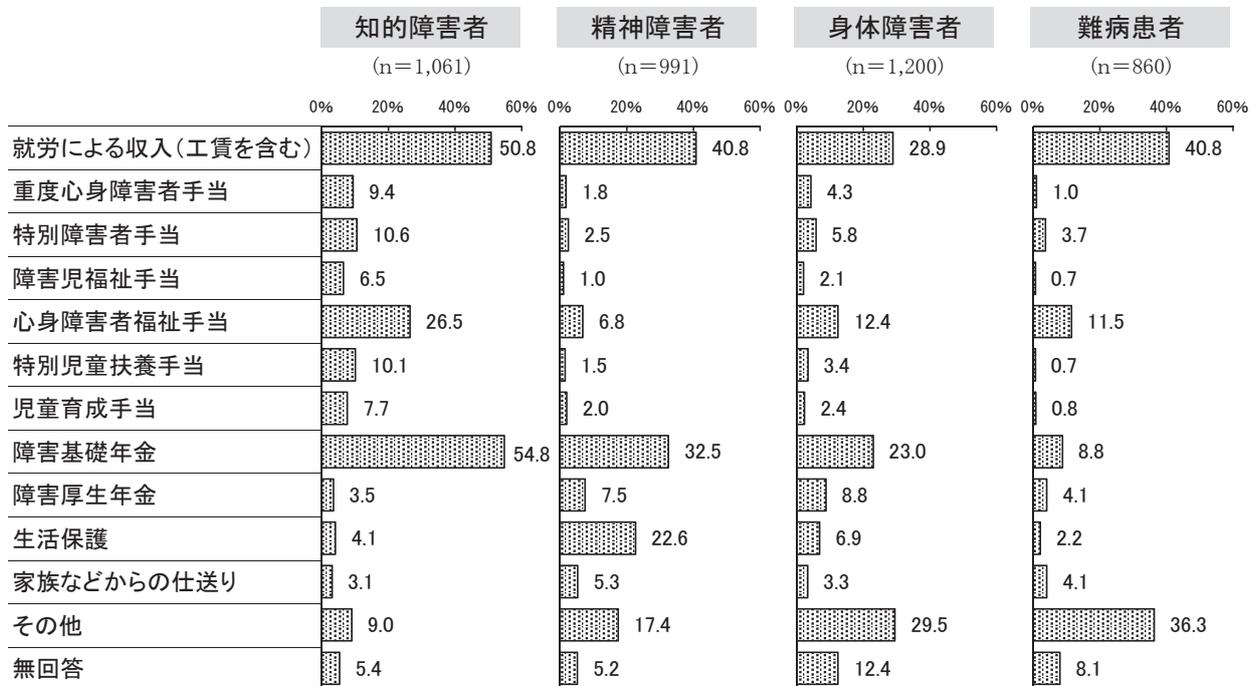
- 日常生活を送るために医療的ケアを必要とする人の医療的ケアの内容は、知的障害者は「吸入」(32.5%)、「たん等の吸引」(22.5%)などが多くなっている。
- 精神障害者は「導尿」(26.5%)、「吸入」(20.6%)などが多くなっている。
- 身体障害者は「たん等の吸引」(24.2%)、「経管栄養」(19.9%)などが多くなっている。
- 難病患者は「たん等の吸引」(27.4%)、「経管栄養」(23.2%)、「胃ろう」(22.1%)などが多くなっている。
- なお、「その他」については、知的障害者、精神障害者は「服薬・投薬」「注射」などが、また、知的障害者は他に「浣腸・座薬」などが挙げられている。身体障害者、難病患者は「人工透析」「人工呼吸器」「酸素療法」「カテーテル」「注射」などが、また、身体障害者は他に「ストーマ(人工肛門等)」などが挙げられている。



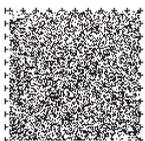
### Ⅲ 現在の生活状況

#### 1 自身の収入源

問9：現在のあなたご自身の収入について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)



- 現在の収入は、「就労による収入（工賃を含む）」は知的障害者（50.8%）で5割、精神障害者、難病患者（ともに40.8%）でそれぞれ4割、身体障害者（28.9%）で3割近くとなっている。
- 知的障害者は「障害基礎年金」（54.8%）が5割半ばと「就労による収入」より多くなっている。「心身障害者福祉手当」（26.5%）が2割半ばとなっている。
- 精神障害者は「障害基礎年金」（32.5%）が3割台、「生活保護」（22.6%）が2割台で次いでいる。
- 身体障害者は「障害基礎年金」（23.0%）が2割台、「心身障害者福祉手当」（12.4%）が1割台となっている。
- 難病患者は「心身障害者福祉手当」（11.5%）、「障害基礎年金」（8.8%）がそれぞれ1割前後となっている。
- なお、「その他」については、「老齢年金（厚生年金、国民年金等）」が多数を占めており、他に「失業保険」「傷病手当金」「医療費助成金」「貯金の切り崩し」「不動産収入」「家族の収入・家族等の扶養」「（収入）なし」などが挙げられている。



【 自身の収入源 】

(%)

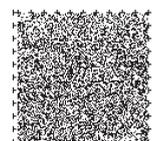
知的障害者		(n)	就労による収入 (工賃を含む)	重度心身障害者手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	心身障害者福祉手当	特別児童扶養手当	児童育成手当	障害基礎年金	障害厚生年金	生活保護	家族などからの仕送り	その他	無回答
全 体		(1,061)	50.8	9.4	10.6	6.5	26.5	10.1	7.7	54.8	3.5	4.1	3.1	9.0	5.4
支援 区 分 別	受けていない	(481)	47.6	2.1	2.7	4.8	18.7	13.7	11.2	40.1	2.9	5.6	2.9	12.7	7.9
	区分1・2	(121)	66.1	1.7	5.8	6.6	24.8	7.4	6.6	66.1	7.4	3.3	1.7	9.1	3.3
	区分3・4	(165)	64.8	10.9	15.2	6.7	35.8	6.1	3.0	75.2	2.4	-	4.8	4.8	1.8
	区分5・6	(134)	25.4	44.0	44.8	8.2	50.7	8.2	6.0	79.9	0.7	1.5	0.7	5.2	0.7

- 知的障害者について支援区分別にみると、「就労による収入（工賃を含む）」は区分1・2、区分3・4でそれぞれ6割半ばと多くなっている。また、「障害基礎年金」をはじめ「心身障害者福祉手当」「特別障害者手当」「重度心身障害者手当」などの障害に関する手当は、区分が重いほど多くなっている。

(%)

精神障害者		(n)	就労による収入 (工賃を含む)	重度心身障害者手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	心身障害者福祉手当	特別児童扶養手当	児童育成手当	障害基礎年金	障害厚生年金	生活保護	家族などからの仕送り	その他	無回答
全 体		(991)	40.8	1.8	2.5	1.0	6.8	1.5	2.0	32.5	7.5	22.6	5.3	17.4	5.2
支援 区 分 別	受けていない	(659)	40.2	0.3	0.8	0.3	4.6	1.1	2.3	24.7	7.0	23.5	5.8	19.4	4.9
	区分1・2	(79)	51.9	2.5	6.3	-	13.9	1.3	-	50.6	12.7	22.8	3.8	10.1	3.8
	区分3・4	(54)	59.3	5.6	9.3	5.6	24.1	5.6	1.9	74.1	7.4	-	5.6	5.6	1.9
	区分5・6	(23)	34.8	26.1	21.7	13.0	30.4	13.0	8.7	65.2	-	8.7	-	21.7	-

- 精神障害者について支援区分別にみると、知的障害者と同様の傾向となっており、「就労による収入（工賃を含む）」は区分1・2で5割、区分3・4で6割と多く、「障害基礎年金」をはじめとする障害に関する手当は、おおむね区分が重いほど多くなっている。



(%)

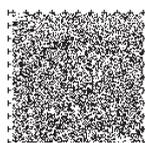
身体障害者		(n)	就労による収入 (工賃を含む)	重度心身障害者手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	心身障害者福祉手当	特別児童扶養手当	児童育成手当	障害基礎年金	障害厚生年金	生活保護	家族などからの仕送り	その他	無回答
全体		(1,200)	28.9	4.3	5.8	2.1	12.4	3.4	2.4	23.0	8.8	6.9	3.3	29.5	12.4
支援区分別	受けていない	(843)	32.0	1.9	3.0	1.8	10.8	3.4	2.8	19.8	8.9	5.8	3.4	32.5	10.7
	区分1・2	(45)	24.4	4.4	6.7	-	15.6	2.2	-	31.1	11.1	15.6	-	35.6	4.4
	区分3・4	(44)	36.4	6.8	6.8	9.1	18.2	9.1	-	36.4	2.3	4.5	6.8	18.2	13.6
	区分5・6	(47)	12.8	46.8	55.3	8.5	44.7	4.3	2.1	76.6	6.4	4.3	2.1	12.8	2.1
障害の種類別	視覚障害	(210)	31.4	4.3	7.1	1.0	10.5	1.4	1.0	31.4	9.0	6.2	6.2	28.1	8.1
	聴覚障害	(208)	35.1	4.8	2.9	1.0	15.4	5.3	2.9	23.1	4.3	7.2	1.9	23.6	15.4
	肢体不自由	(380)	20.0	7.9	9.7	4.2	14.2	4.7	4.2	23.2	8.9	6.8	3.2	31.8	11.1
	その他	(380)	30.0	2.9	6.3	1.6	10.8	3.2	2.1	20.3	10.5	8.7	2.6	30.8	11.6

- 身体障害者について支援区分別にみると、「就労による収入（工賃含む）」は区分認定を受けていない人で3割台、区分1・2で2割半ば、区分3・4で3割半ばとなっている。また、知的障害者、精神障害者と同様に障害関連の手当については区分が重いほど多くなっている。
- 障害の種類別にみると、「就労による収入（工賃を含む）」は視覚障害、聴覚障害、その他でそれぞれ3割台、肢体不自由で2割となっている。

(%)

難病患者		(n)	就労による収入 (工賃を含む)	重度心身障害者手当	特別障害者手当	障害児福祉手当	心身障害者福祉手当	特別児童扶養手当	児童育成手当	障害基礎年金	障害厚生年金	生活保護	家族などからの仕送り	その他	無回答
全体		(860)	40.8	1.0	3.7	0.7	11.5	0.7	0.8	8.8	4.1	2.2	4.1	36.3	8.1
支援区分別	受けていない	(679)	46.4	0.4	2.4	0.6	11.8	0.6	1.0	6.8	3.2	1.2	4.3	35.2	6.8
	区分1・2	(29)	17.2	-	3.4	6.9	17.2	3.4	-	10.3	-	13.8	3.4	44.8	3.4
	区分3・4	(34)	32.4	8.8	8.8	-	8.8	2.9	-	14.7	8.8	2.9	-	38.2	14.7
	区分5・6	(10)	30.0	10.0	30.0	-	30.0	-	-	60.0	10.0	-	-	40.0	-

- 難病患者について支援区分別にみると、「就労による収入（工賃を含む）」は区分認定を受けていない人で4割半ばとなっている。障害関連の手当については他の障害者と同様におおむね区分が重いほど多い傾向となっている。

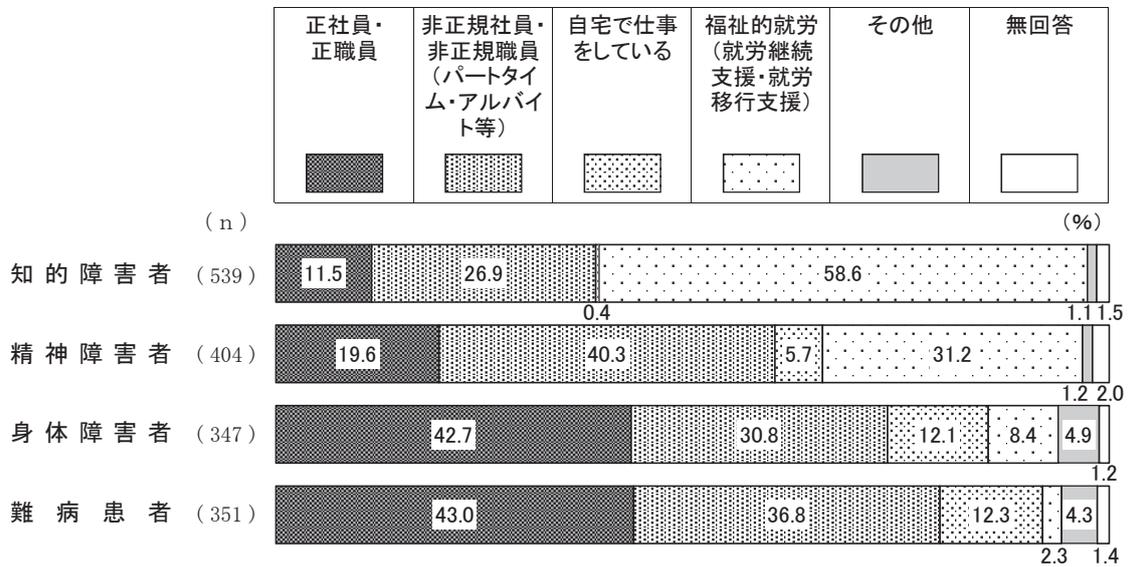


## 2 現在の就労形態

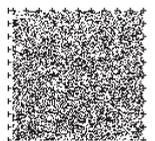
【 問9で「1. 就労による収入」とお答えの方にお聞きします 】

問9-2：あなたの現在の仕事の形態は、次のうちどれですか。（〇は1つ）

※複数の仕事をしている場合は、もっとも収入の多い仕事を1つお選びください。

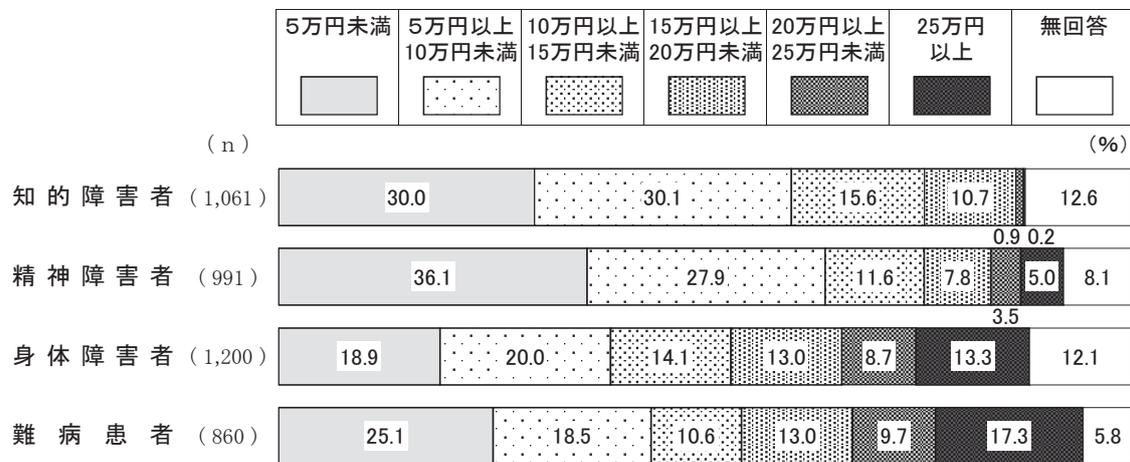


- 就労による収入のある方の現在の仕事の就労形態は、知的障害者は「福祉的就労（就労継続支援・就労移行支援）」（58.6%）が6割近くと最も多く、次いで「非正規社員・非正規職員（パートタイム・アルバイト等）」（26.9%）が2割半ばとなっている。
- 精神障害者は「非正規社員・非正規職員（パートタイム・アルバイト等）」（40.3%）が4割と最も多く、次いで「福祉的就労（就労継続支援・就労移行支援）」（31.2%）が3割台となっている。
- 身体障害者、難病患者は「正社員・正職員」（42.7%、43.0%）がそれぞれ4割を超え最も多く、「非正規社員・非正規職員（パートタイム・アルバイト等）」（30.8%、36.8%）がそれぞれ3割台で次いでいる。

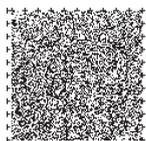


### 3 自身の1か月の合計収入（生活保護・家族等の収入除く）

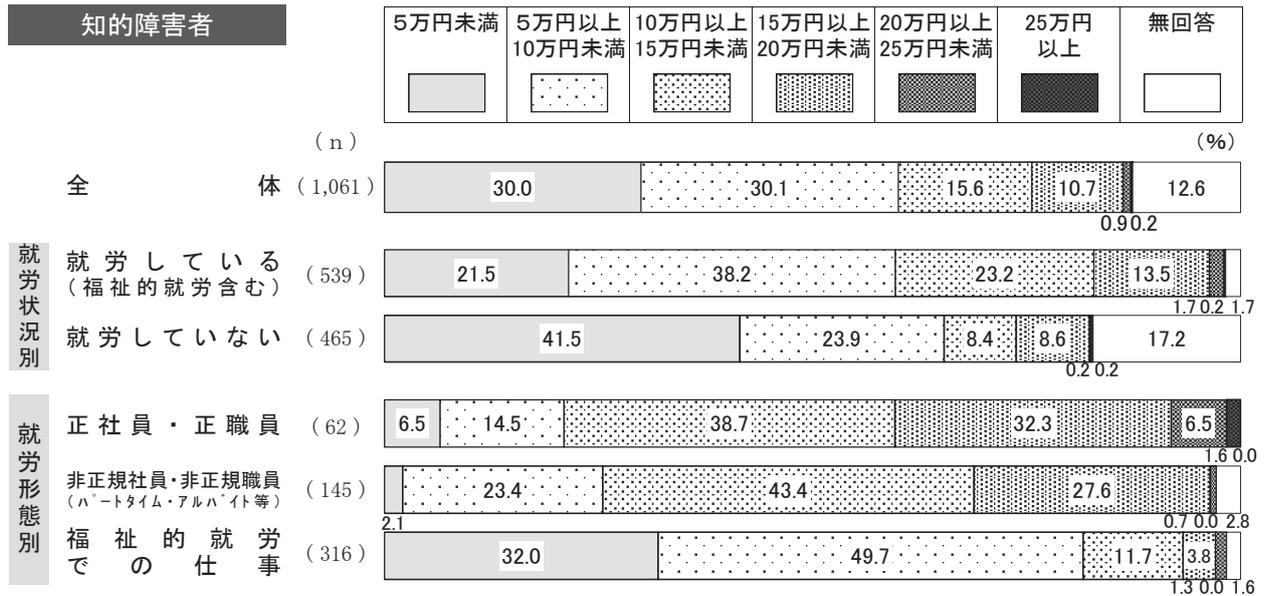
問9-1：あなたご自身について、1か月の合計収入（就労や手当を合わせた合計額）をお答えください。（○は1つ）  
 ※生活保護費、ご家族等の収入は除いてお答えください。



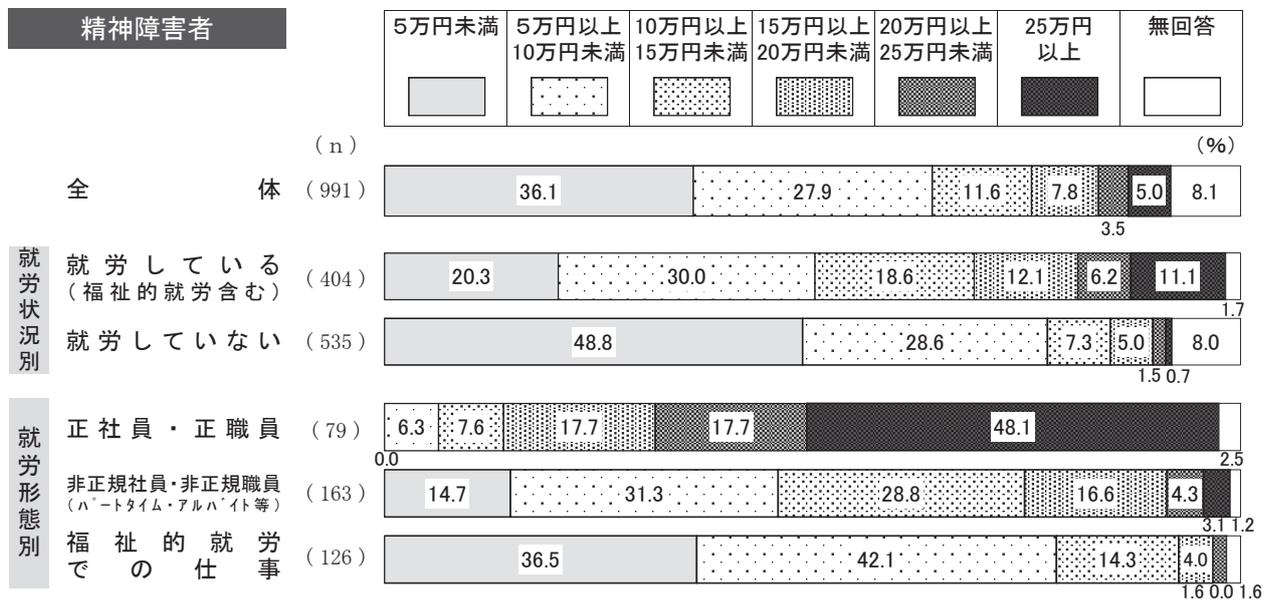
- 自身の1か月の合計収入（就労や手当を合わせた合計額）は、いずれの対象者も「5万円未満」もしくは「5万円以上10万円未満」が多くなっている。
- 知的障害者、精神障害者は「5万円未満」「5万円以上10万円未満」がそれぞれ3割前後と10万円未満までで6割を占めている。
- 身体障害者、難病患者は「5万円未満」「5万円以上10万円未満」がそれぞれ2割前後、「10万円以上15万円未満」から「25万円以上」がそれぞれ1割近くから1割以上となっている。



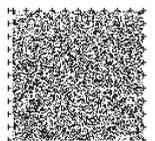
【自身の1か月の合計収入（生活保護・家族等の収入除く）】

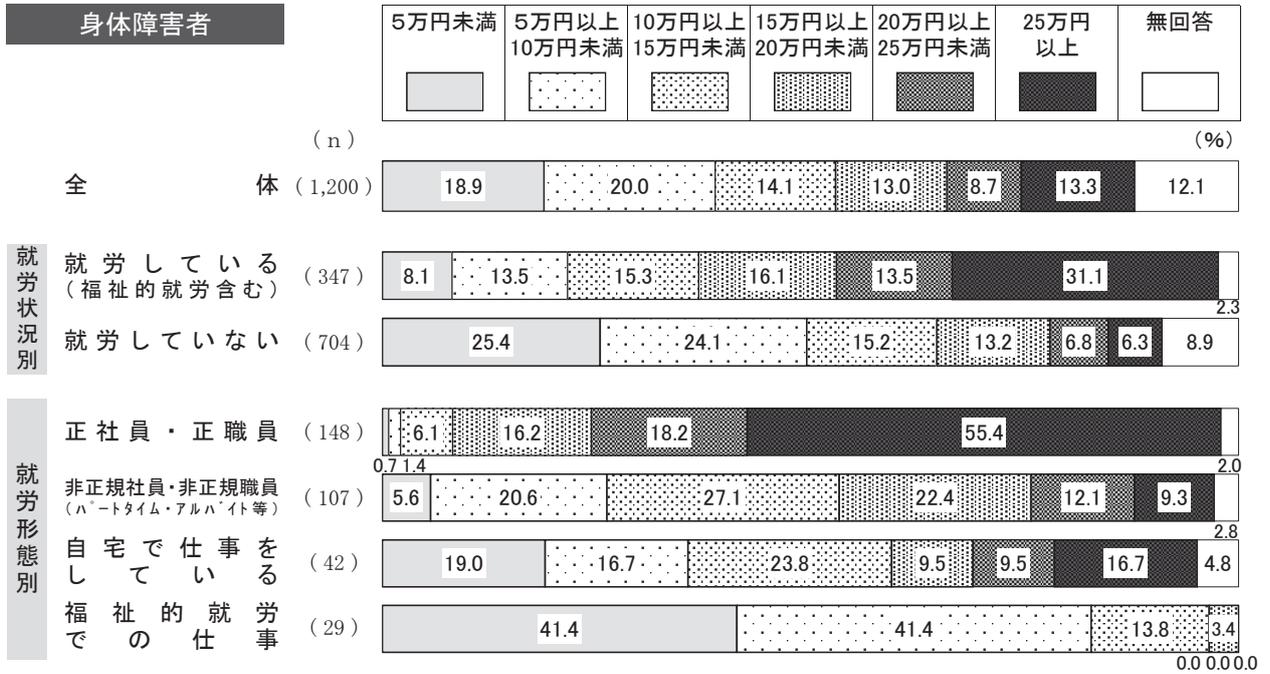


- 知的障害者について就労状況別にみると、就労している人は「5万円以上10万円未満」が4割近く、「10万円以上15万円未満」が2割台となっている。就労していない人は「5万円未満」が4割台となっている。
- 就労形態別にみると、正社員・正職員は「10万円以上15万円未満」「15万円以上20万円未満」がそれぞれ3割台となっている。福祉的就労での仕事は「5万円未満」が3割台、「5万円以上10万円未満」が5割となっている。

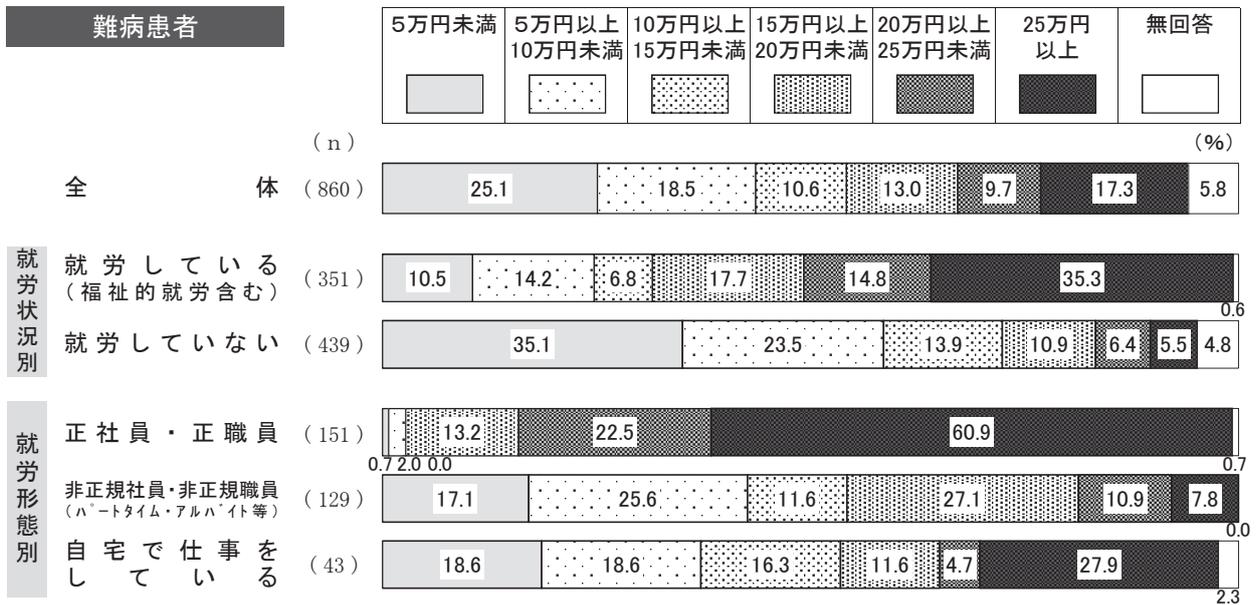


- 精神障害者について就労状況別にみると、就労している人は「5万円以上10万円未満」が3割となっている。就労していない人は「5万円未満」が5割近くとなっている。
- 就労形態別にみると、正社員・正職員は「25万円以上」が5割近くとなっている。非正規社員・非正規職員は「5万円以上10万円未満」「10万円以上15万円未満」がそれぞれ3割前後となっている。福祉的就労での仕事は「5万円未満」が3割半ば、「5万円以上10万円未満」が4割台となっている。

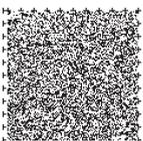




- 身体障害者について就労状況別にみると、就労している人は「25万円以上」が3割台、就労していない人は「5万円未満」「5万円以上10万円未満」がそれぞれ2割半ばとなっている。
- 就労形態別にみると、正社員・正職員は「25万円以上」が5割半ば、非正規社員・非正規職員は「10万円以上15万円未満」が3割近くとなっている。福祉的就労での仕事は「5万円未満」「5万円以上10万円未満」がそれぞれ4割台となっている。

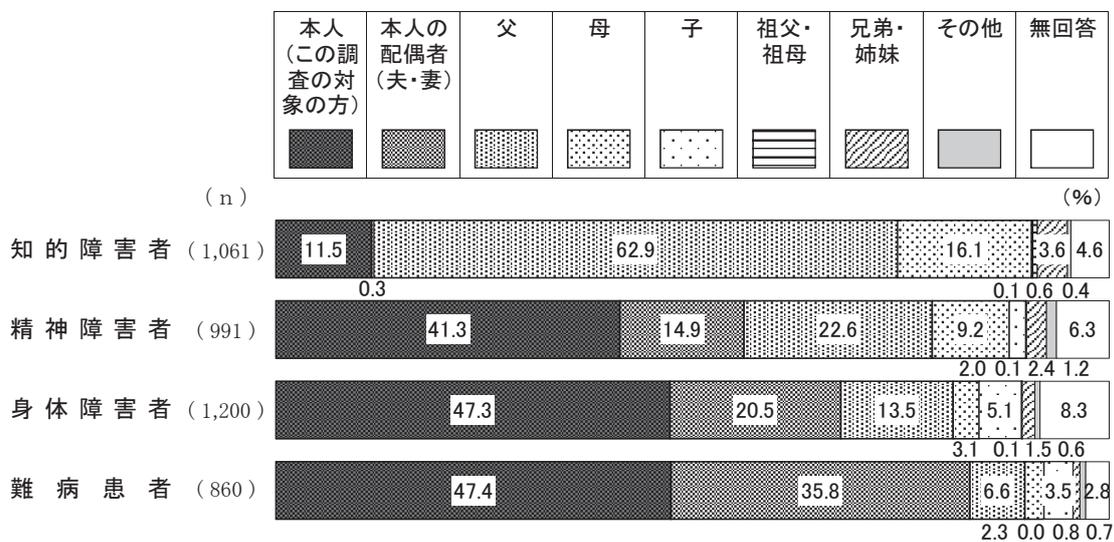


- 難病患者について就労状況別にみると、就労している人は「25万円以上」が3割半ば、就労していない人は「5万円未満」が3割半ば、「5万円以上10万円未満」が2割台となっている。
- 就労形態別にみると、正社員・正職員は「25万円以上」が6割を占め、非正規社員・非正規職員は「15万円以上20万円未満」が3割近くとなっている。自宅で仕事をしている人は「25万円以上」が3割近くとなっている。

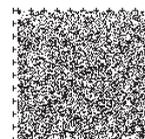


#### 4 主な生計維持者

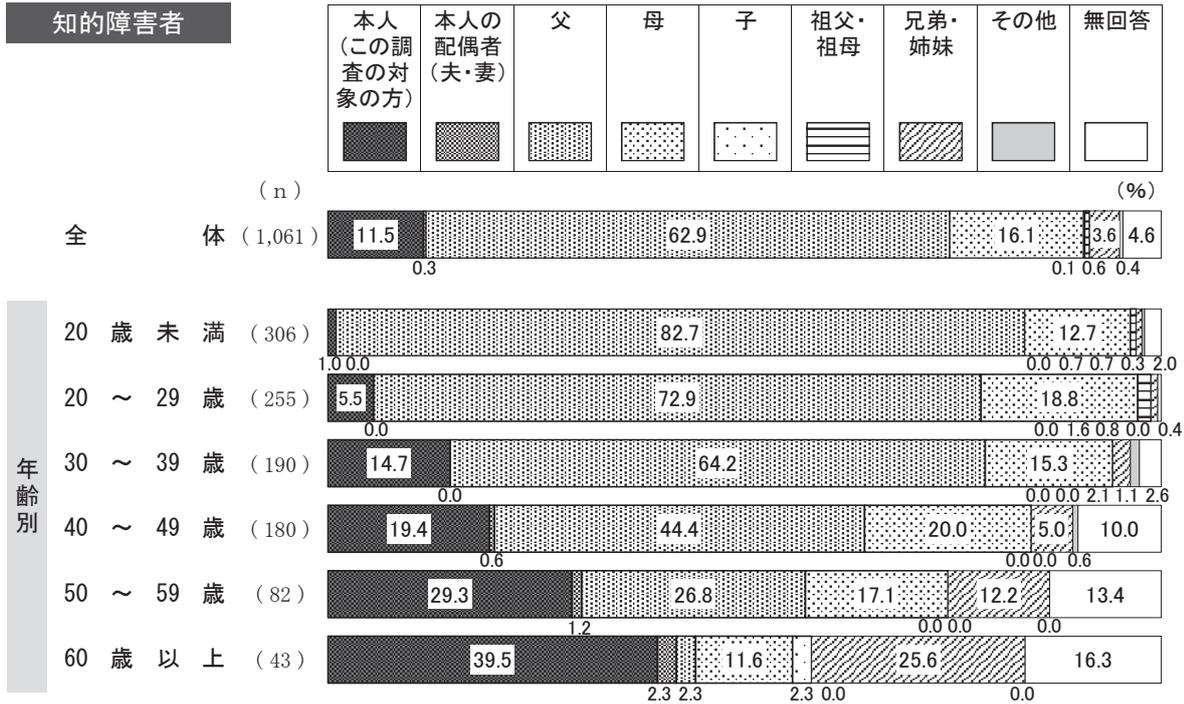
問10：あなたの世帯の、主な生計維持者（最も収入が多い方）はどなたですか。  
 (○は1つ)



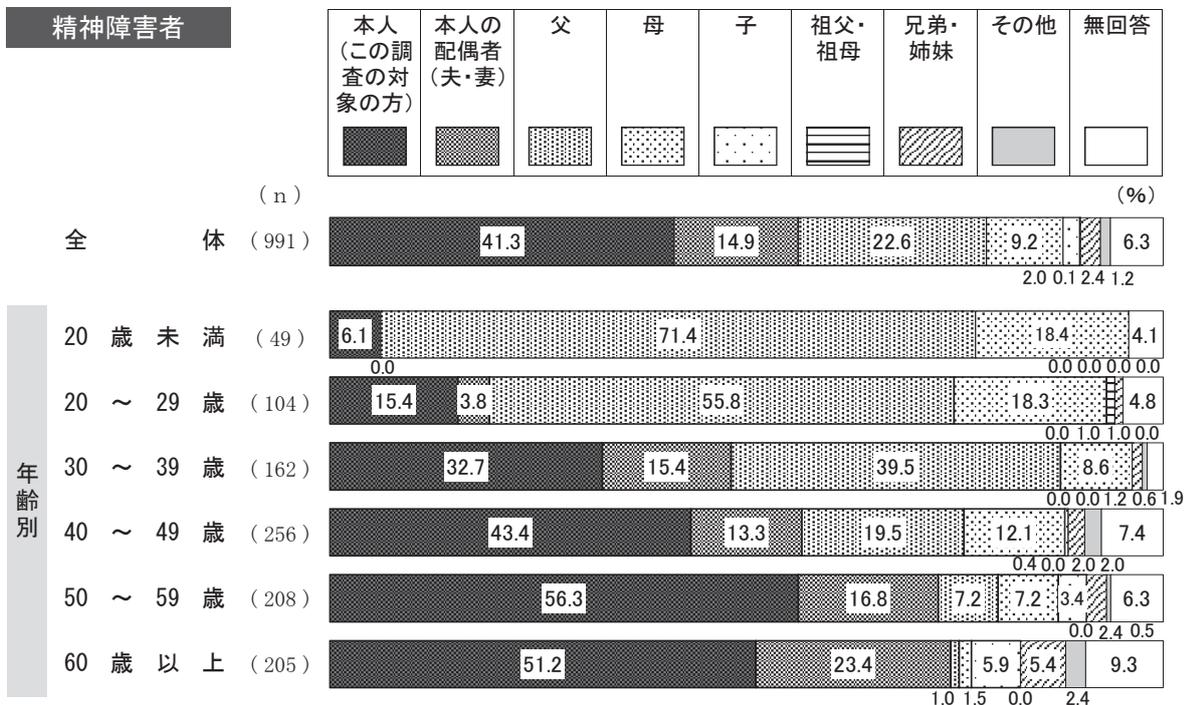
- 世帯の主な生計維持者（最も収入が多い方）は、知的障害者は「父」（62.9%）が6割を超え最も多く、「母」（16.1%）が1割半ばで次いでおり、「本人（この調査の対象の方）」（11.5%）は1割となっている。
- 精神障害者、身体障害者、難病患者は「本人（この調査の対象の方）」（41.3%、47.3%、47.4%）がそれぞれ4割台と最も多くなっている。次いで、精神障害者は「父」（22.6%）が2割台、身体障害者は「本人の配偶者（夫・妻）」（20.5%）が2割、難病患者は「本人の配偶者（夫・妻）」（35.8%）が3割半ばとなっている。



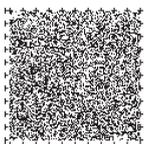
## 【 主な生計維持者 】



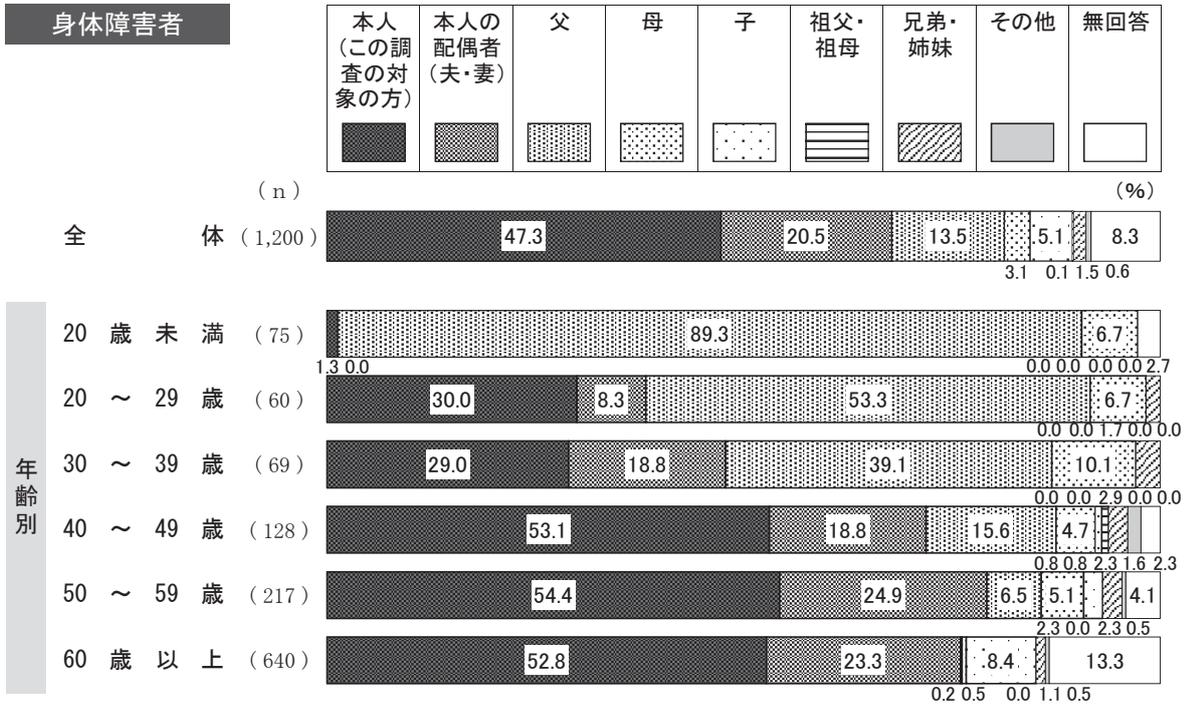
- 知的障害者について年齢別にみると、年齢が高いほど「本人（この調査の対象の方）」が多く、50～59歳で3割、60歳以上で4割となっている。「父」は年齢が高いほど少ないが、「母」は年齢による差が比較的小さくなっている。



- 精神障害者について年齢別にみると、おおむね年齢が高いほど「本人（この調査の対象の方）」が多く、50～59歳、60歳以上でそれぞれ5割を超えている。

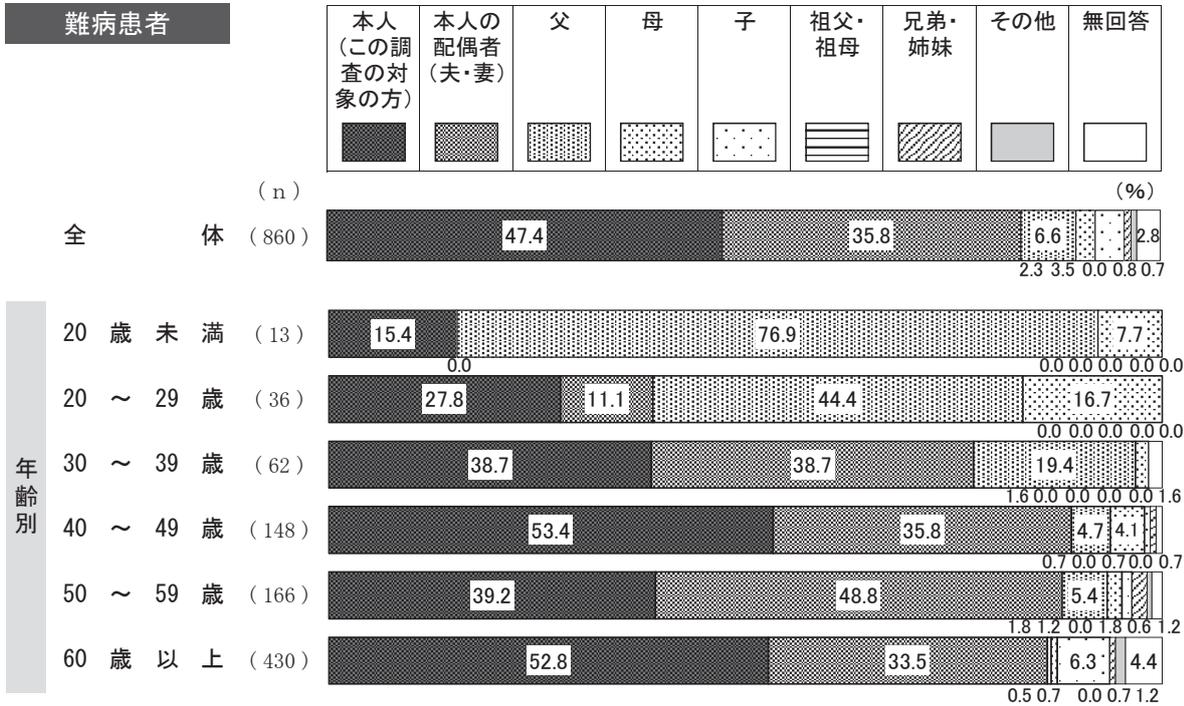


**身体障害者**

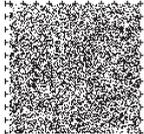


- 身体障害者について年齢別にみると、20～29歳、30～39歳は「本人（この調査の対象の方）」がそれぞれ3割となっている。20～29歳は「父」が5割を超え、30～39歳は「父」が4割、「本人の配偶者（夫・妻）」が2割となっている。40歳以上は「本人（この調査の対象の方）」が5割を超え、「本人の配偶者（夫・妻）」が2割前後で次いでいる。

**難病患者**

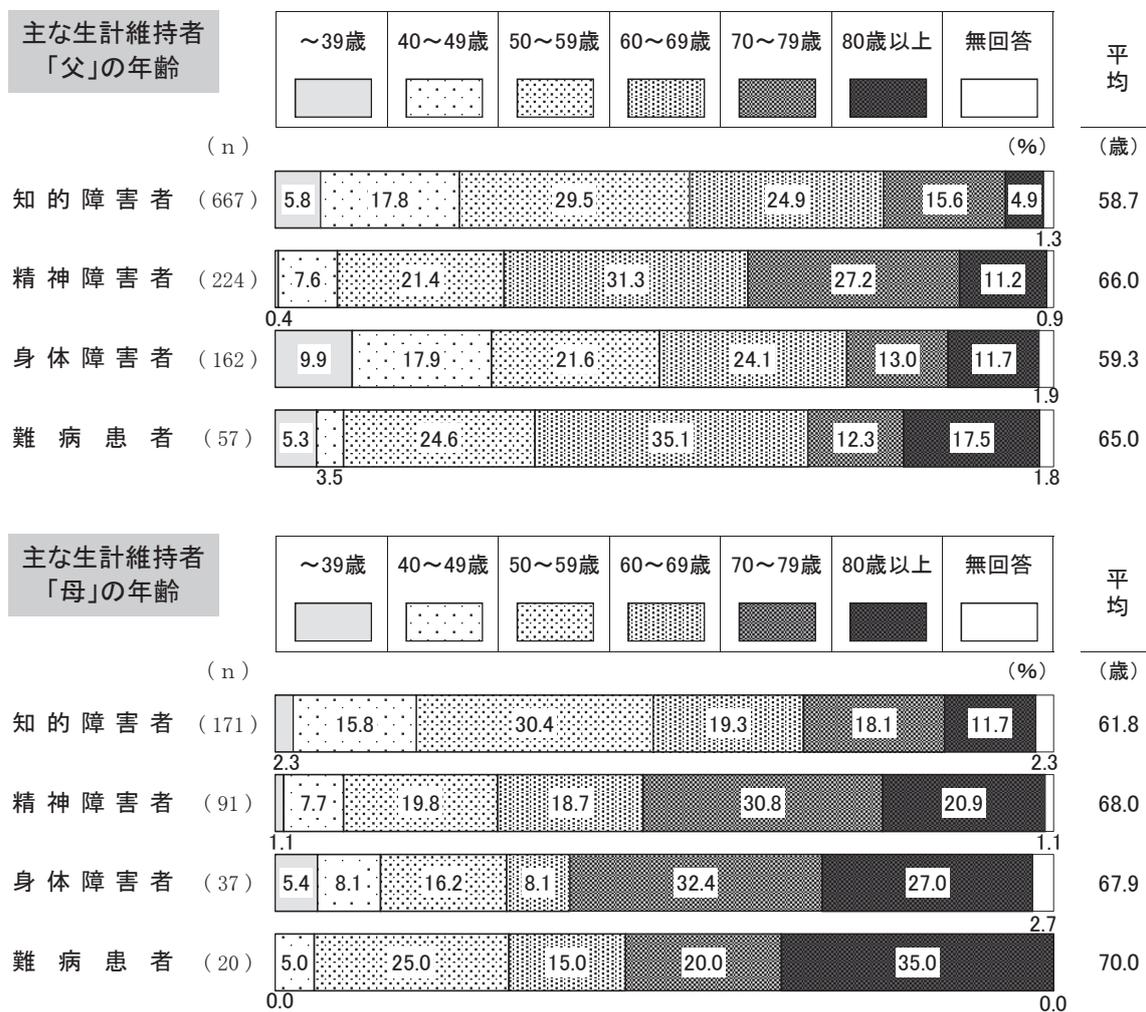


- 難病患者について年齢別にみると、おおむね年齢が高いほど「本人（この調査の対象の方）」が多くなっている（40～49歳の傾向を除く）。30歳以上は「本人の配偶者（夫・妻）」がそれぞれ3～5割近くとなっている。

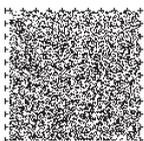


## 5 主な生計維持者の年齢

問10：（主な生計維持者が）「3. 父」「4. 母」とお答えの場合には、年齢（平成28年4月1日現在）をご記入ください。

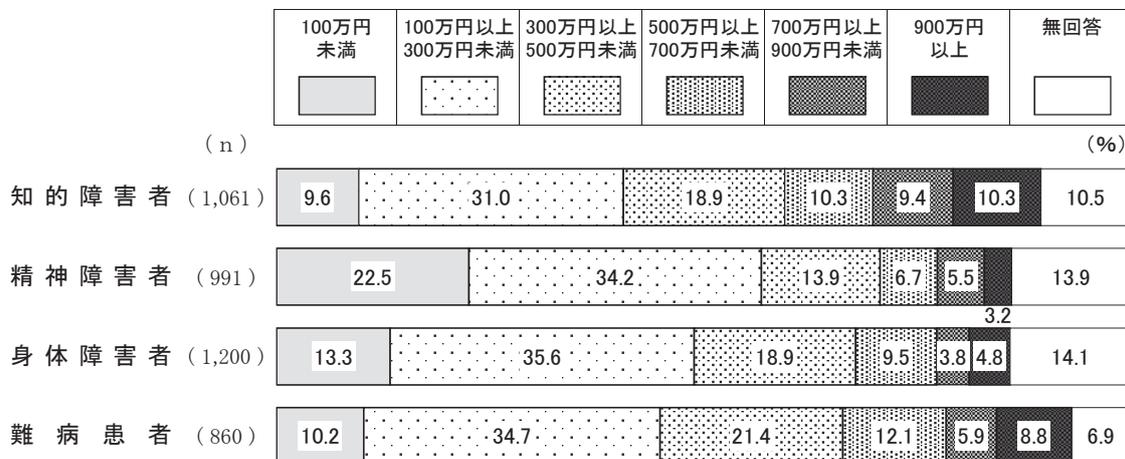


- 主な生計維持者が「父」の場合の父の年齢は、知的障害者、身体障害者は「50～59歳」「60～69歳」がそれぞれ2割から3割を占め、平均は58.7歳、59.3歳となっている。精神障害者は「60～69歳」「70～79歳」がそれぞれ3割前後を占め、平均は66.0歳となっている。難病患者は「60～69歳」が3割半ば、平均65.0歳となっている。60歳以上の合計は、知的障害者で4割半ば、身体障害者で5割近く、難病患者で6割半ば、精神障害者で7割の順に多くなっている。
- 主な生計維持者が「母」の場合の母の年齢は、全般に父の場合より年齢が高く、「70～79歳」は知的障害者で2割近く、精神障害者で3割、身体障害者で3割台、難病患者で2割となっている。また、「80歳以上」は知的障害者で1割台、精神障害者で2割、身体障害者で3割近く、難病患者で3割半ばとなっている。平均は知的障害者で61.8歳、精神障害者で68.0歳とそれぞれ父の場合より2歳ほど高く、身体障害者は67.9歳と父より8歳以上、難病患者は70.0歳と父より5歳高くなっている。

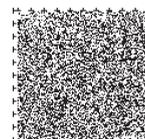


## 6 主な生計維持者の年収

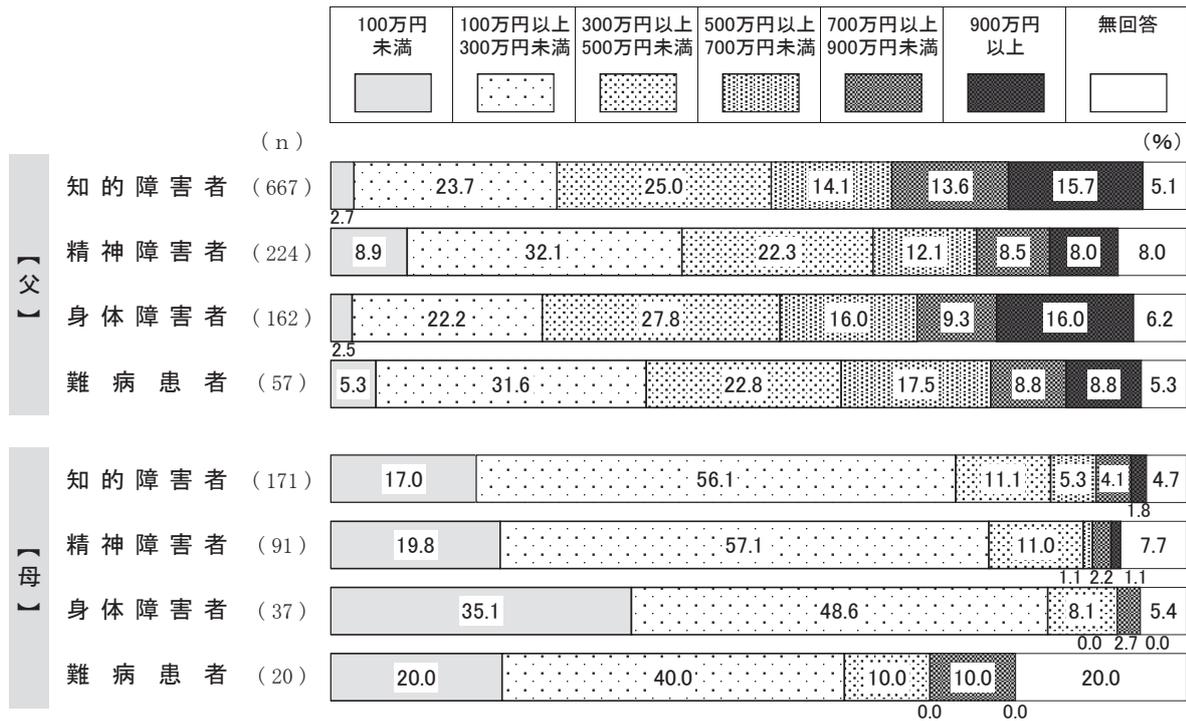
問10-1：前問の問10でお答えいただいた、主な生計維持者（もっとも収入が多い方）の年収をお答えください。（○は1つ）  
 ※平成27年度（昨年度）の税込の年収額としてください。



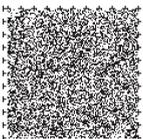
- 主な生計維持者の年収は、いずれの障害者も「100万円以上300万円未満」が最も多く、それぞれ3割台となっている。知的障害者、身体障害者、難病患者は「300万円以上500万円未満」がそれぞれ2割前後で次いでいる。精神障害者は「100万円未満」が2割台で次いでいる。



### 【 主な生計維持者の年収 】

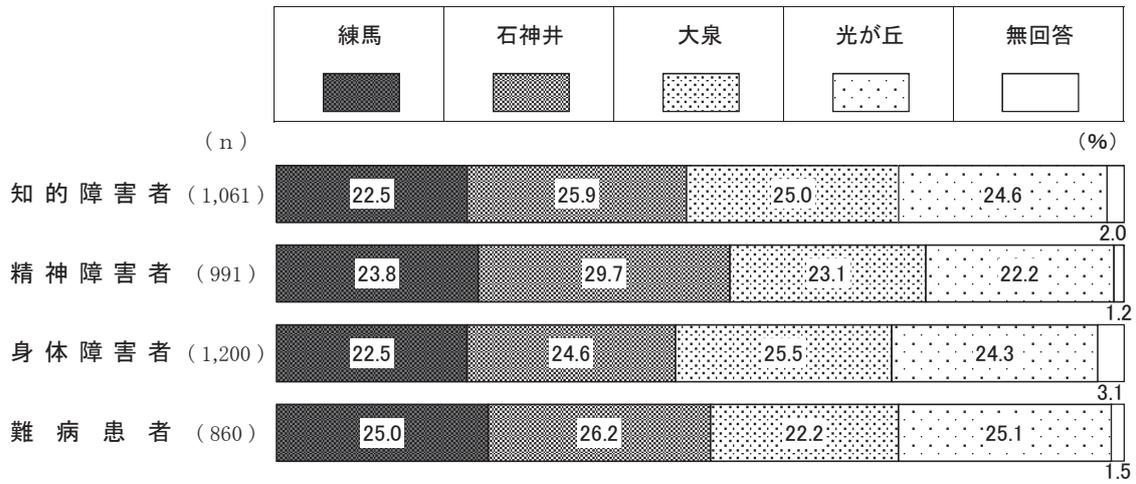


- 主な生計維持者が父の場合の年収は、知的障害者、身体障害者は「100万円以上300万円未満」「300万円以上500万円未満」がそれぞれ2割台となっている。精神障害者、難病患者は「100万円以上300万円未満」がそれぞれ3割台、「300万円以上500万円未満」がそれぞれ2割台となっている。
- 主な生計維持者が母の場合の年収は、知的障害者、精神障害者は「100万円以上300万円未満」がそれぞれ5割半ば、「100万円未満」がそれぞれ2割近くとなっている。身体障害者は「100万円以上300万円未満」が5割近く、「100万円未満」が3割半ばとなっている。

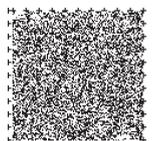


## 7 居住地区

問11：あなたは現在、練馬区のどちらにお住まいですか。（〇は1つ）

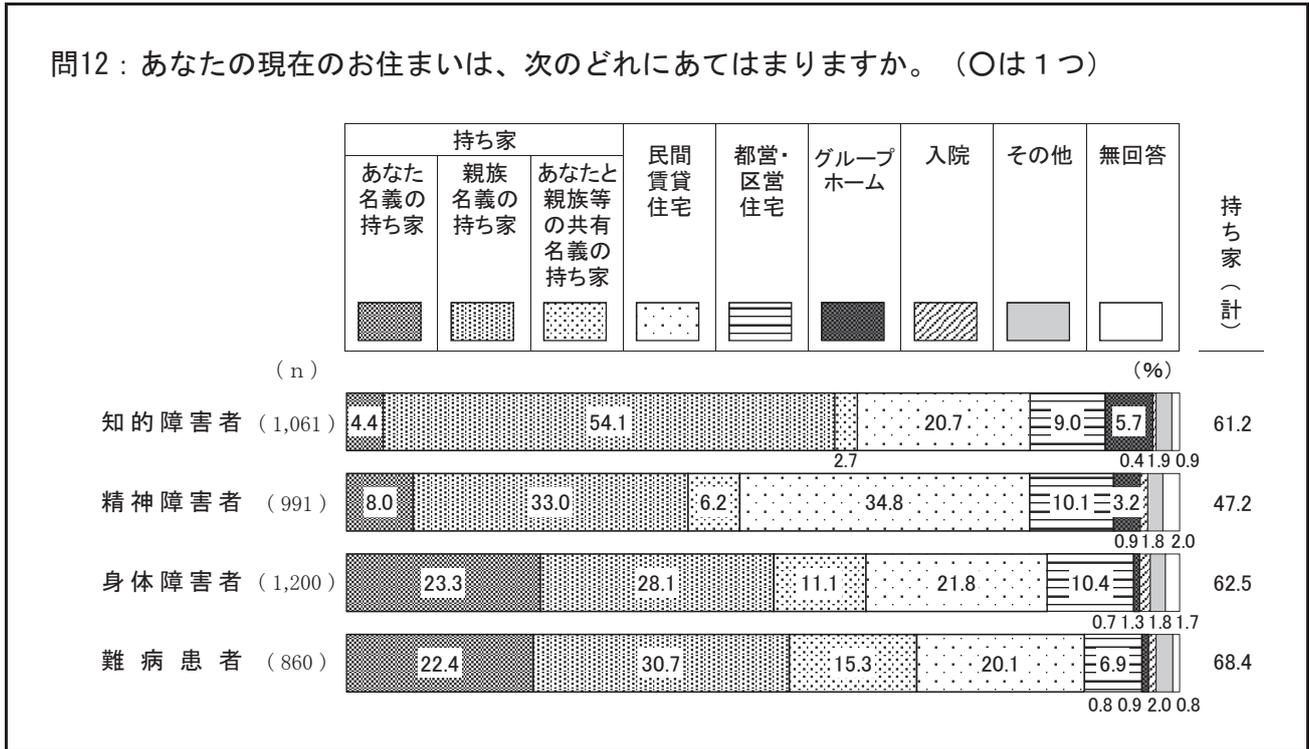


- 居住地区は、いずれの障害者も「練馬」「石神井」「大泉」「光が丘」がそれぞれ2割台となっている。

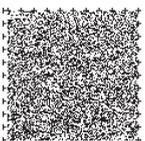


## 8 現在の居住形態

問12：あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）



- 現在の居住形態は、知的障害者は「親族名義の持ち家」（54.1%）が5割半ばと最も多く、次いで「民間賃貸住宅」（20.7%）が2割となっている。
- 精神障害者は「民間賃貸住宅」（34.8%）が3割半ばと最も多く、次いで「親族名義の持ち家」（33.0%）が3割台となっている。
- 身体障害者は「親族名義の持ち家」（28.1%）が3割近くと最も多く、次いで「あなた名義の持ち家」（23.3%）、「民間賃貸住宅」（21.8%）がそれぞれ2割台の順となっている。
- 難病患者は「親族名義の持ち家」（30.7%）が3割と最も多く、次いで「あなた名義の持ち家」（22.4%）、「民間賃貸住宅」（20.1%）がそれぞれ2割台の順と身体障害者と同様の傾向となっている。
- 「持ち家（計）」は難病患者（68.4%）が7割近くと最も多く、身体障害者（62.5%）、知的障害者（61.2%）がそれぞれ6割台、精神障害者（47.2%）が5割近くとなっている。

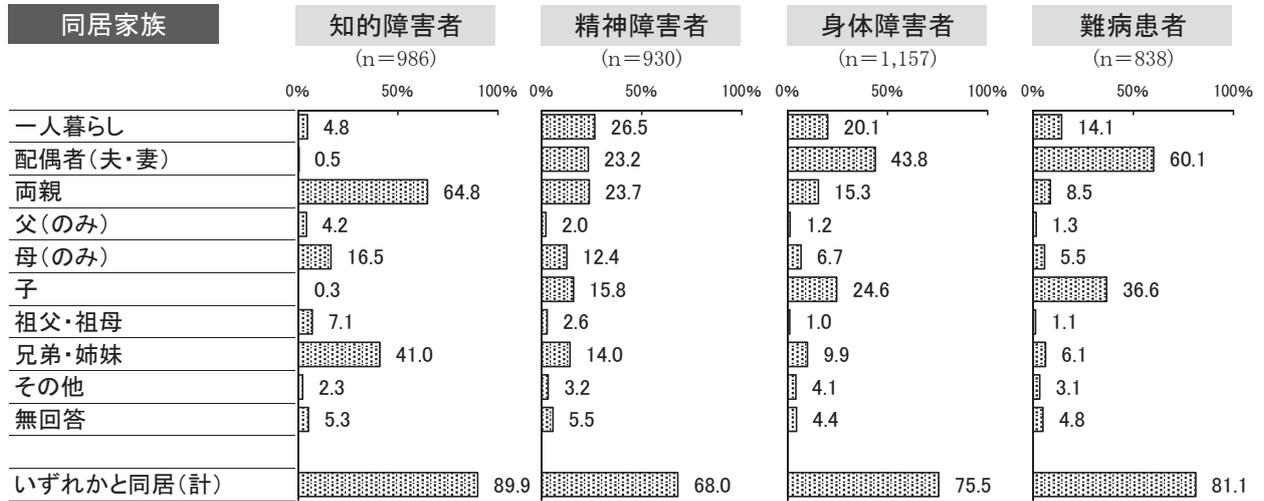


## 9 同居家族と主な介助者

【問12で「1. あなた名義の持ち家」「2. 親族名義の持ち家」「3. 共有名義の持ち家」「4. 民間賃貸住宅」「5. 都営・区営住宅」「8. その他」とお答えの方にお聞きします】

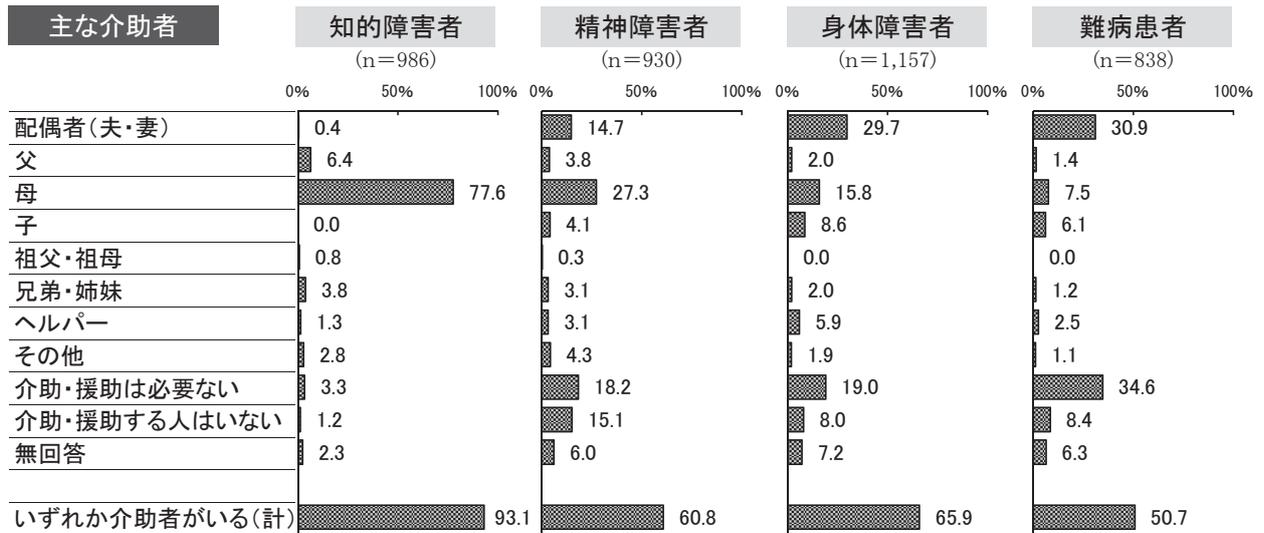
問13：現在、あなたと同居している家族はどなたですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

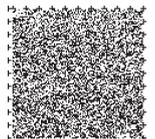


問13-1：あなたのことを、もっとも長い時間、介助・援助している人はどなたですか。

1つだけ○をつけてください。(○は1つ)



- 知的障害者の同居家族は「両親」が6割半ば、「兄弟・姉妹」が4割となっている。主な介助者は「母」が8割近くとなっている。
- 精神障害者の同居家族は「一人暮らし」「配偶者(夫・妻)」「両親」がそれぞれ2割台となっている。主な介助者は「母」が3割近くとなっている。一方で「介助・援助は必要ない」が2割近く、「介助・援助する人はいない」が1割半ばとなっている。
- 身体障害者の同居家族は「配偶者(夫・妻)」が4割を超え、「一人暮らし」「子」がそれぞれ2割台、「両親」が1割半ばとなっている。主な介助者は「配偶者(夫・妻)」が3割、「母」が1割半ばとなっている。一方で「介助・援助は必要ない」が2割となっている。
- 難病患者の同居家族は「配偶者(夫・妻)」が6割、「子」が3割半ばとなっている。主な介助者は「配偶者(夫・妻)」が3割となっている。一方で「介助・援助は必要ない」が3割半ばとなっている。



【 同居家族と主な介助者 】

(%)

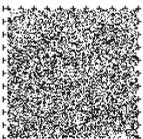
知的障害者		(n)	一人暮らし	配偶者(夫・妻)	両親	父(のみ)	母(のみ)	子	祖父・祖母	兄弟・姉妹	ヘルパー	その他	ない	介助・援助は必要	はいない	介助・援助する人	無回答	介い 助ず れか がと 同居 (計 )	
【同居家族】	全体	(986)	4.8	0.5	64.8	4.2	16.5	0.3	7.1	41.0		2.3					5.3	89.9	
	年齢別	20歳未満	(302)	0.3	-	81.1	1.7	9.6	0.3	8.3	58.6		-					6.6	93.1
		20~39歳	(412)	3.2	-	72.1	4.1	13.8	-	10.2	40.0		2.7					4.6	92.2
		40~59歳	(230)	9.6	0.9	41.3	7.8	29.6	0.4	1.3	20.9		3.9					3.9	86.5
		60歳以上	(38)	28.9	7.9	-	-	23.7	2.6	-	31.6		7.9					10.5	60.6
【主な介助者】	全体	(986)		0.4		6.4	77.6	-	0.8	3.8	1.3	2.8	3.3	1.2	2.3		93.2		
	年齢別	20歳未満	(302)		-		4.0	91.1	-	0.7	-	0.7	0.7	1.3	0.7	1.0		97.0	
		20~39歳	(412)		0.2		7.5	82.3	-	1.2	0.7	1.0	2.2	4.1	0.5	0.2		95.2	
		40~59歳	(230)		0.4		8.3	62.2	-	0.4	8.7	2.6	6.1	4.3	2.2	4.8		88.7	
		60歳以上	(38)		5.3		-	18.4	-	-	34.2	2.6	7.9	5.3	7.9	18.4		68.4	

- 知的障害者の同居家族について年齢別にみると、「両親」が20歳未満で8割、20~39歳で7割、40~59歳で4割となっている。また、「母(のみ)」が40~59歳で3割、60歳以上で2割台となっている。
- 主な介助者は、「母」が20歳未満で9割、20~39歳で8割台、40~59歳で6割台となっており、60歳以上は「兄弟・姉妹」が3割半ばとなっている。

(%)

精神障害者		(n)	一人暮らし	配偶者(夫・妻)	両親	父(のみ)	母(のみ)	子	祖父・祖母	兄弟・姉妹	ヘルパー	その他	ない	介助・援助は必要	はいない	介助・援助する人	無回答	介い 助ず れか がと 同居 (計 )	
【同居家族】	全体	(930)	26.5	23.2	23.7	2.0	12.4	15.8	2.6	14.0		3.2					5.5	68.0	
	年齢別	20歳未満	(46)	4.3	-	78.3	2.2	13.0	-	15.2	47.8		-					-	95.7
		20~39歳	(251)	13.1	13.1	47.0	3.6	11.6	8.0	6.0	25.5		3.6					6.4	80.5
		40~59歳	(433)	30.9	24.0	14.5	2.1	16.9	19.9	0.5	7.2		3.7					6.0	63.1
		60歳以上	(194)	38.7	39.7	1.0	-	3.6	21.1	-	6.2		2.6					4.6	56.7
【主な介助者】	全体	(930)		14.7		3.8	27.3	4.1	0.3	3.1	3.1	4.3	18.2	15.1	6.0		60.7		
	年齢別	20歳未満	(46)		-		6.5	84.8	-	2.2	-	-	2.2	2.2	-	2.2		95.6	
		20~39歳	(251)		7.2		7.2	48.2	-	0.8	1.2	1.6	3.2	14.7	13.9	2.0		69.4	
		40~59歳	(433)		14.5		3.0	20.6	3.2	-	2.3	2.5	5.1	23.6	18.5	6.7		51.2	
		60歳以上	(194)		27.8		0.5	2.6	12.4	-	7.7	6.7	4.6	14.9	11.9	10.8		62.4	

- 精神障害者の同居家族について年齢別にみると、「両親」が20歳未満で8割近く、20~39歳で5割近くとなっており、「母(のみ)」が59歳までの年齢で1割台となっている。また、60歳以上では「配偶者(夫・妻)」と「一人暮らし」がそれぞれ4割近くとなっている。
- 主な介助者は、「母」が20歳未満で8割半ば、20~39歳で5割近くとなっている。40~59歳は「介助・援助は必要ない」が2割を超えている。



(%)

## 身体障害者

		(n)	一人暮らし	配偶者(夫・妻)	両親	父(のみ)	母(のみ)	子	祖父・祖母	兄弟・姉妹	ヘルパー	その他	ない	介助・援助は必要	はい	介助・援助する人	無回答	介い	
【同居家族】	全体	(1,157)	20.1	43.8	15.3	1.2	6.7	24.6	1.0	9.9		4.1					4.4	75.5	
	年齢別	20歳未満	(73)	1.4	-	84.9	-	6.8	-	6.8	56.2		-					5.5	93.1
		20～39歳	(125)	10.4	17.6	52.0	1.6	8.0	8.8	3.2	24.8		2.4					8.0	81.6
		40～59歳	(334)	21.6	38.9	14.4	3.0	15.0	25.7	0.6	7.8		4.2					5.4	73.0
		60歳以上	(615)	23.3	57.2	0.2	0.3	1.8	30.2	0.2	2.6		4.9					3.1	73.6
【主な介助者】	全体	(1,157)		29.7		2.0	15.8	8.6	-	2.0	5.9	1.9	19.0	8.0	7.2		65.8		
	年齢別	20歳未満	(73)		-		4.1	87.7	-	-	-	-	-	5.5	-	2.7		91.8	
		20～39歳	(125)		7.2		5.6	50.4	-	-	-	1.6	-	29.6	4.8	0.8		64.8	
		40～59歳	(334)		24.0		3.3	15.6	3.3	-	1.2	4.5	2.7	26.0	14.4	5.1		54.5	
		60歳以上	(615)		41.3		0.3	0.5	14.1	-	2.8	8.3	2.1	14.6	6.0	9.9		69.5	

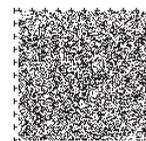
- 身体障害者の同居家族について年齢別にみると、「両親」が20歳未満で8割半ば、20～39歳で5割となっている。40～59歳は「配偶者(夫・妻)」が4割近く、「一人暮らし」が2割となっている。60歳以上は「配偶者(夫・妻)」が6割近く、「一人暮らし」が2割台となっている。
- 主な介助者は、「母」が20歳未満で9割近く、20～39歳で5割となっている。40～59歳は「配偶者(夫・妻)」「介助・援助は必要ない」がそれぞれ2割半ばとなっている。60歳以上は「配偶者(夫・妻)」が4割となっている。

(%)

## 難病患者

		(n)	一人暮らし	配偶者(夫・妻)	両親	父(のみ)	母(のみ)	子	祖父・祖母	兄弟・姉妹	ヘルパー	その他	ない	介助・援助は必要	はい	介助・援助する人	無回答	介い	
【同居家族】	全体	(838)	14.1	60.1	8.5	1.3	5.5	36.6	1.1	6.1		3.1					4.8	81.1	
	年齢別	20歳未満	(13)	7.7	7.7	76.9	-	7.7	7.7	7.7	69.2		-					0.0	92.3
		20～39歳	(95)	14.7	31.6	31.6	1.1	7.4	18.9	4.2	18.9		-					12.6	72.7
		40～59歳	(312)	14.1	62.2	9.0	2.6	9.3	45.5	1.3	4.2		1.9					4.2	81.7
		60歳以上	(414)	14.3	66.7	0.5	0.5	2.2	35.0	-	2.4		4.8					3.6	82.1
【主な介助者】	全体	(838)		30.9		1.4	7.5	6.1	-	1.2	2.5	1.1	34.6	8.4	6.3		50.7		
	年齢別	20歳未満	(13)		-		15.4	69.2	-	-	-	-	-	15.4	-	-		84.6	
		20～39歳	(95)		12.6		3.2	28.4	-	-	2.1	-	-	42.1	10.5	1.1		46.3	
		40～59歳	(312)		21.2		1.6	6.7	1.9	-	0.6	1.0	1.0	49.0	12.2	4.8		34.0	
		60歳以上	(414)		43.2		0.5	1.2	10.9	-	1.4	4.3	1.4	22.7	5.3	8.9		63.1	

- 難病患者の同居家族について年齢別にみると、20歳未満は「両親」が7割半ば、20～39歳未満は「配偶者(夫・妻)」「両親」がそれぞれ3割となっている。40～59歳、60歳以上は「配偶者(夫・妻)」がそれぞれ6割台となっている。
- 主な介助者は、20歳未満は「母」が7割、20～39歳、40～59歳は「介助・援助は必要ない」が4割から5割となっている。60歳以上は「配偶者(夫・妻)」が4割を超えている。



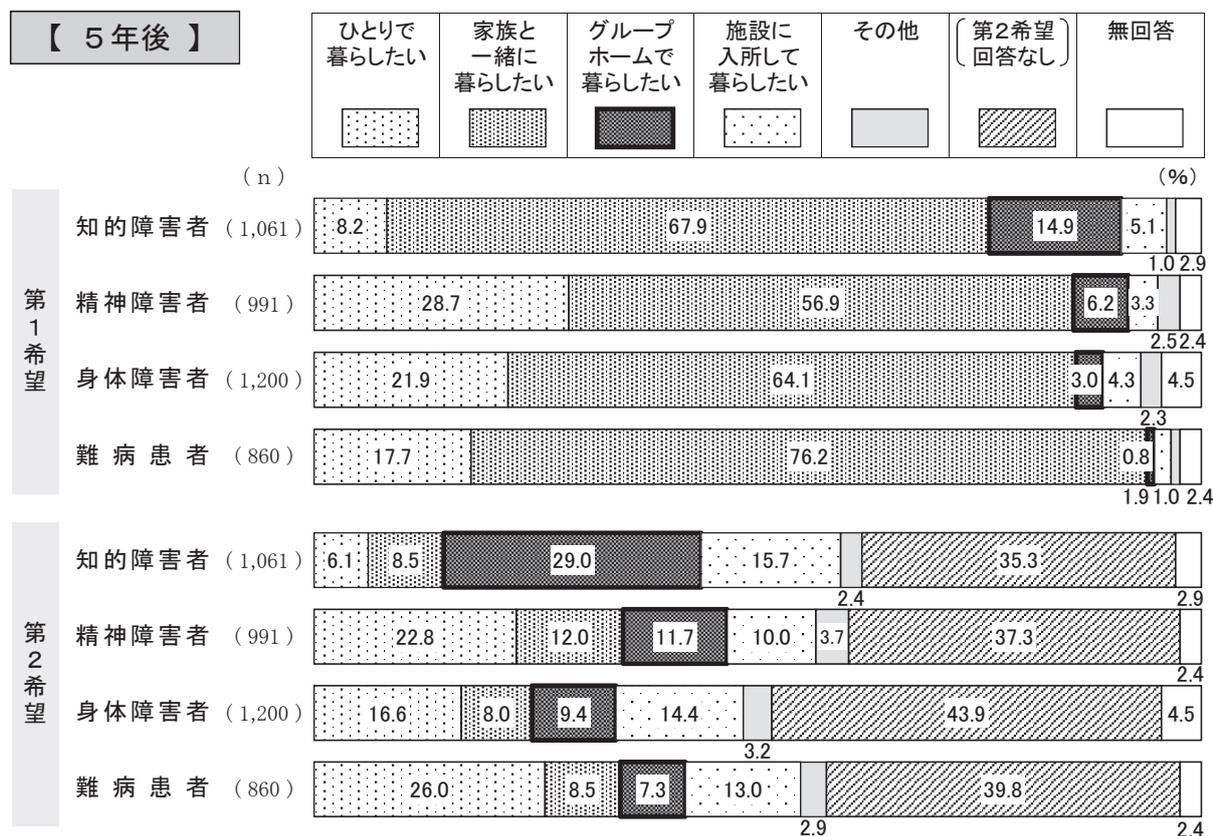
## IV 住まい方の希望

### 1 希望する住まい方

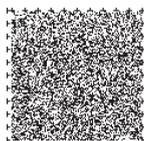
#### (1) 全体の傾向

問14：あなたは、**5年後**、どのような暮らし方を希望しますか。

第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

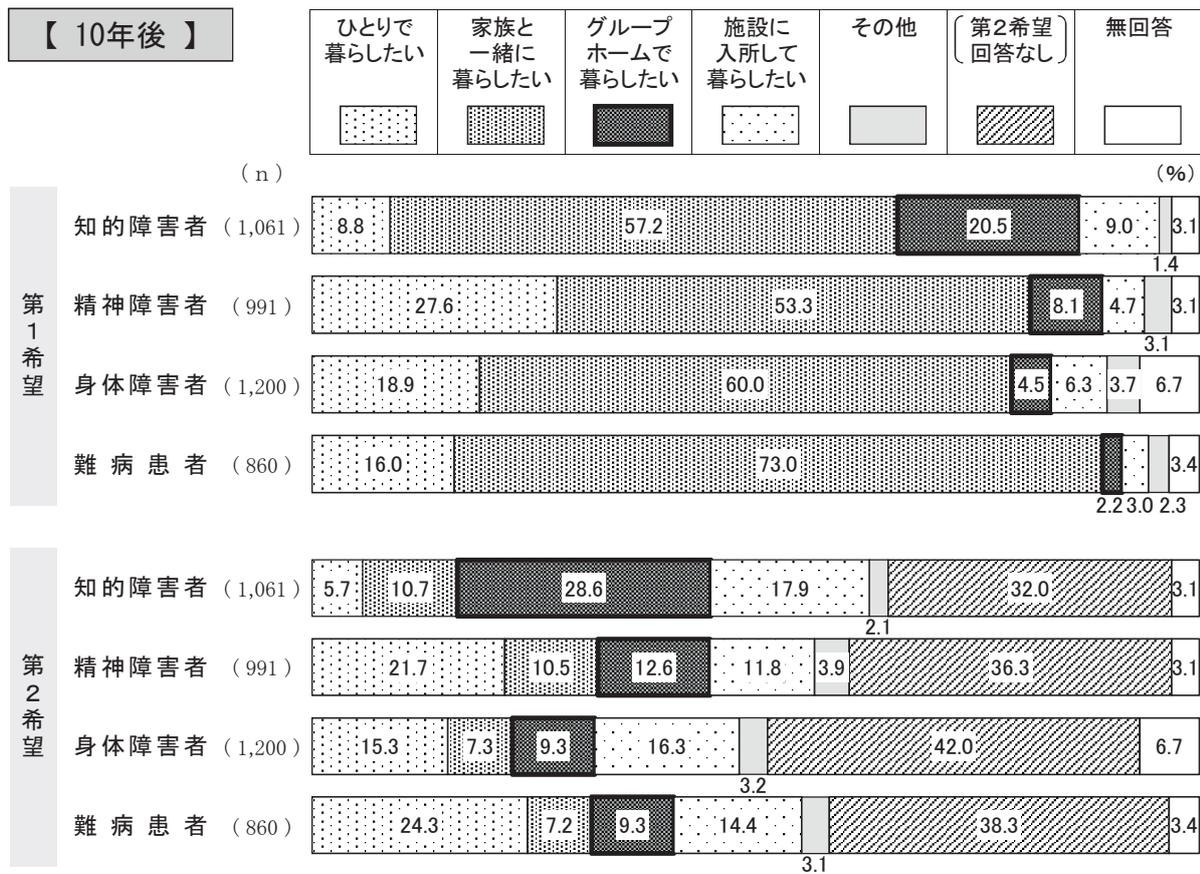


- 希望する住まい方について、5年後の第1希望では、すべての障害者で「家族と一緒に暮らしたい」が1位となっている。精神障害者、身体障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が2位、知的障害者のみ「グループホームで暮らしたい」が2位となっている。
- 5年後の第1希望で「グループホームで暮らしたい」と回答した割合は、知的障害者で14.9%、精神障害者で6.2%、身体障害者で3.0%、難病患者で0.8%となっている。
- 第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は、知的障害者と精神障害者でそれぞれ3割半ば、身体障害者と難病患者でそれぞれ4割前後となっている。
- 5年後の第2希望の回答があった中で、知的障害者は「グループホーム」が1位、精神障害者、身体障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が1位となっている。
- 5年後の第2希望で「グループホームで暮らしたい」と回答した割合は、知的障害者で29.0%、精神障害者で11.7%、身体障害者で9.4%、難病患者で7.3%となっている。

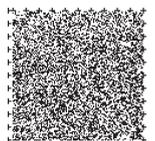


問15：あなたは、**10年後**、どのような暮らし方を希望しますか。

第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

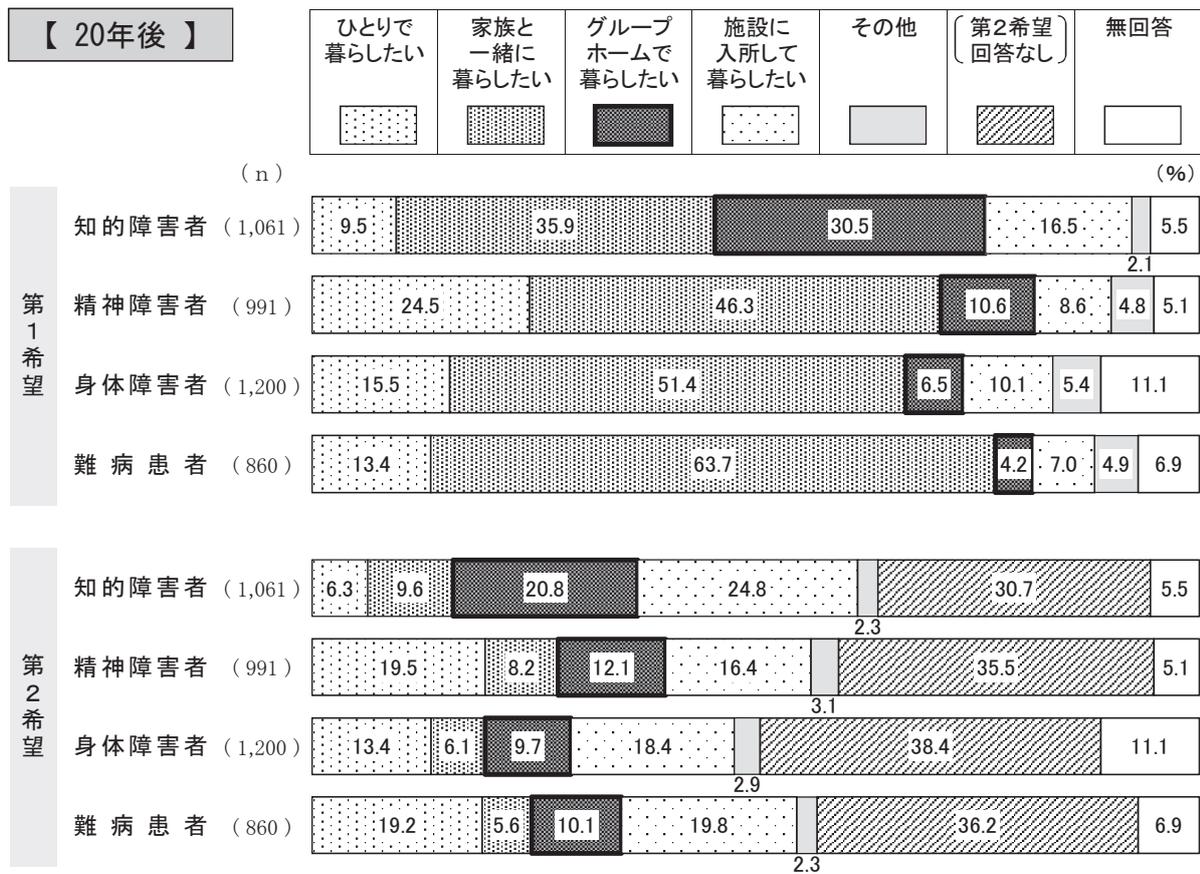


- 10年後の第1希望については、5年後の第1希望と同様、すべての障害者で「家族と一緒に暮らしたい」が1位となっており、精神障害者、身体障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が2位、知的障害者のみ「グループホームで暮らしたい」が2位となっている。
- 10年後の第1希望で「グループホームで暮らしたい」は、知的障害者で20.5%、精神障害者で8.1%、身体障害者で4.5%、難病患者で2.2%となっている。
- 第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は、知的障害者で3割、精神障害者で3割半ば、身体障害者、難病患者でそれぞれ4割前後となっている。
- 10年後の第2希望の回答があった中で、5年後と同様に知的障害者は「グループホーム」が1位、精神障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が1位となっている。身体障害者は「施設に入所して暮らしたい」が「ひとりで暮らしたい」をわずかに上回り1位となっている。
- 10年後の第2希望で「グループホームで暮らしたい」と回答した割合は、知的障害者で28.6%、精神障害者で12.6%、身体障害者、難病患者でともに9.3%となっている。

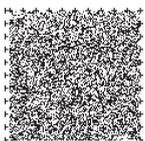


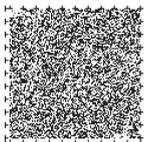
問16：あなたは、**20年後**、どのような暮らし方を希望しますか。

第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

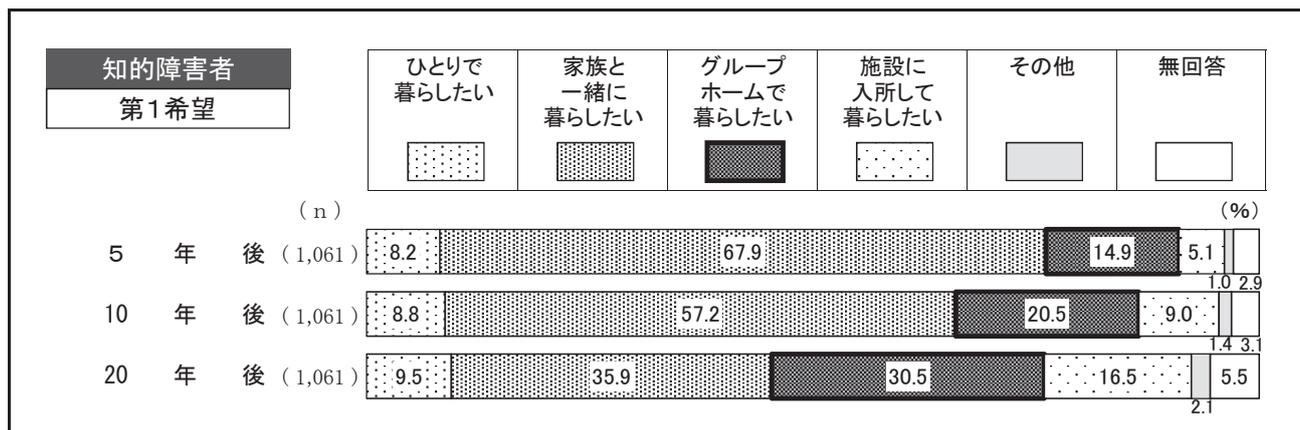


- 20年後の第1希望については、5年後、10年後と変わらず、すべての障害者で「家族と一緒に暮らしたい」が1位となっており、精神障害者、身体障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が2位、知的障害者のみ「グループホームで暮らしたい」が2位となっている。
- 20年後の第1希望で「グループホームで暮らしたい」と回答した割合は、知的障害者で30.5%、精神障害者で10.6%、身体障害者で6.5%、難病患者で4.2%となっている。
- 第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は、知的障害者で3割、精神障害者、身体障害者、難病患者でそれぞれ3割半ばから4割近くとなっている。
- 20年後の第2希望の回答があった中で、知的障害者、身体障害者、難病患者は「施設に入所して暮らしたい」が1位となっており、精神障害者のみ「ひとりで暮らしたい」が1位となっている。精神障害者は「施設に入所して暮らしたい」が2位、身体障害者、難病患者は「ひとりで暮らしたい」が2位となっており、知的障害者のみ「グループホーム」が2位となっている。
- 20年後の第2希望で「グループホームで暮らしたい」と回答した割合は、知的障害者で20.8%、精神障害者で12.1%、身体障害者で9.7%、難病患者で10.1%となっている。

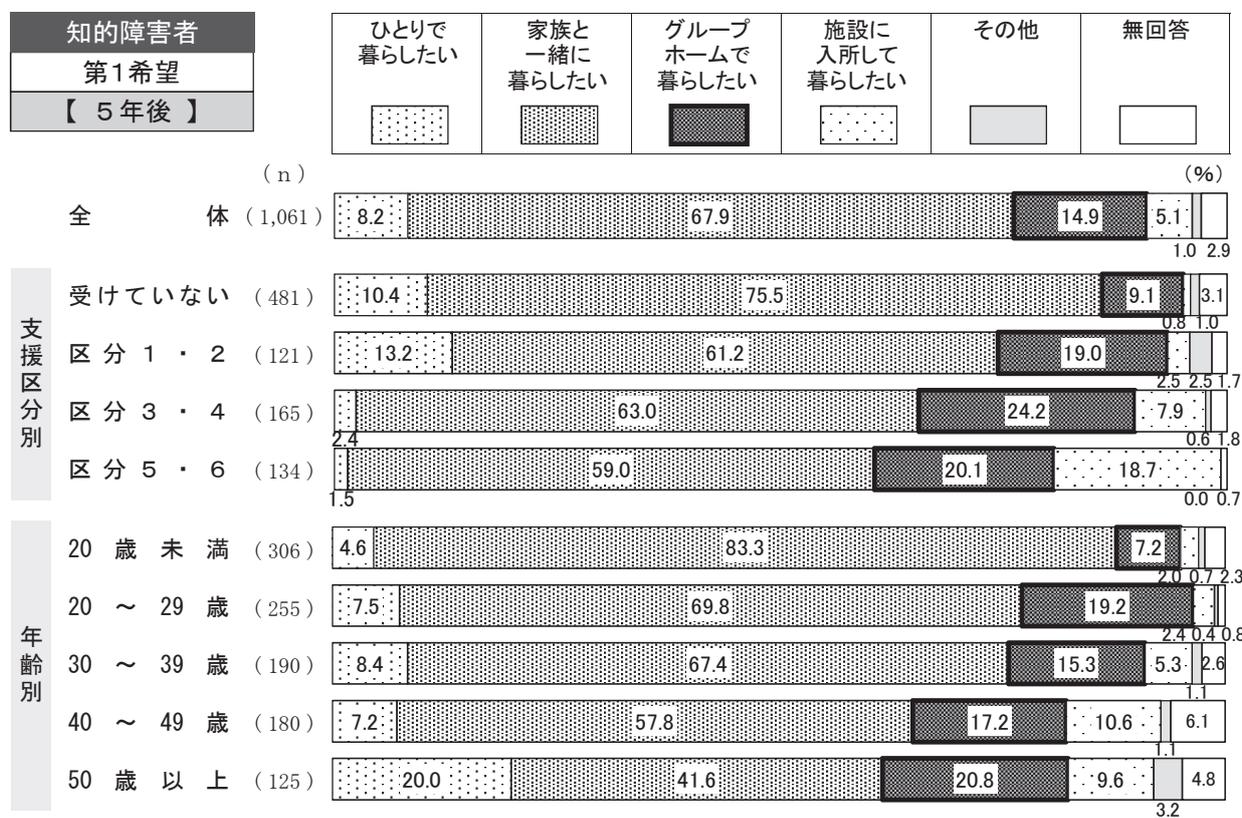




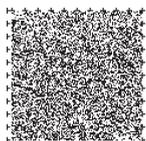
## (2) 知的障害者の状況

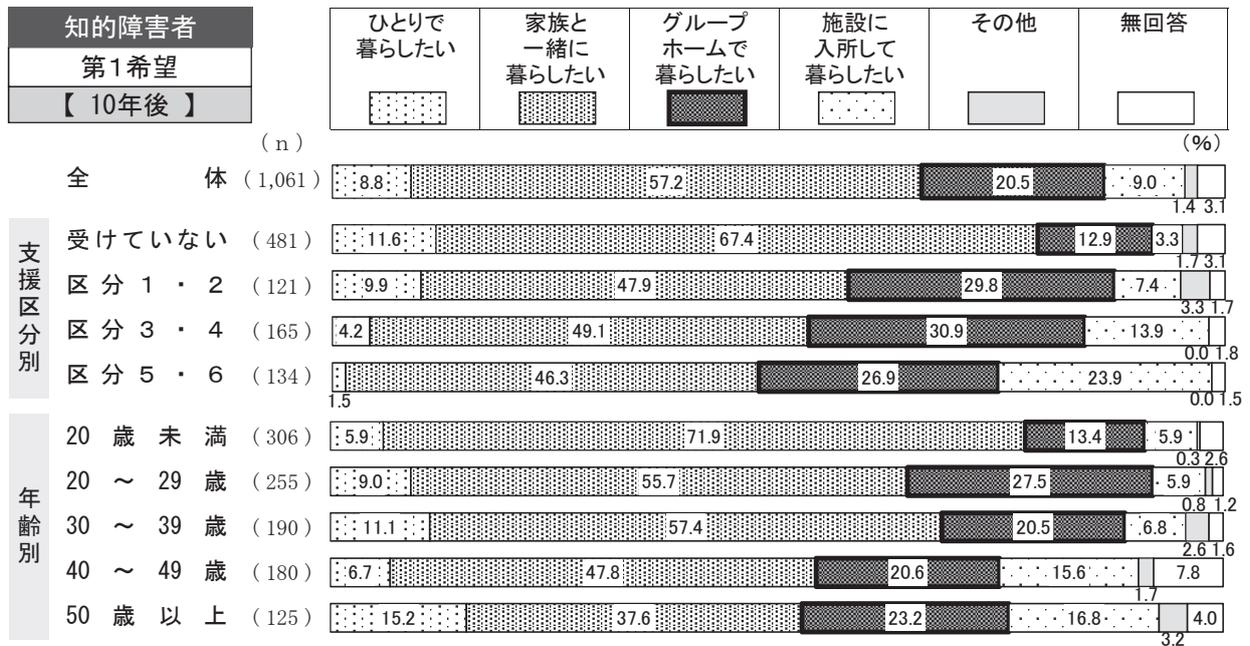


- 知的障害者の第1希望は、「家族と一緒に暮らしたい」が最も多いが、5年後で7割近く、10年後で6割近く、20年後で3割半ばとなっている。一方、「グループホームで暮らしたい」は5年後で1割半ば、10年後で2割、20年後で3割となっている。

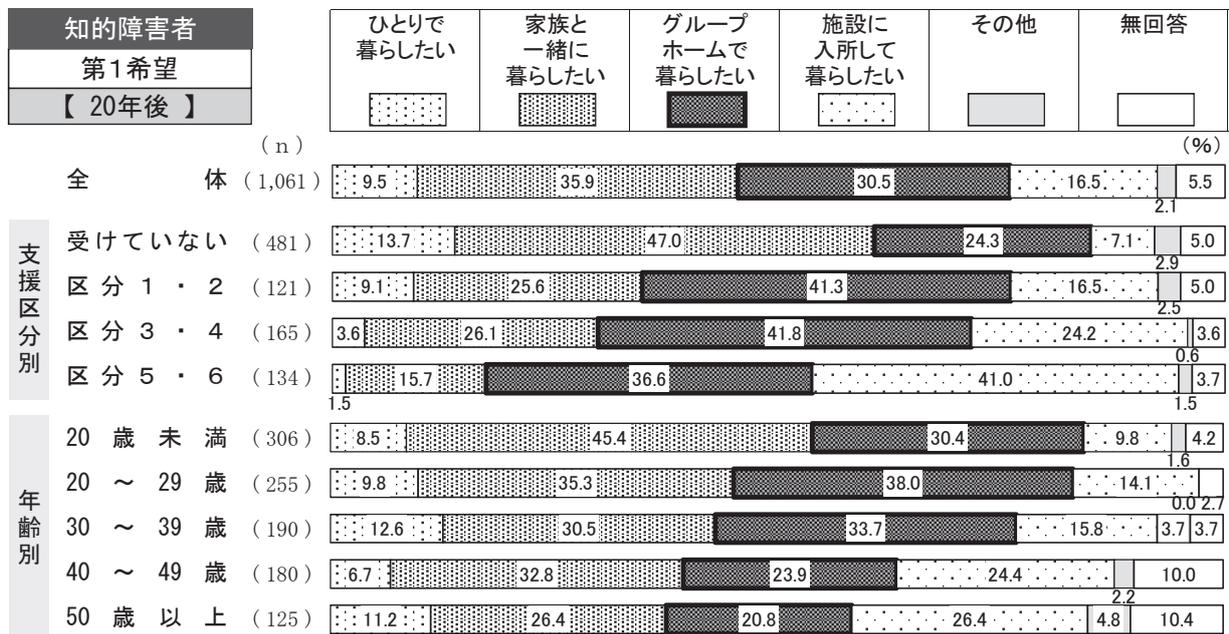


- 知的障害者の5年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、区分が重いほど「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。また、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けている人はいずれの区分も2割程度となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、おおむね年齢が高いほど「ひとりで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は20～29歳で2割、30～39歳で1割半ば、40～49歳で2割近く、50歳以上で2割となっている。

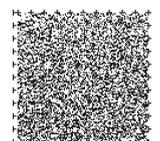


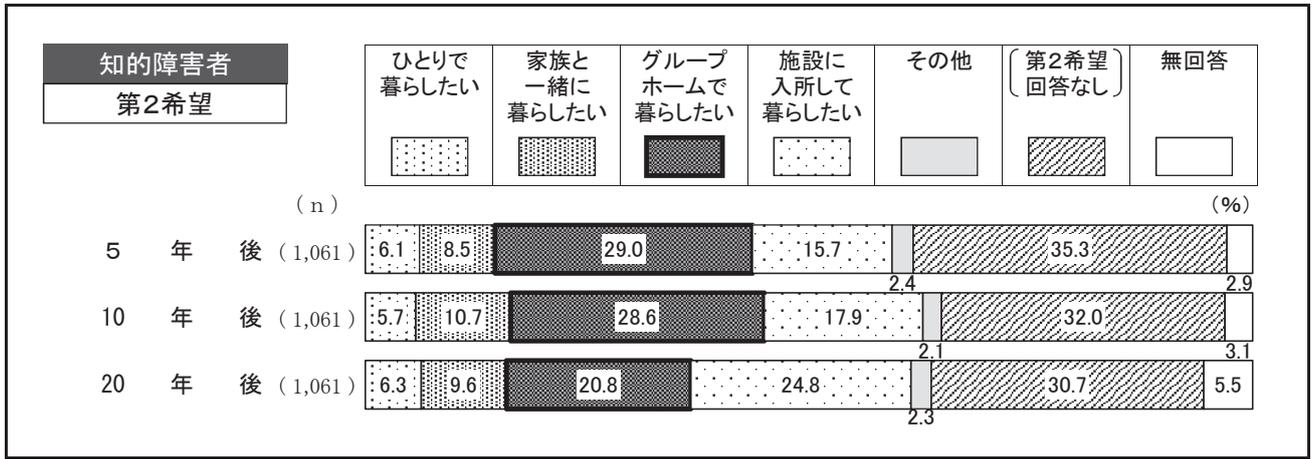


- 知的障害者の10年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けていない人で1割台、区分1・2、区分3・4でそれぞれ3割、区分5・6で2割半ばとなっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「グループホームで暮らしたい」は20～29歳で3割近く、30～39歳、40～49歳、50歳以上でそれぞれ2割台となっている。

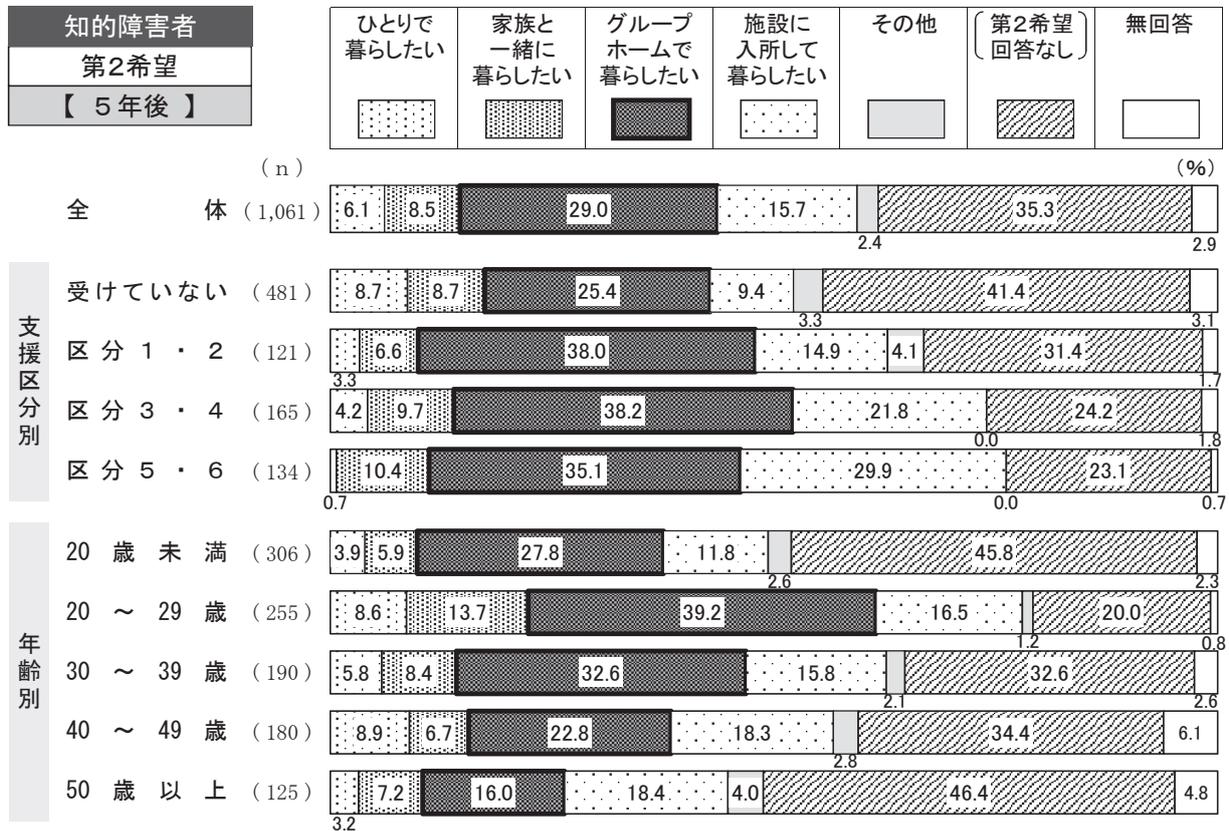


- 知的障害者の20年後の第1希望を支援区分別にみると、区分認定を受けていない人は「家族と一緒に暮らしたい」が5割近く、区分1・2、区分3・4は「グループホームで暮らしたい」がそれぞれ4割、区分5・6は「施設に入所して暮らしたい」が4割と最も多くなっている。
- 年齢別にみると、「家族と一緒に暮らしたい」が20歳未満で4割半ば、40～49歳で3割と最も多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は20～29歳で4割近く、30～39歳で3割台と最も多くなっている。また、年齢が高いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。

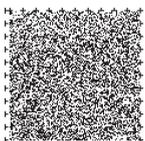


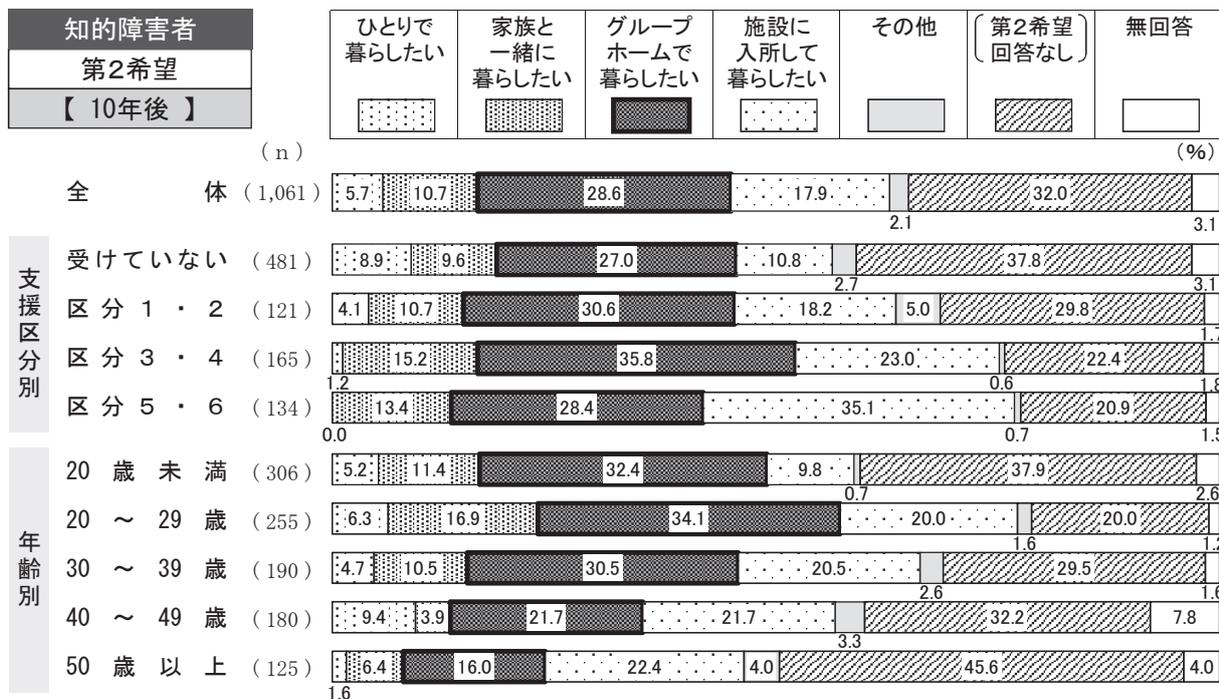


- 知的障害者の第2希望は、「グループホームで暮らしたい」が5年後、10年後でそれぞれ3割、20年後で2割となっている。「施設に入所して暮らしたい」は5年後で1割半ば、10年後で2割近く、20年後で2割半ばとなっている。
- また、第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は3割を超えている。

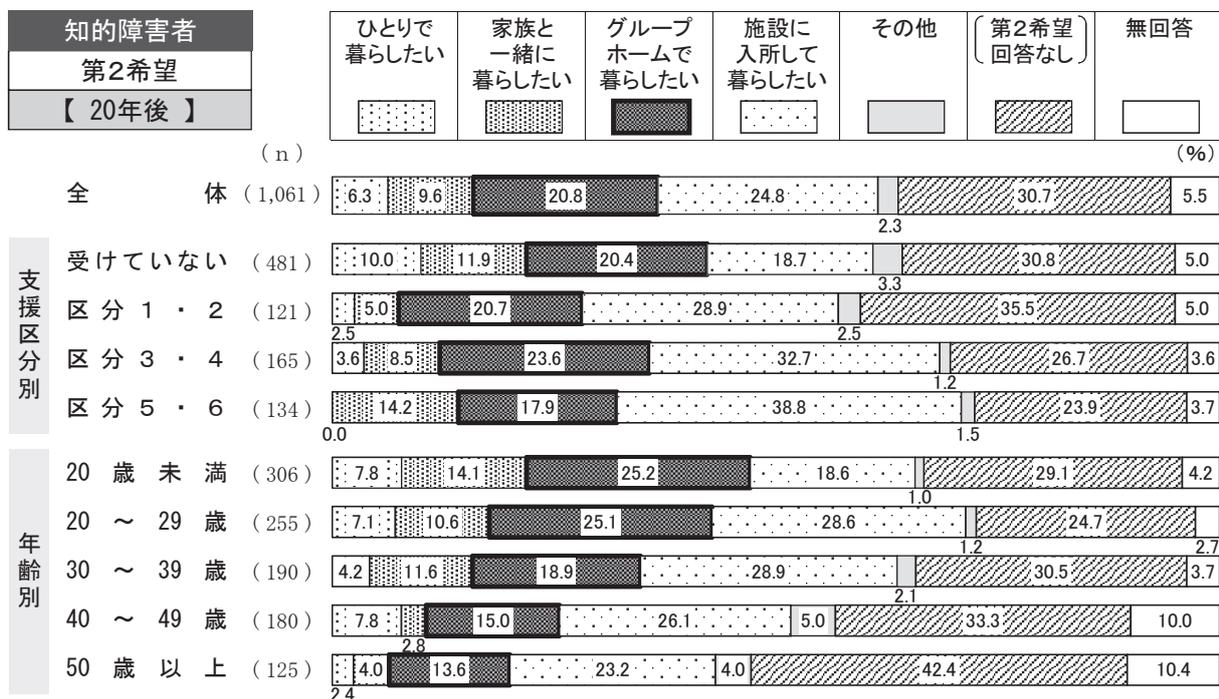


- 知的障害者の5年後の第2希望を支援区分別にみると、「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けていない人で2割半ば、区分認定を受けている人はいずれの区分も4割近くとなっている。また、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」が20歳未満で3割近く、20～29歳で4割、30～39歳で3割台となっている。

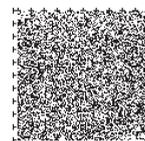




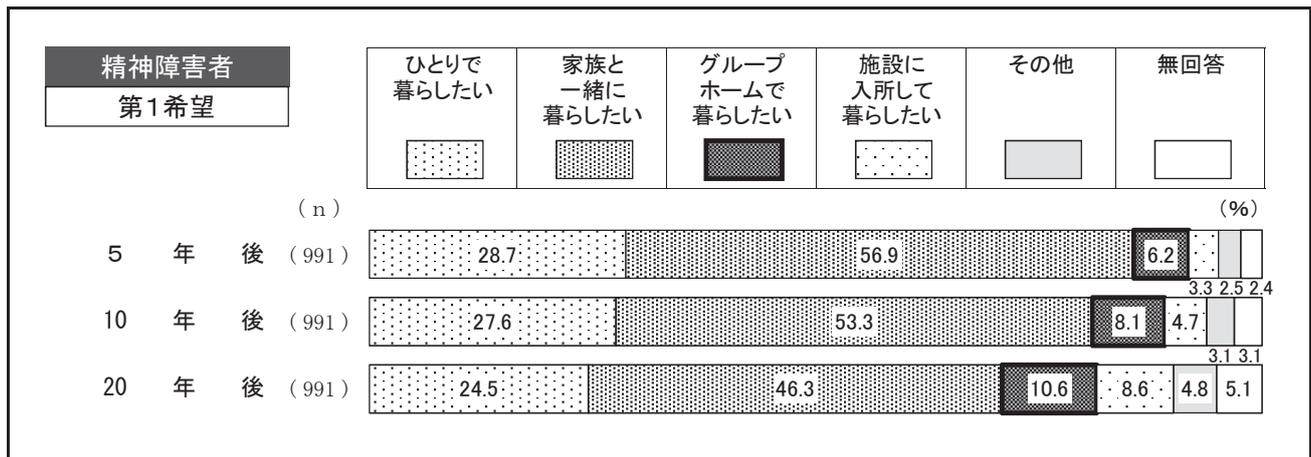
- 知的障害者の10年後の第2希望を支援区分別にみると、「グループホームで暮らしたい」はいずれも3割前後となっている。また、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」は20歳未満から30～39歳でそれぞれ3割台とおおむね年齢が低いほど多くなっている。



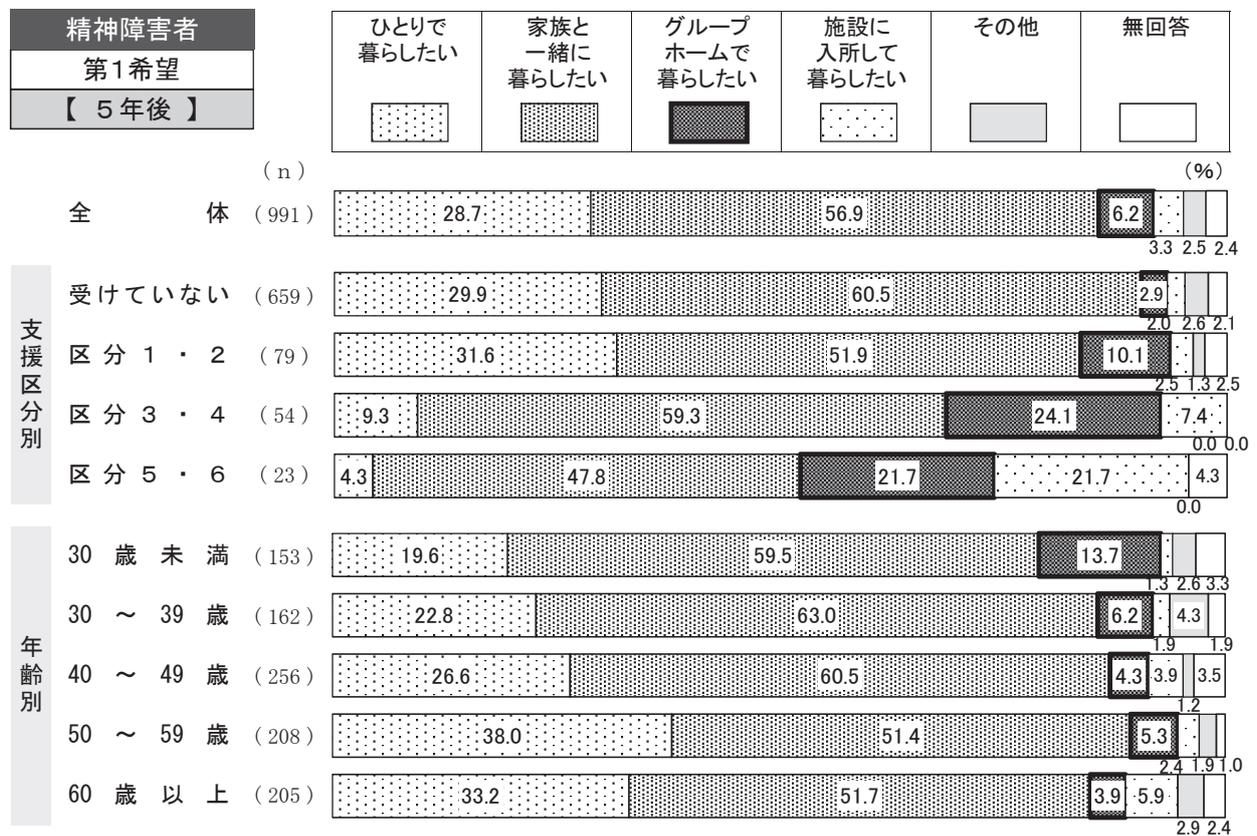
- 知的障害者の20年後の第2希望を支援区分別にみると、区分認定を受けている人は「施設に入所して暮らしたい」が3割から4割近くと最も多く、「グループホームで暮らしたい」はいずれも2割前後となっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」は年齢が低いほど多く、20歳未満、20～29歳でそれぞれ2割半ばとなっている。



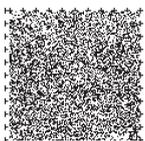
### (3) 精神障害者の状況

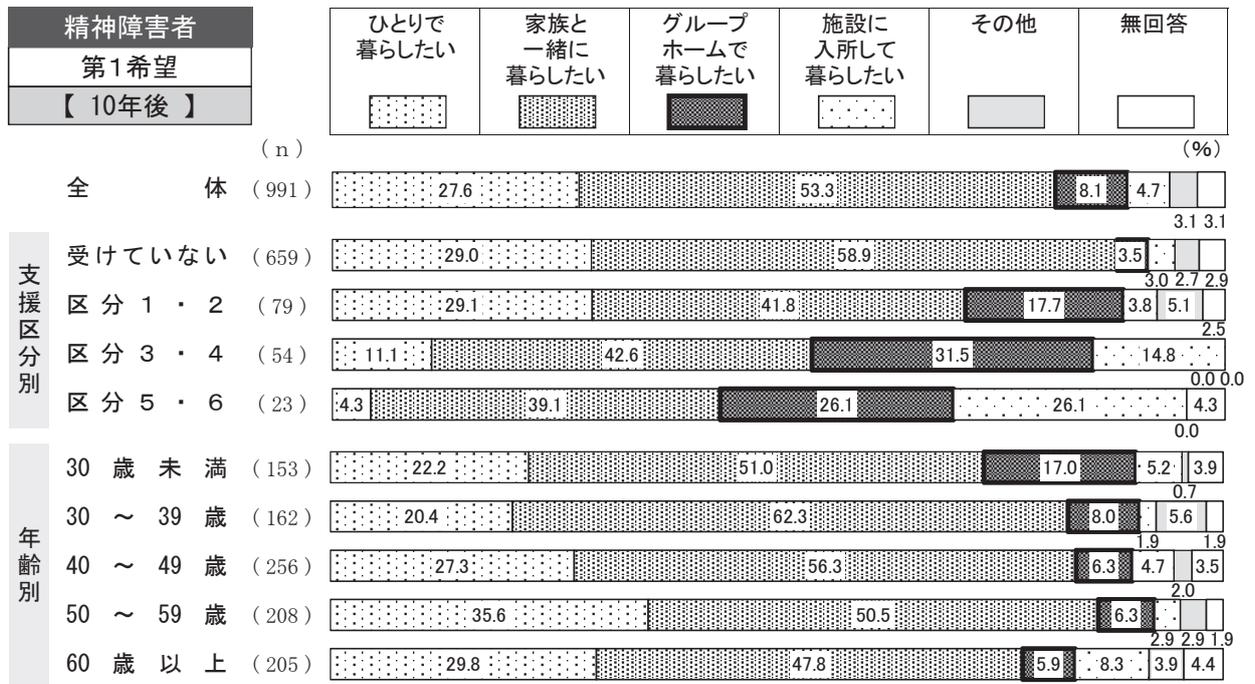


- 精神障害者の第1希望は、「家族と一緒に暮らしたい」が1位、「ひとりで暮らしたい」が2位となっている。一方、「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」は、5年後に比べ10年後と20年後は増加している。

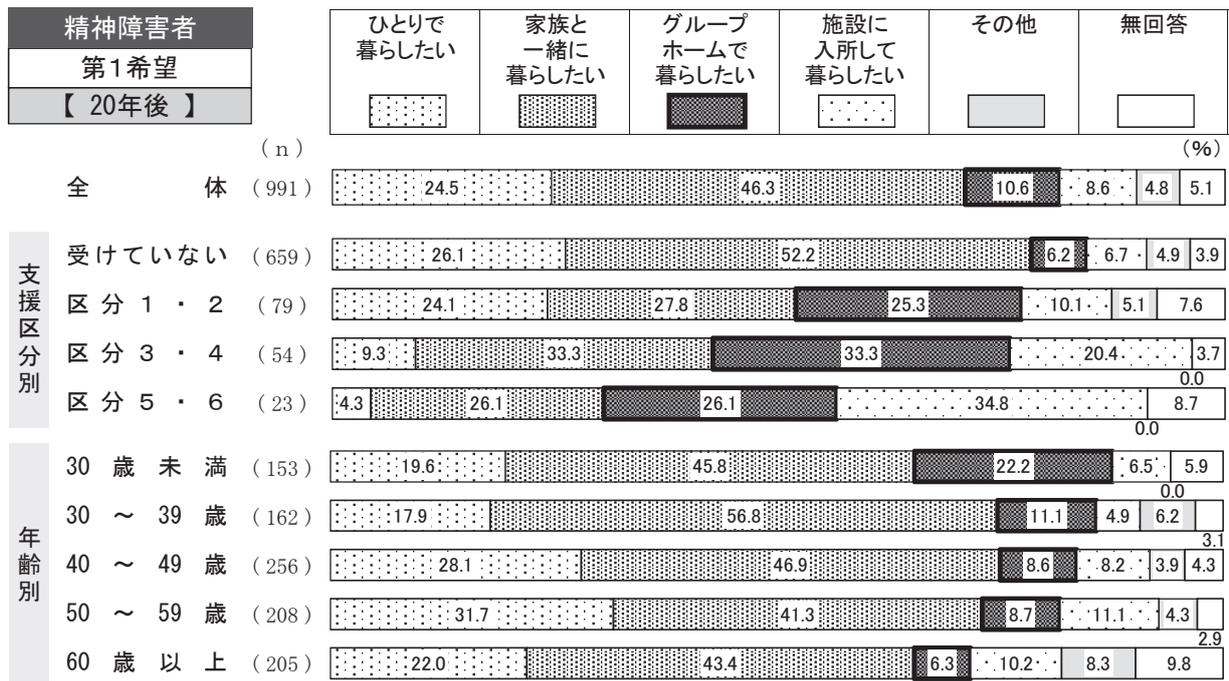


- 精神障害者の5年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。おおむね区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、区分が重いほど「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分3・4、区分5・6でそれぞれ2割台となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が5割から6割と最も多く、おおむね年齢が高いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で1割台、30歳以上の年齢別でいずれも1割未満となっている。

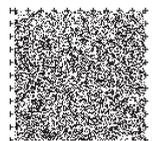


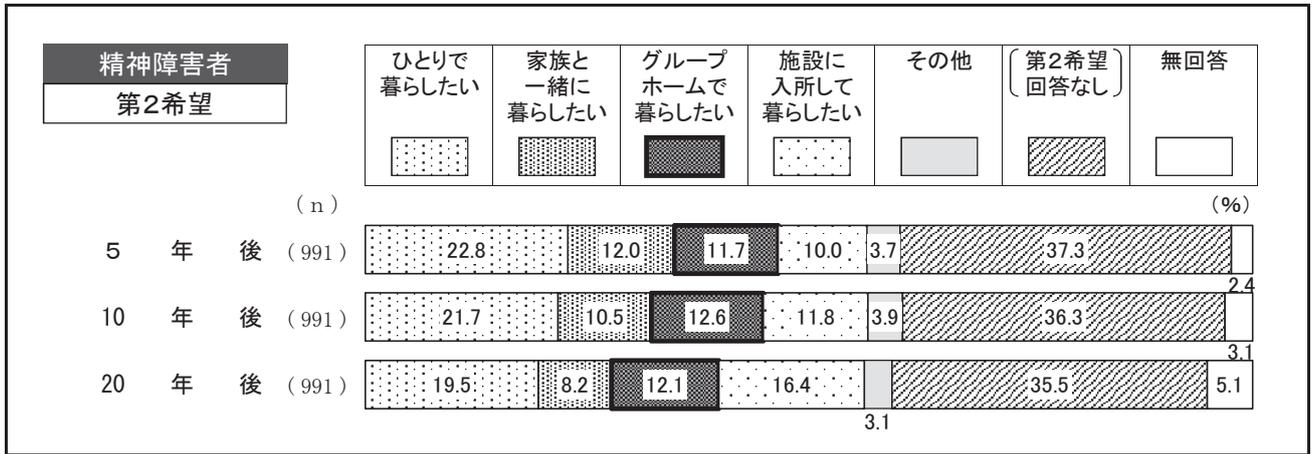


- 精神障害者の10年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分1・2で2割近く、区分3・4で3割、区分5・6で2割半ばとなっている。
- 年齢別にみると、おおむね年齢が高いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で2割近くとなっている。

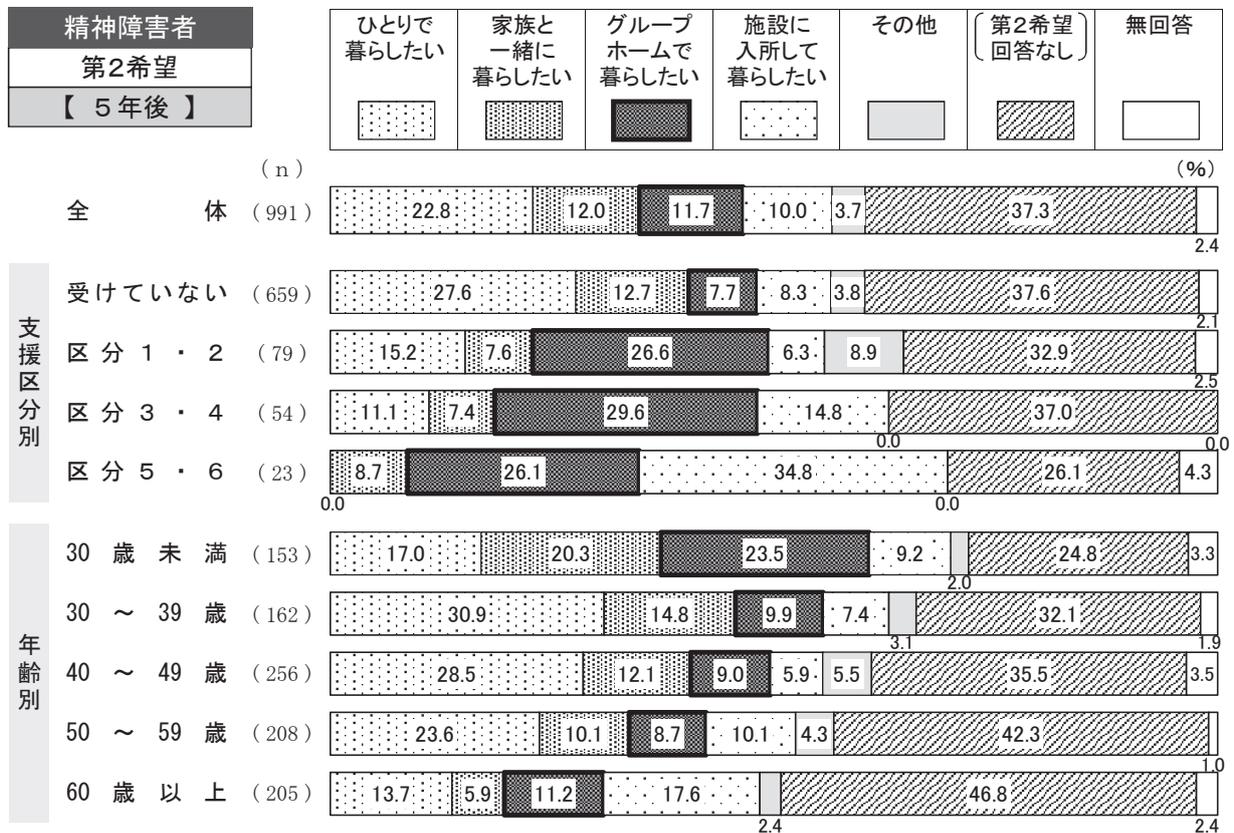


- 精神障害者の20年後の第1希望を支援区分別にみると、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は区分1・2、区分5・6でそれぞれ2割半ば、区分3・4で3割となっている。
- 年齢別にみると、おおむね年齢が高いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」はおおむね年齢が低いほど多く、30歳未満で2割台となっている。

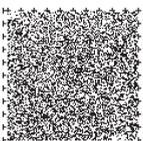


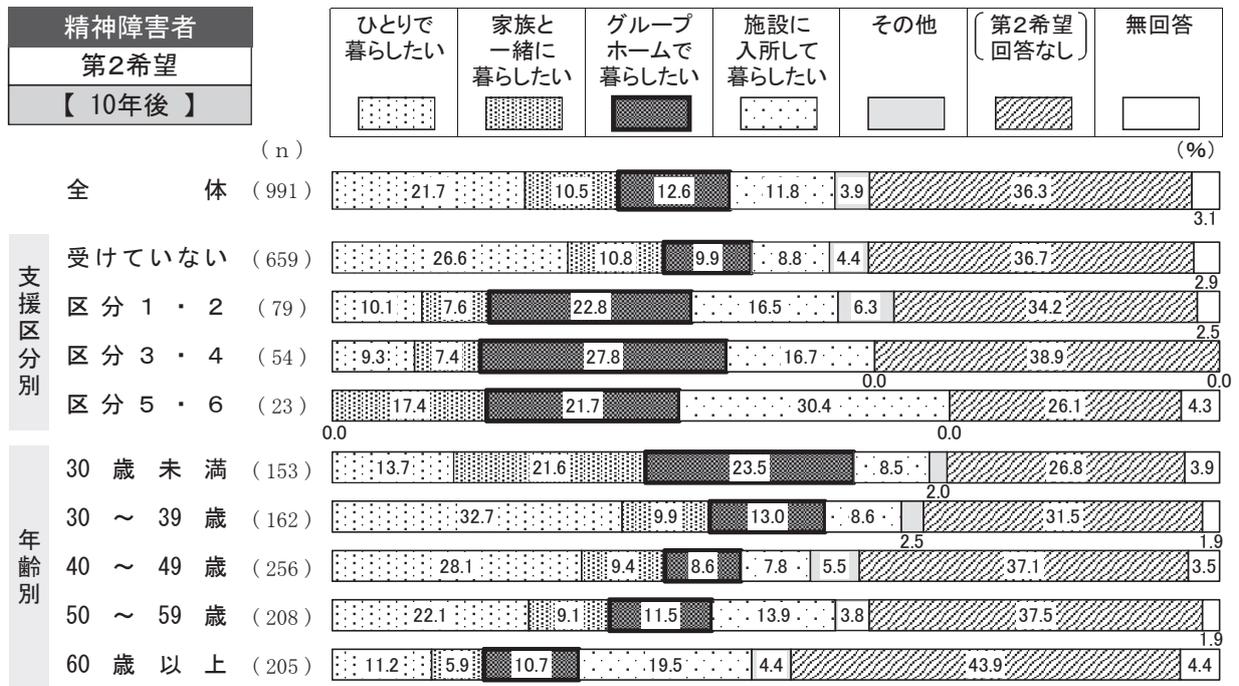


- 精神障害者の第2希望は、「ひとりで暮らしたい」「家族と一緒に暮らしたい」が5年後に比べ10年後と20年後は減少している。一方、「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」は5年後に比べ10年後と20年後は増加している。
- また、第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は3割半ばとなっている。

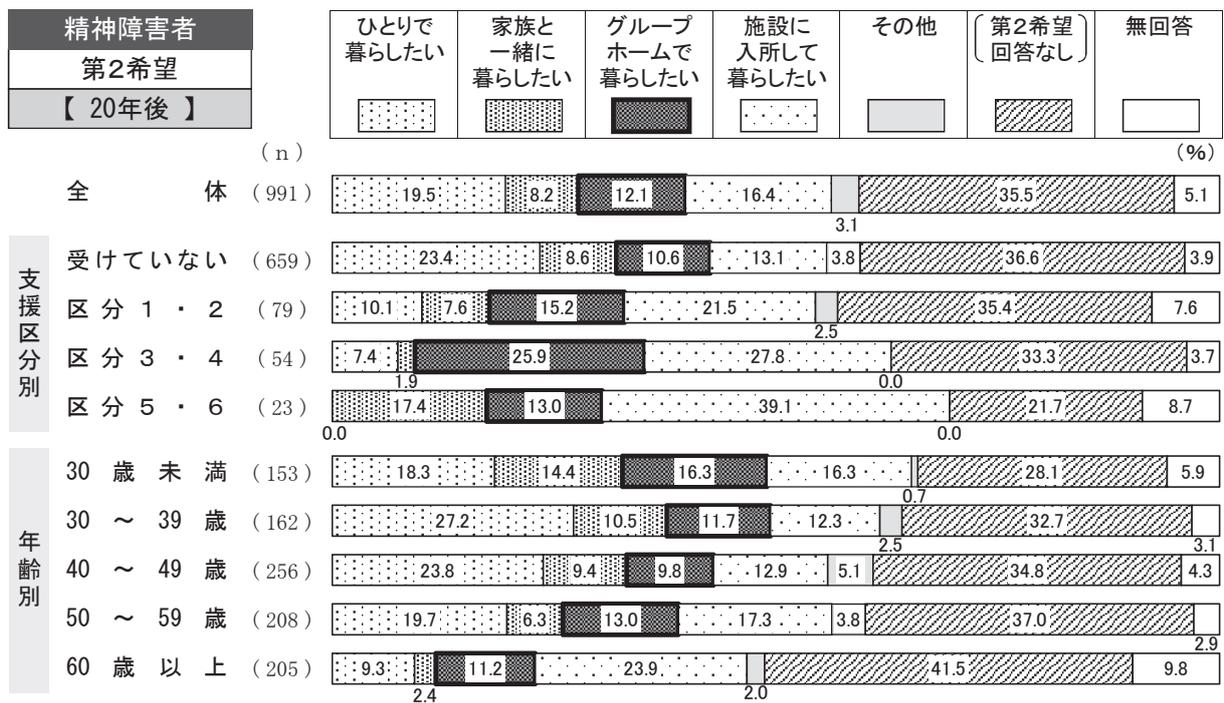


- 精神障害者の5年後の第2希望を支援区分別にみると、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、おおむね区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けている人はいずれの区分も2割半ばから3割となっている。
- 年齢別にみると、30歳未満で「家族と一緒に暮らしたい」「グループホームで暮らしたい」がそれぞれ2割台、次いで「ひとりで暮らしたい」が1割半ばとなっている。「ひとりで暮らしたい」は30～39歳の3割をピークに年齢が高くなるにつれ少なくなっている。「グループホームで暮らしたい」は30歳以上の年齢別でそれぞれ1割前後となっている。

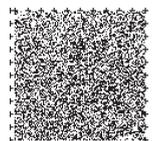




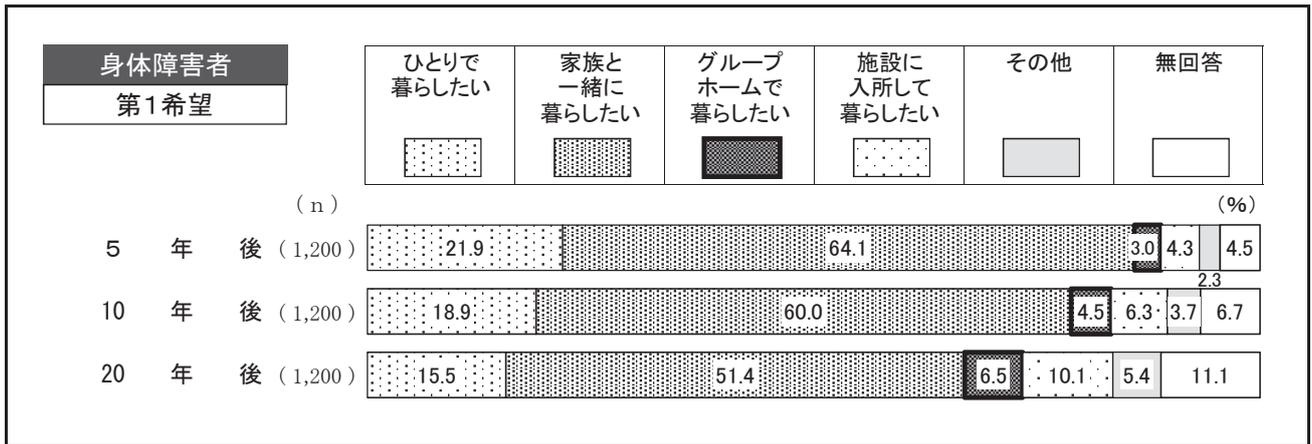
- 精神障害者の10年後の第2希望を支援区分別にみると、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けている人はいずれの区分も2割台となっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で2割台、30歳以上の年齢別でそれぞれ1割前後となっている。



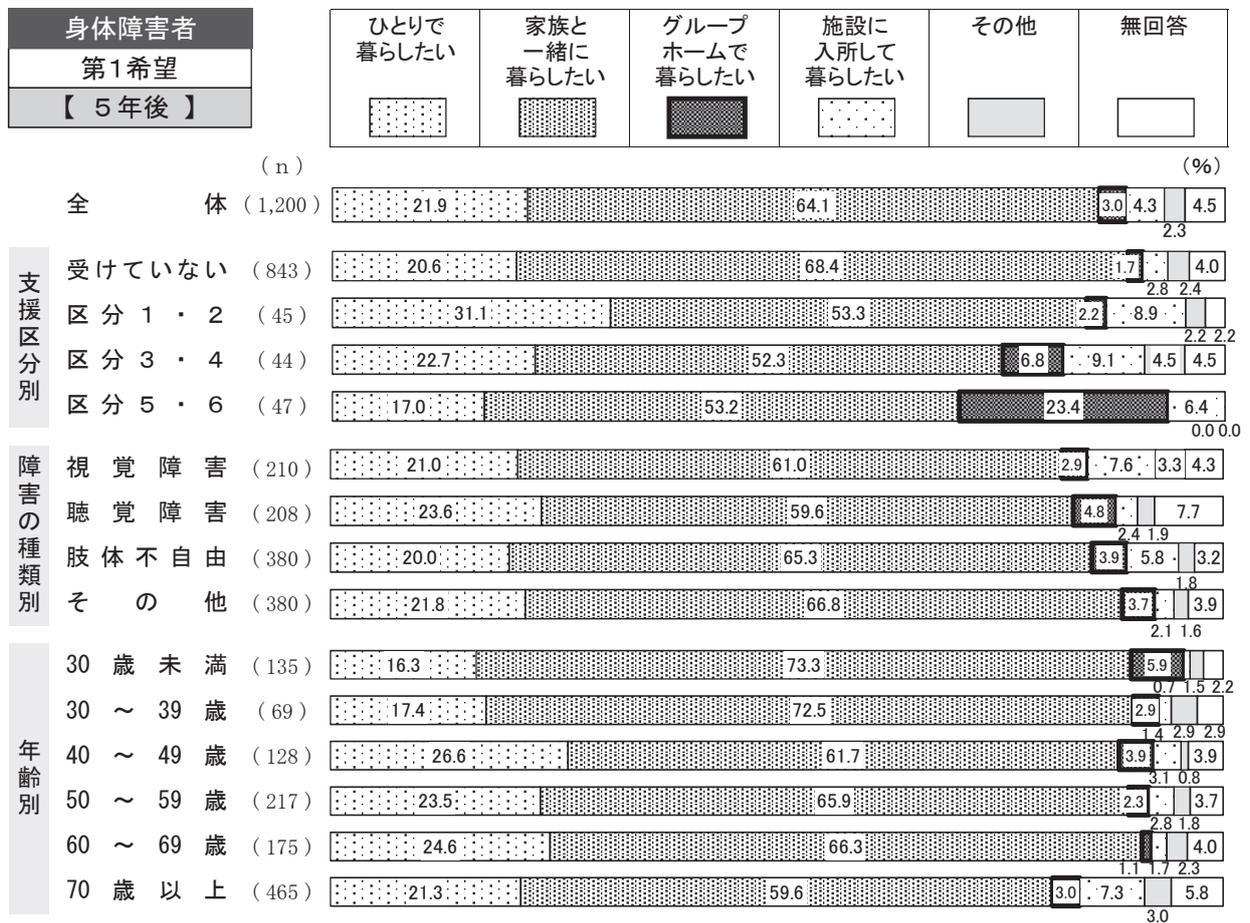
- 精神障害者の20年後の第2希望を支援区分別にみると、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は区分1・2で1割半ば、区分3・4で2割半ば、区分5・6で1割台となっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で1割半ばと他の年齢より多くなっている。



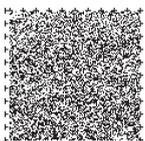
(4) 身体障害者の状況

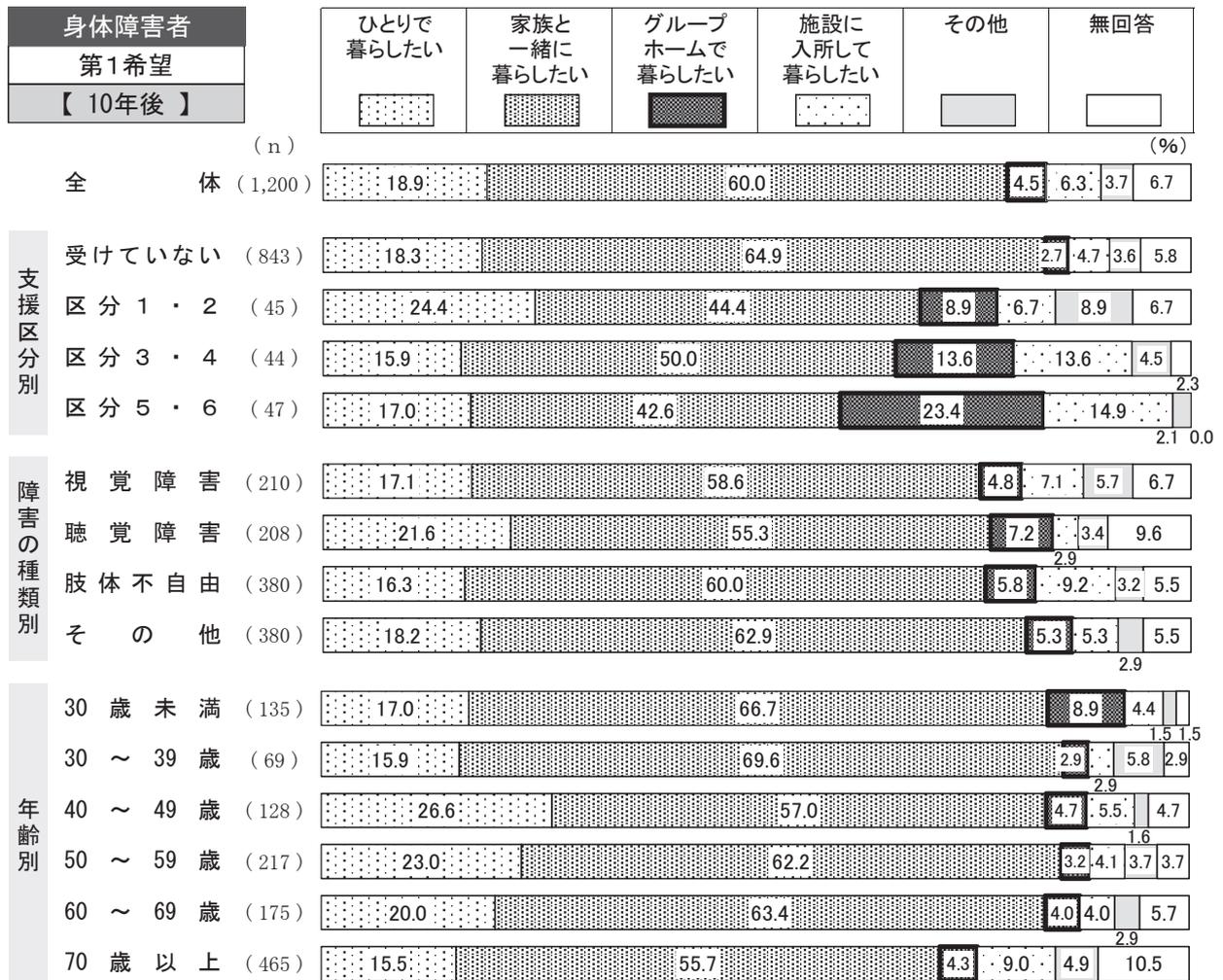


- 身体障害者の第1希望は、「家族と一緒に暮らしたい」が1位、「ひとりで暮らしたい」が2位となっているが、5年後に比べ10年後と20年後は減少している。一方、「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」は年数の経過につれ増加している。

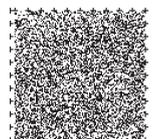


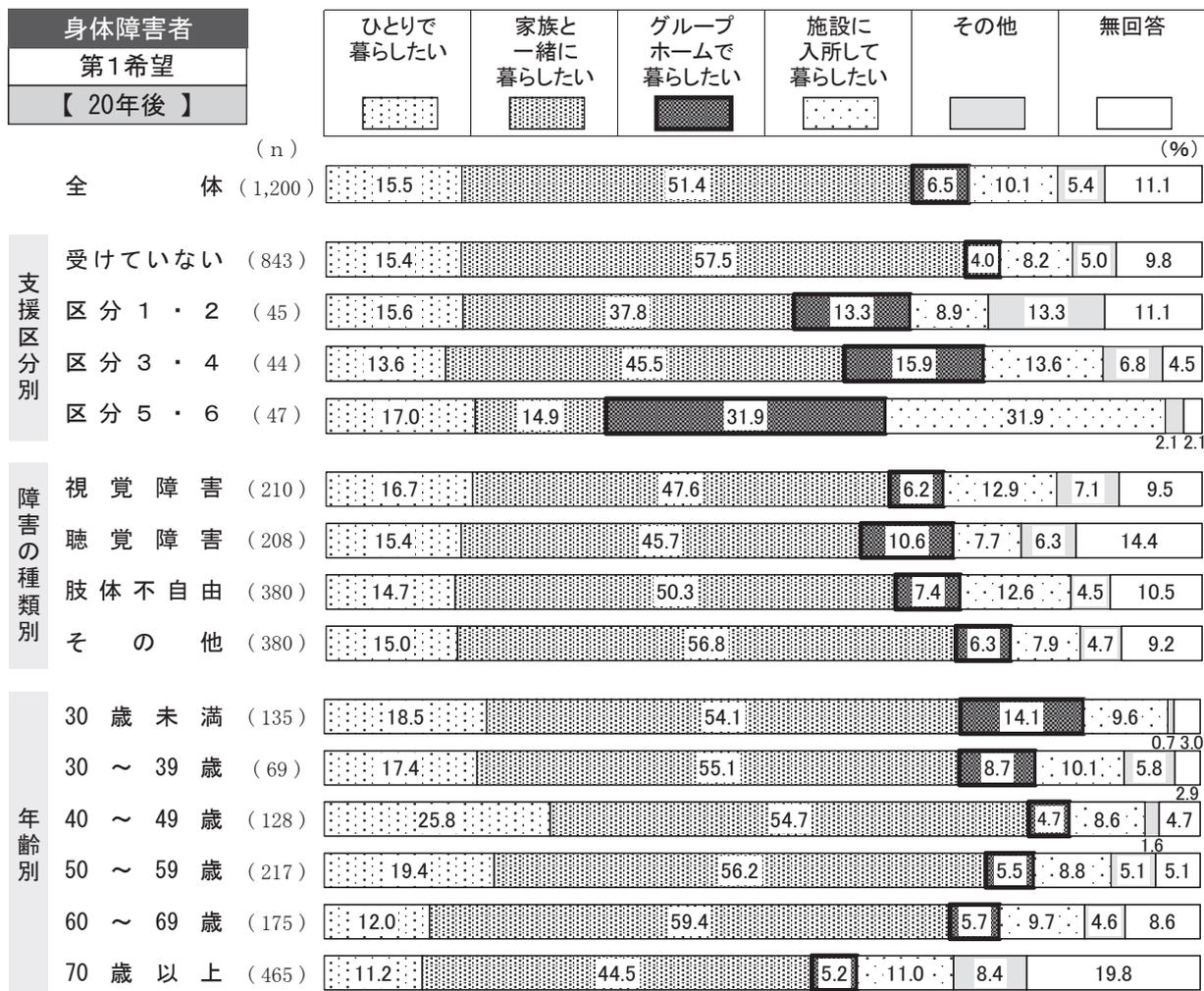
- 身体障害者の5年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、区分が軽いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分5・6で2割台となっている。
- 障害の種類別および年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。



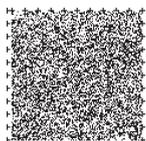


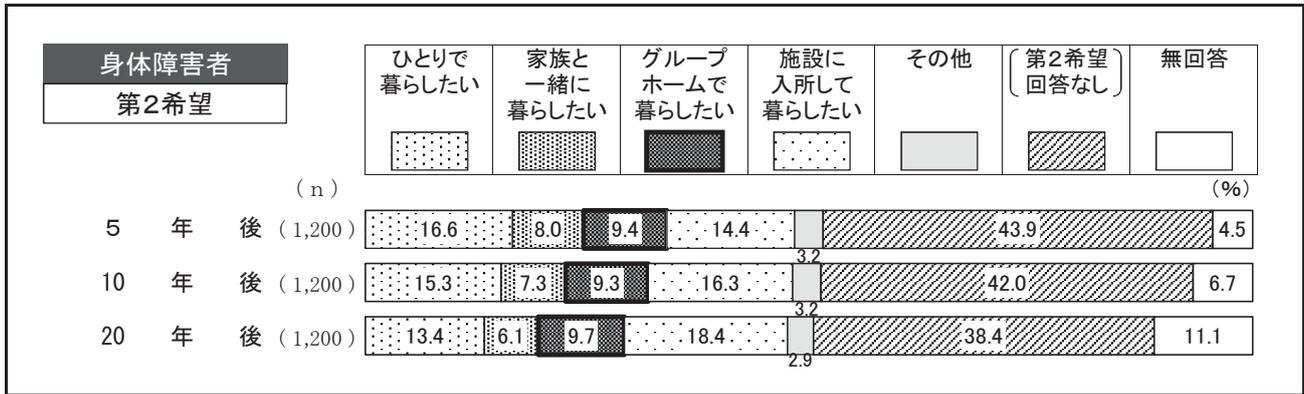
- 身体障害者の10年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分が重いほど多く、区分3・4で1割台、区分5・6で2割台となっている。また、区分が重いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。
- 障害の種類別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」はいずれも1割未満となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で1割近くと他の年齢より多くなっている。



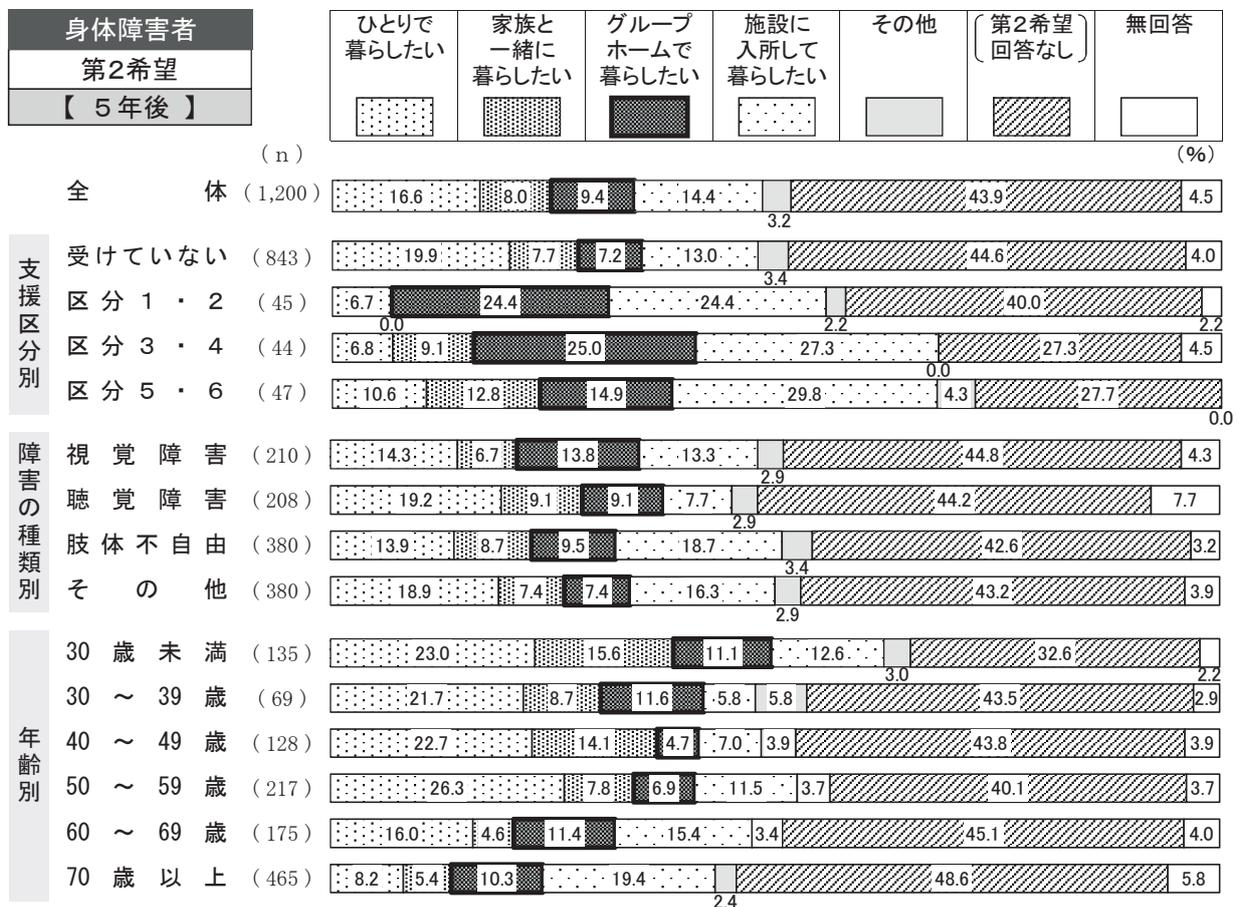


- 身体障害者の20年後の第1希望を支援区分別にみると、区分1・2、区分3・4は「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、区分5・6は「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。
- 障害の種類別にみると「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」はそれぞれ1割前後となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」となっている。「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で1割半ば、30～39歳で1割近くとなっている。

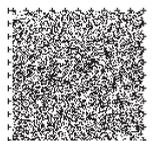


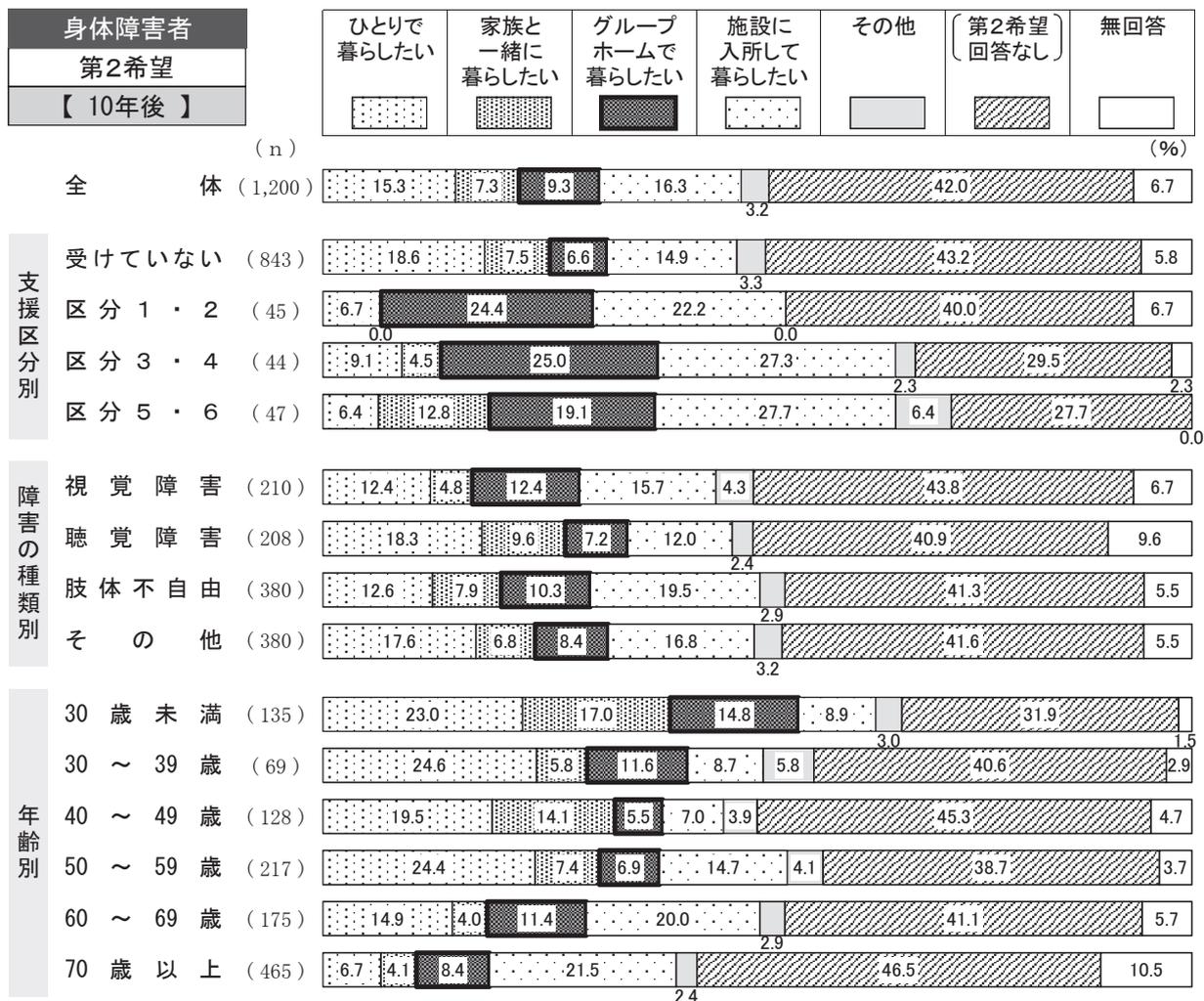


- 身体障害者の第2希望は、「ひとりで暮らしたい」「家族と一緒に暮らしたい」が5年後に比べ10年後と20年後は減少している。一方、「施設に入所して暮らしたい」は5年後に比べ10年後と20年後は増加している。「グループホームで暮らしたい」は年数の経過による変化はみられない。
- また、第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は4割前後となっている。

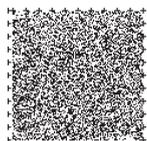


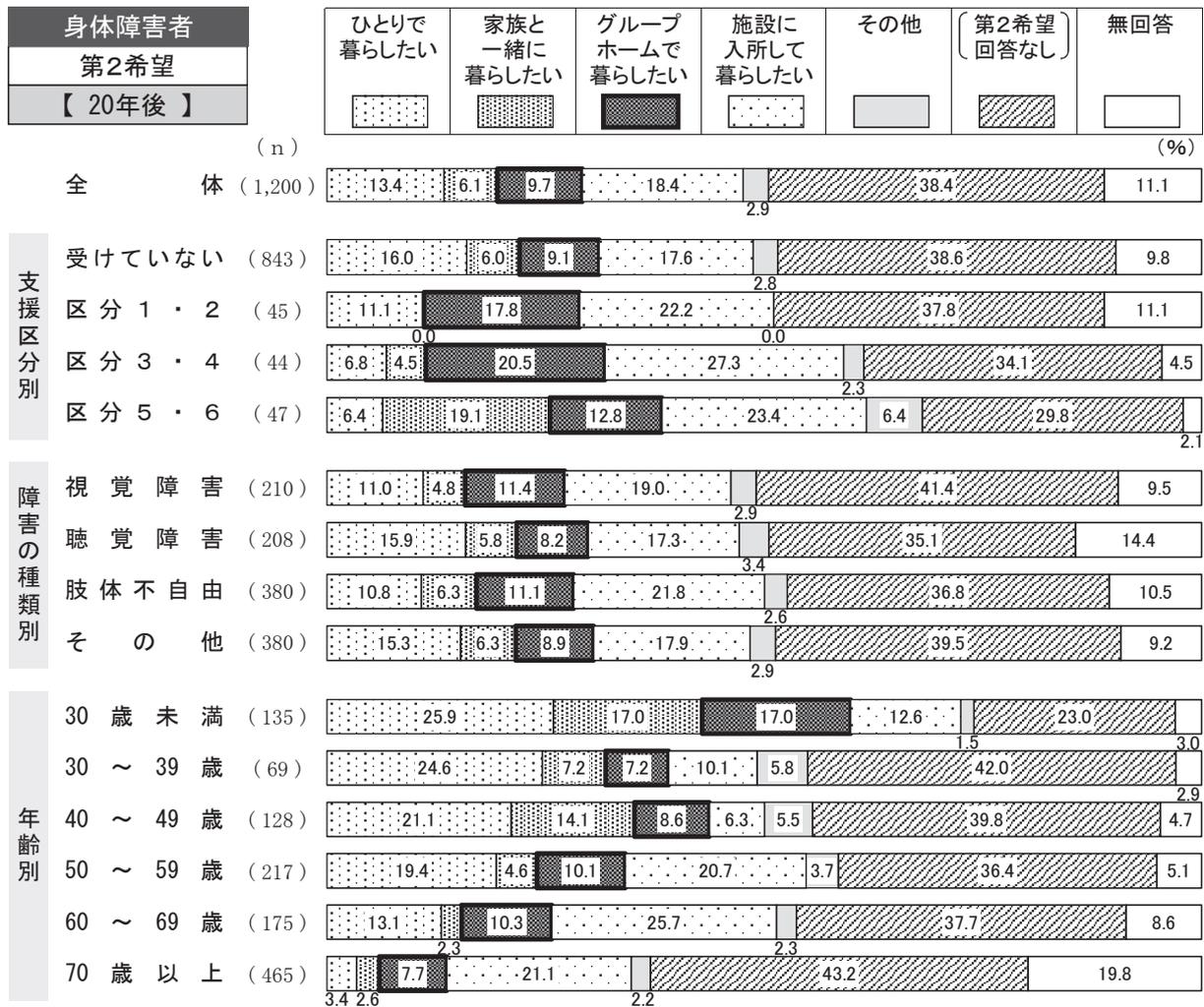
- 身体障害者の5年後の第2希望を支援区分別にみると、第2希望の回答があった中で、区分を受けていない人は「ひとりで暮らしたい」が最も多くなっている。区分1・2、区分3・4は「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」がそれぞれ2割半ばと多くなっている。区分5・6は「施設に入所して暮らしたい」が3割と最も多く、次いで「グループホームで暮らしたい」が1割半ばとなっている。
- 障害の種類別にみると、第2希望の回答があった中で、視覚障害者と聴覚障害者は「ひとりで暮らしたい」、肢体不自由は「施設に入所して暮らしたい」が最も多くなっている。
- 年齢別にみると、おおむね年齢が高いほど「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は40～49歳、50～59歳を除く年齢でそれぞれ1割となっている。



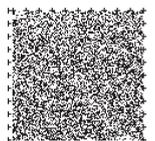


- 身体障害者の10年後の第2希望を支援区分別にみると、第2希望の回答があった中で、区分認定を受けていない人は「ひとりで暮らしたい」が最も多く、次いで「施設に入所して暮らしたい」となっている。区分1・2、区分3・4は「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」がそれぞれ2割半ばと多くなっている。区分5・6は「施設に入所して暮らしたい」が3割近くと最も多くなっている。
- 障害の種類別にみると、第2希望の回答があった中で、いずれの障害も「ひとりで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。
- 年齢別にみると、「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で1割半ばとなっている。

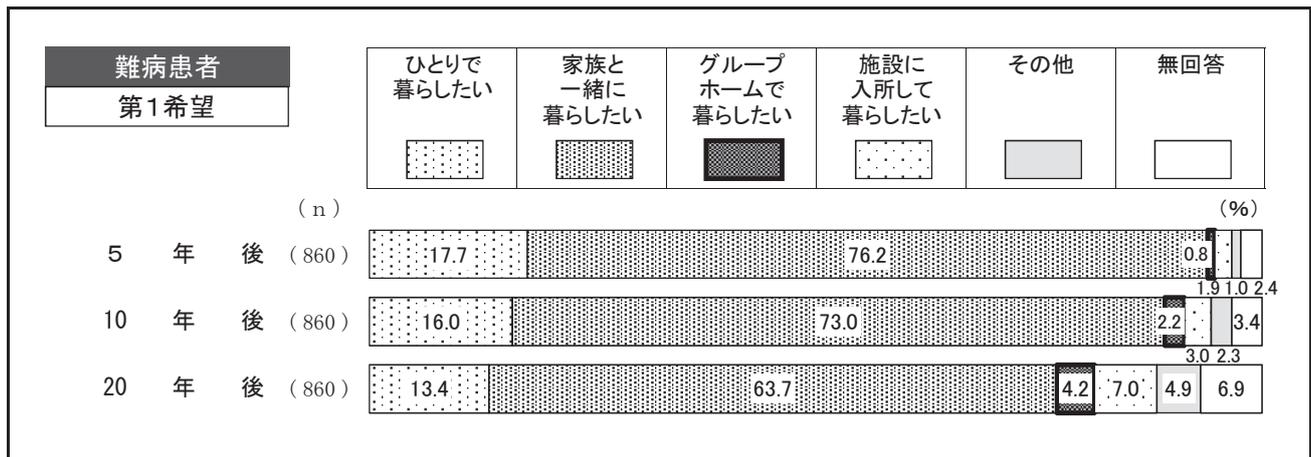




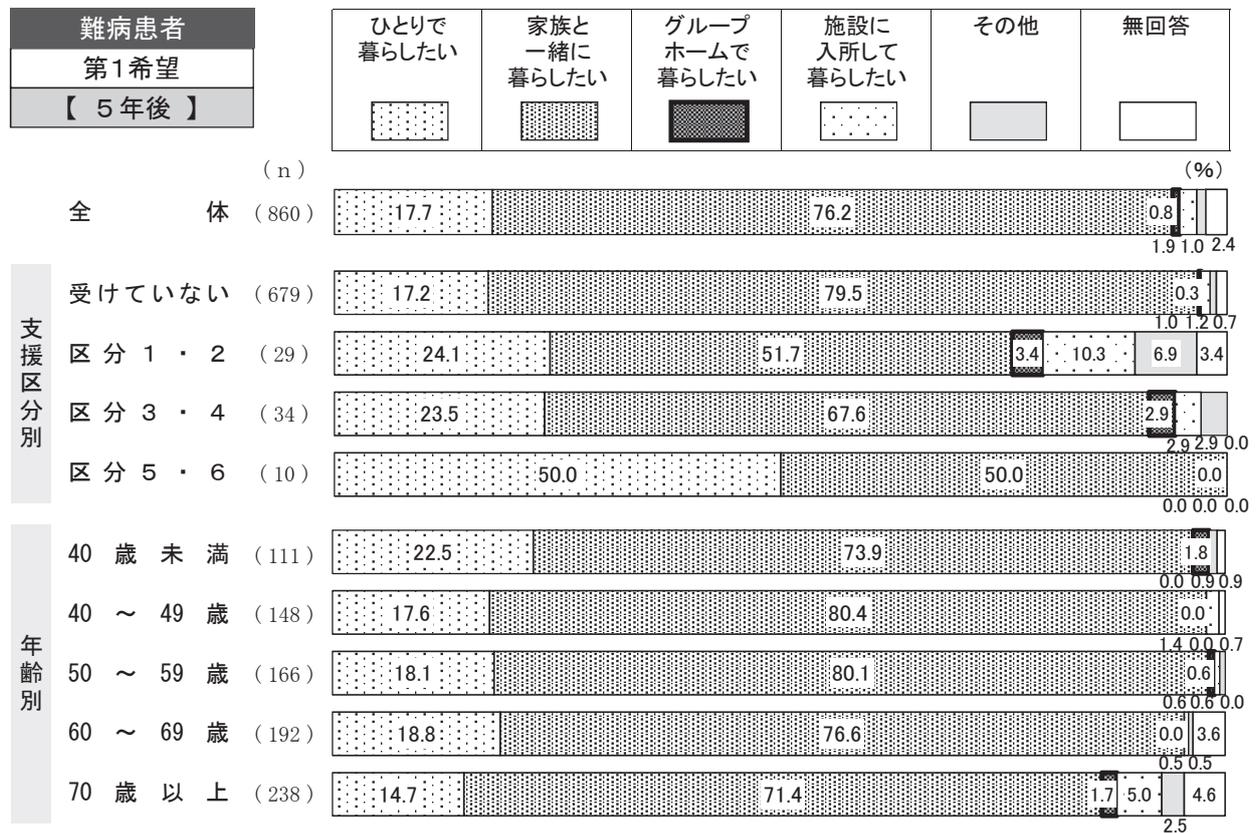
- 身体障害者の20年後の第2希望を支援区分別にみると、第2希望の回答があった中で、いずれも「施設に入所して暮らしたい」が最も多く、2割近くから3割近くとなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分1・2で2割近く、区分3・4で2割、区分5・6で1割台となっている。
- 障害の種類別にみると、第2希望の回答があった中で、いずれの障害も「施設に入所して暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」となっている。「グループホームで暮らしたい」はいずれも1割前後となっている。
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は30歳未満で2割近くとなっている。



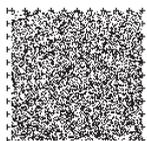
(5) 難病患者の状況

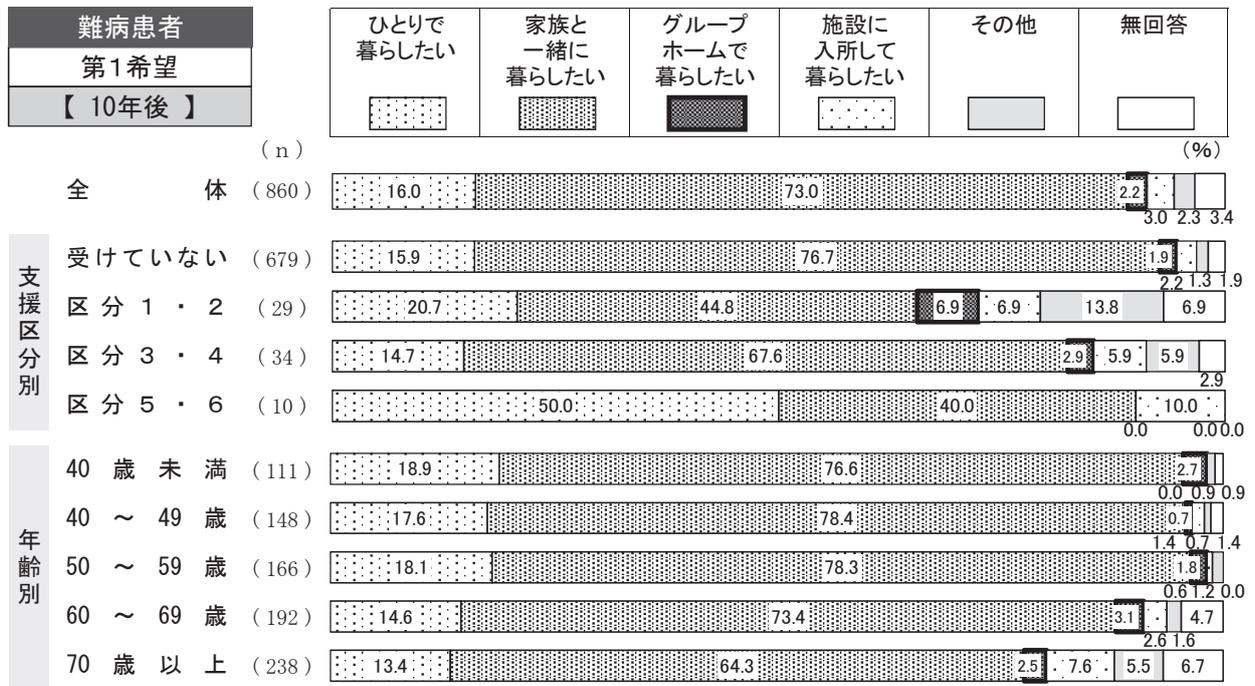


- 難病患者の第1希望は、「家族と一緒に暮らしたい」が1位、「ひとりで暮らしたい」が2位となっているが、5年後に比べ10年後と20年後は減少している。一方、「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」は5年後に比べ10年後と20年後は増加している。

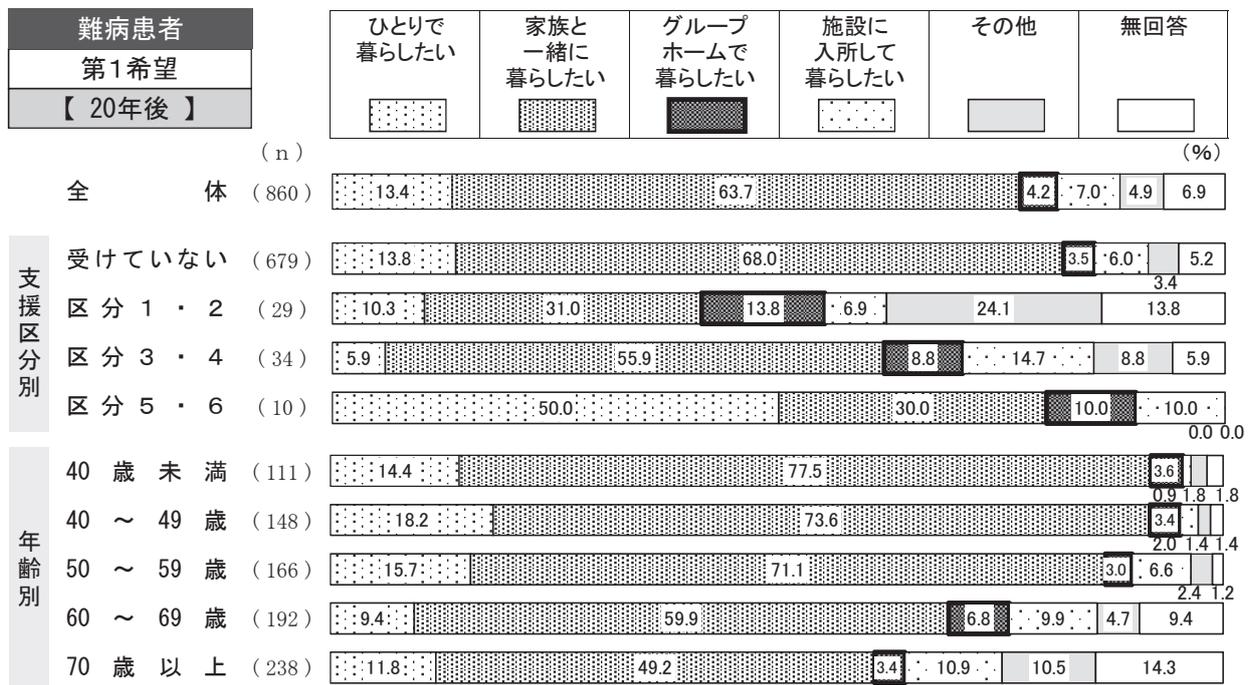


- 難病患者の5年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」となっている。「グループホームで暮らしたい」は区分1・2、区分3・4にみられるが、いずれも5%未満となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多く、次いで「ひとりで暮らしたい」となっている。

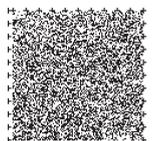


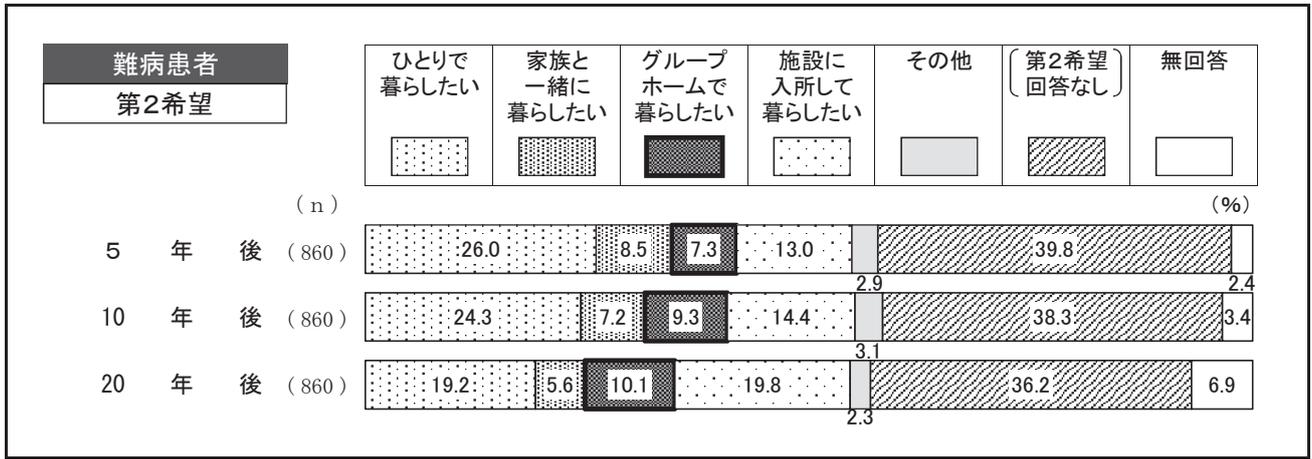


- 難病患者の10年後の第1希望を支援区分別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分1・2で他の区分より多いが、その割合は1割未満となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は、いずれの年齢も5%未満となっている。

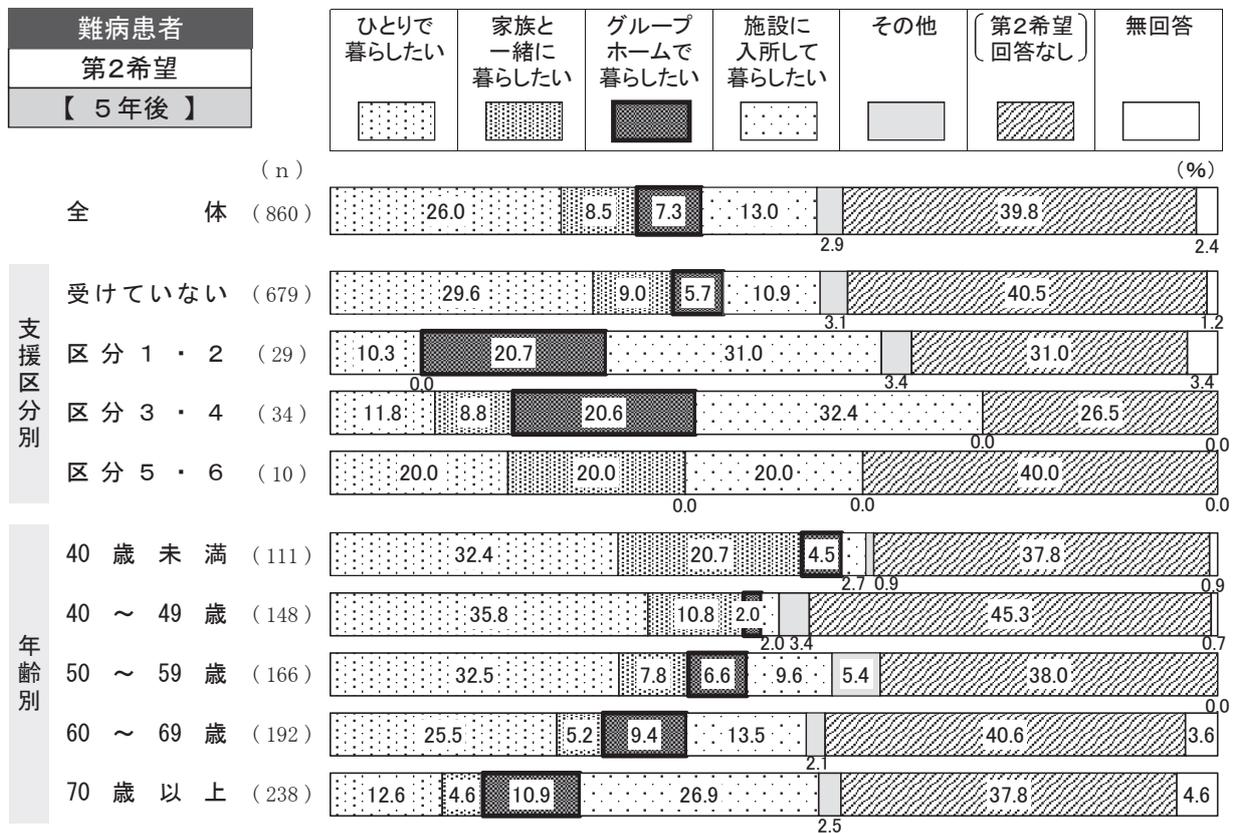


- 難病患者の20年後の第1希望を支援区分別にみると、「グループホームで暮らしたい」は区分1・2で1割半ば、区分3・4で1割近く、区分5・6で1割となっている。
- 年齢別にみると、いずれも「家族と一緒に暮らしたい」が最も多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は60～69歳で他の年齢より多いが、その割合は1割未満となっている。

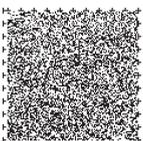


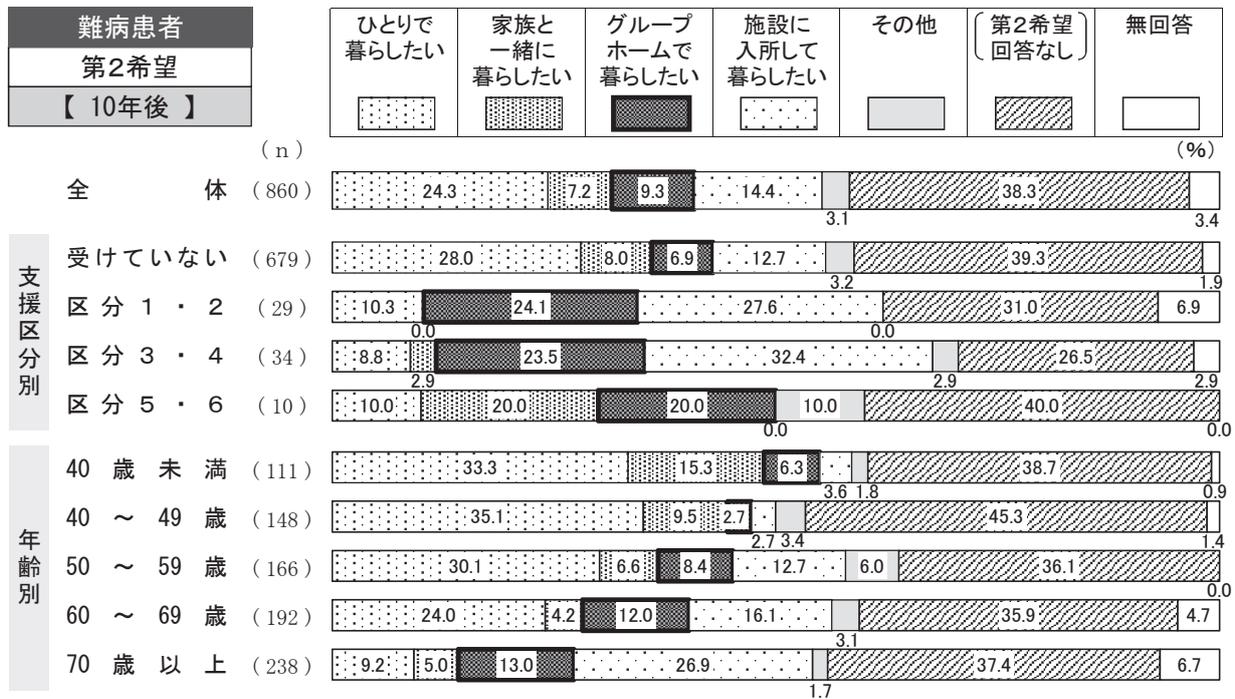


- 難病患者の第2希望は、「ひとりで暮らしたい」「家族と一緒に暮らしたい」が5年後に比べ10年後と20年後は減少している。一方、「グループホームで暮らしたい」「施設に入所して暮らしたい」が、5年後に比べ10年後と20年後は増加している。
- また、第1希望のみ回答し、第2希望の回答がなかった割合は4割近くとなっている。

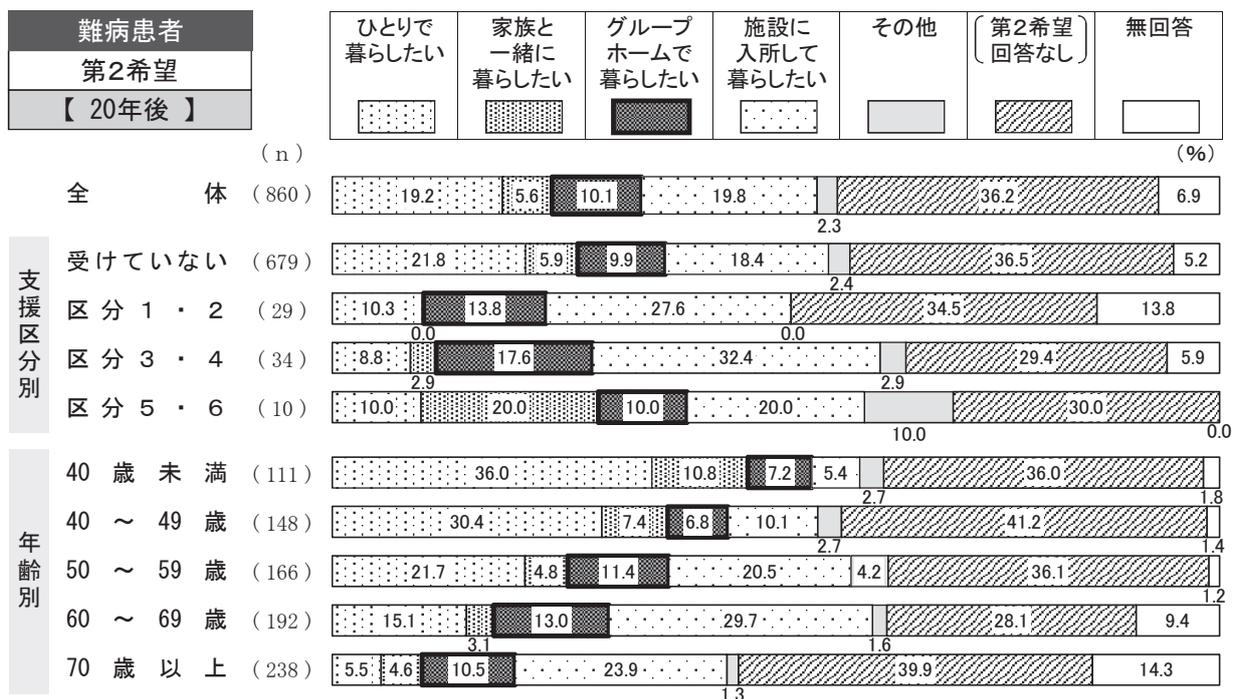


- 難病患者の5年後の第2希望を支援区分別にみると、区分認定を受けている人は「施設に入所して暮らしたい」が2割から3割と多くなっている。「グループホームで暮らしたい」は区分1・2、区分3・4でそれぞれ2割となっている。
- 年齢別にみると、おおむね年齢が低いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」はおおむね年齢が高いほど多く、60～69歳、70歳以上でそれぞれ1割となっている。また、年齢が高いほど「施設に入所して暮らしたい」も多くなっている。

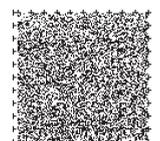




- 難病患者の10年後の第2希望を支援区分別にみると、「グループホームで暮らしたい」は区分認定を受けている人でいずれも2割台となっている。
- 年齢別にみると、おおむね年齢が低いほど「ひとりで暮らしたい」が多くなっている。「グループホームで暮らしたい」はおおむね年齢が高いほど多く、60～69歳、70歳以上でそれぞれ1割台となっている。また、「施設に入所して暮らしたい」も年齢が高いほど多くなっている。



- 難病患者の20年後の第2希望を支援区分別にみると、区分認定を受けている人は「施設に入所して暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は区分3・4で2割近くとなっている。
- 年齢別にみると、年齢が低いほど「ひとりで暮らしたい」が多く、おおむね年齢が高いほど「施設で暮らしたい」が多くなっている。また、「グループホームで暮らしたい」は50歳以上の年齢別でそれぞれ1割台となっている。

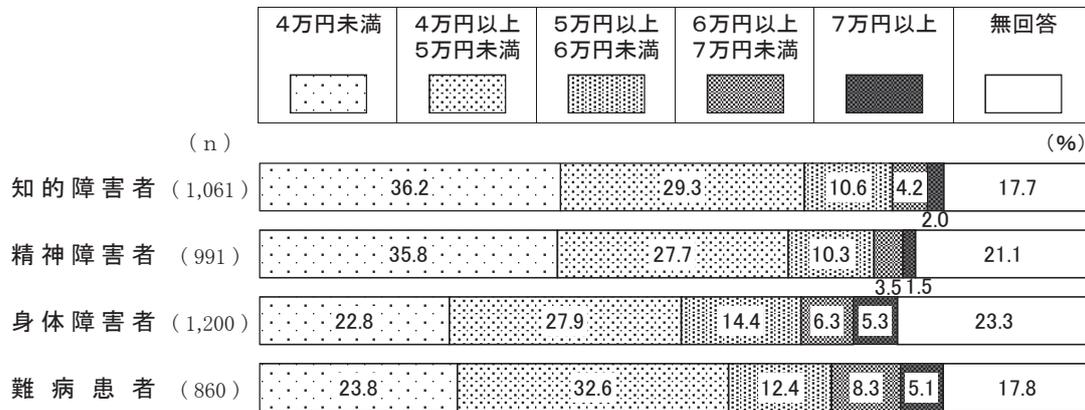


## 2 グループホームに求めるもの

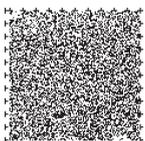
### (1) グループホームの家賃負担の希望

問23：グループホームに入居すると、1か月あたり食費・光熱費として平均5万円程度かかり、その他に「家賃」が必要となります。

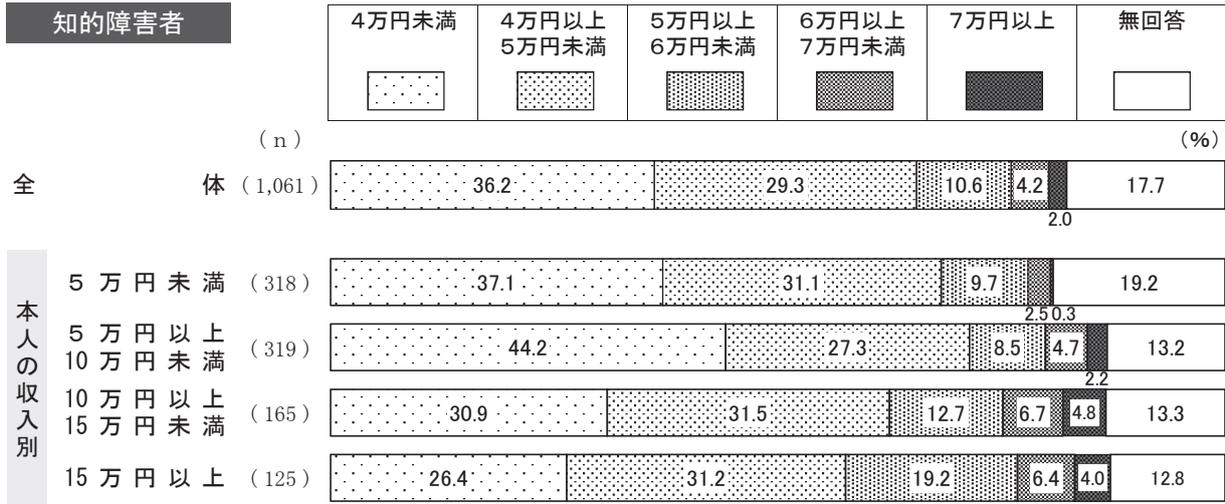
「家賃」として、月額いくらまでなら支払うことができますか。（○は1つ）



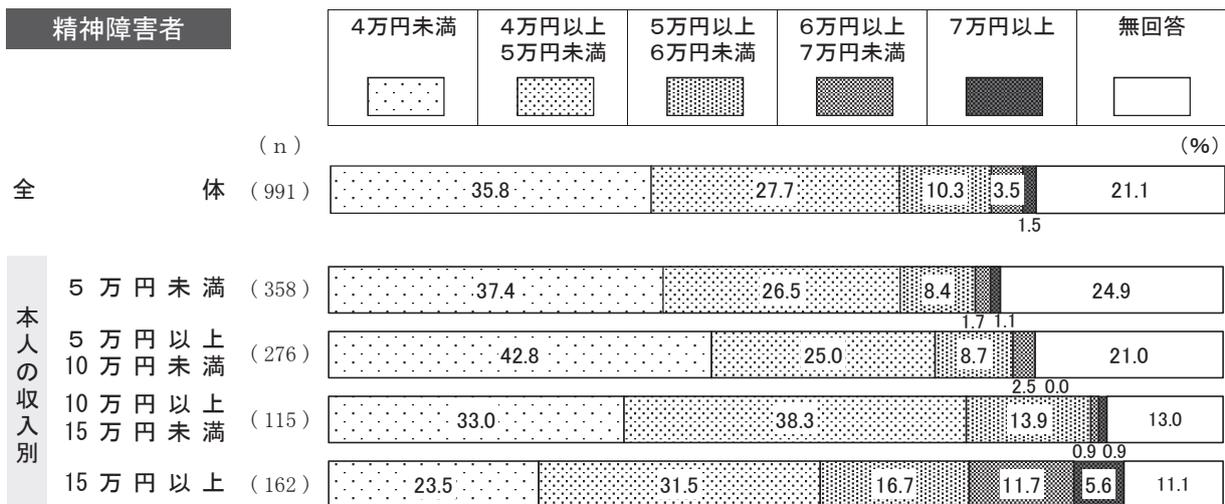
- グループホームの家賃負担の希望は、知的障害者、精神障害者は「4万円未満」がそれぞれ3割半ばと最も多く、次いで「4万円以上5万円未満」がそれぞれ3割程度となっている。身体障害者、難病患者は「4万円以上5万円未満」がそれぞれ3割前後と最も多く、次いで「4万円未満」が2割台となっている。



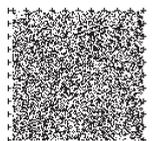
【 グループホームの家賃負担の希望 】

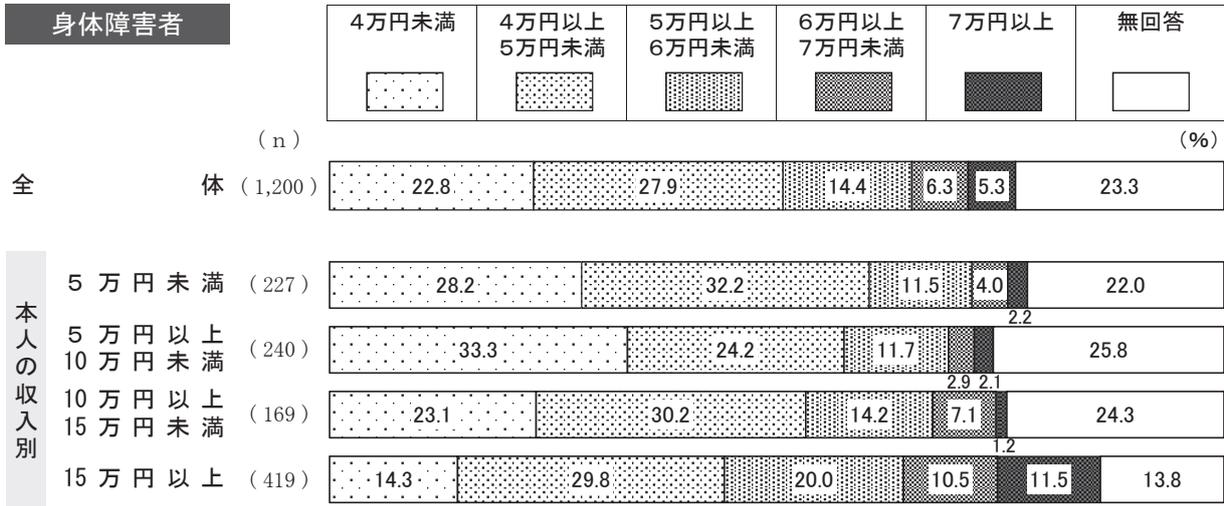


- 知的障害者について本人の収入別にみると、本人の収入が10万円未満の場合、家賃負担は「4万円未満」を希望する人が4割前後と最も多くなっている。本人の収入が10万円以上の場合、「4万円以上5万円未満」の家賃負担を希望する割合が3割程度と最も多くなっている。

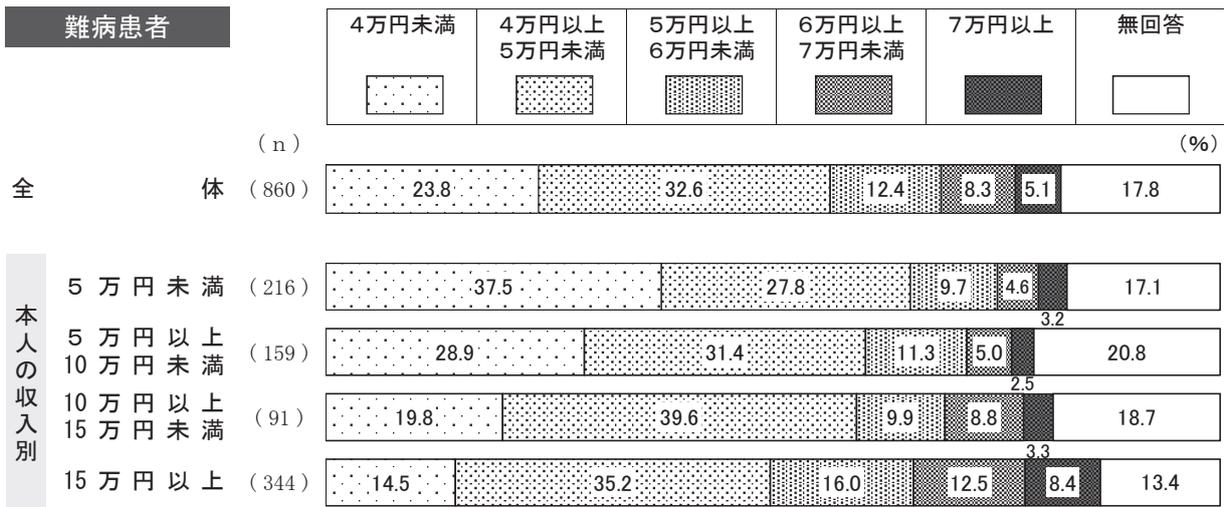


- 精神障害者について本人の収入別にみると、本人の収入が10万円未満の場合、家賃負担は「4万円未満」を希望する割合が4割前後と最も多くなっている。本人の収入が10万円以上の場合、「4万円以上5万円未満」の家賃負担の希望が3割を超え、最も多くなっている。

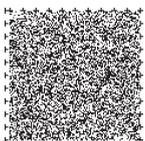




- 身体障害者について本人の収入別にみると、本人の収入が10万円未満の場合、家賃負担「4万円未満」の希望が3割、次いで家賃負担「4万円以上5万円未満」の希望が3割前後となっている。本人の収入が10万円以上の場合、「4万円以上5万円未満」の家賃負担の希望が3割前後と最も多くなっている。

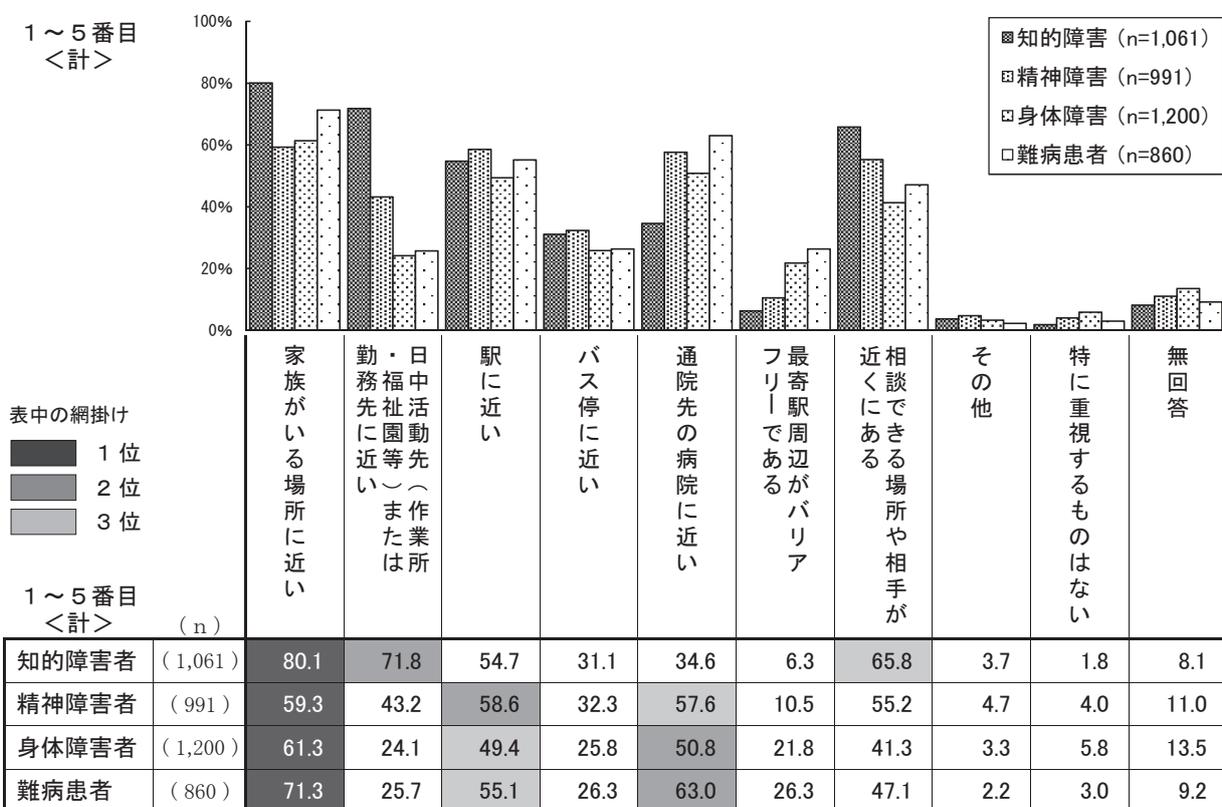


- 難病患者について本人の収入別にみると、本人の収入が低いほど家賃負担は「4万円未満」を希望する割合が多くなっている。本人の収入が10万円以上の場合、「4万円以上5万円未満」の家賃負担を希望する割合が3割半ばから4割と最も多くなっている。

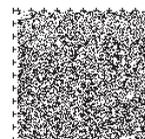


## (2) グループホームの立地条件（周辺環境）について重視すること

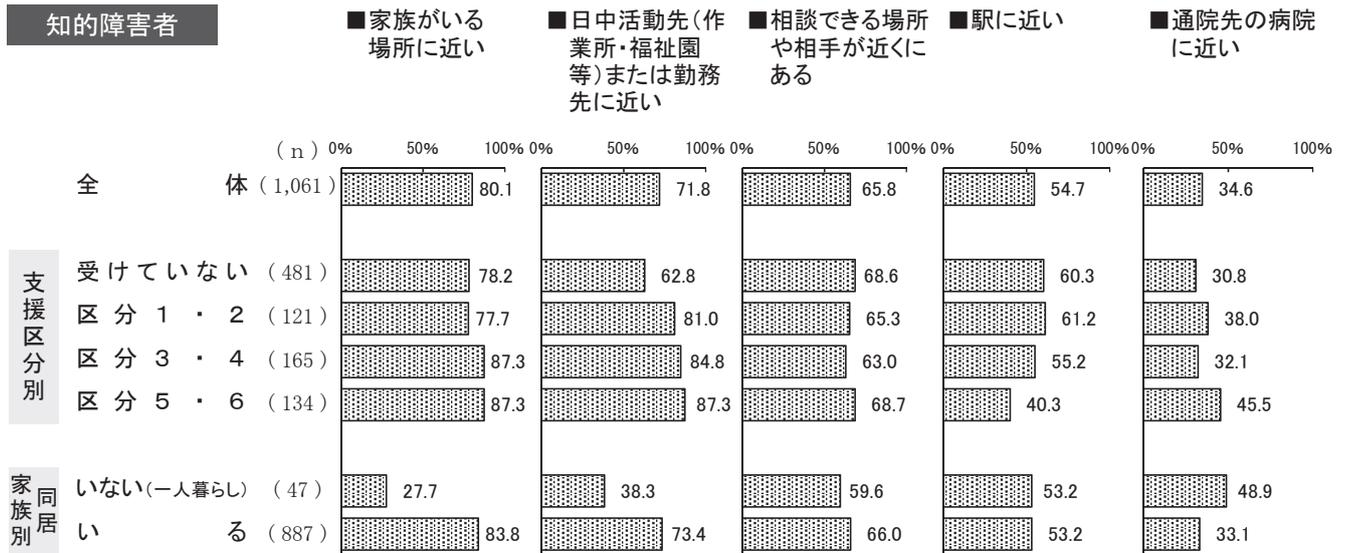
問19：グループホームの立地（周辺環境）について、どのようなことを重視しますか。  
 もっとも重視することから順番に、最大5番目まで選び、下の枠に項目の番号を記入してください。



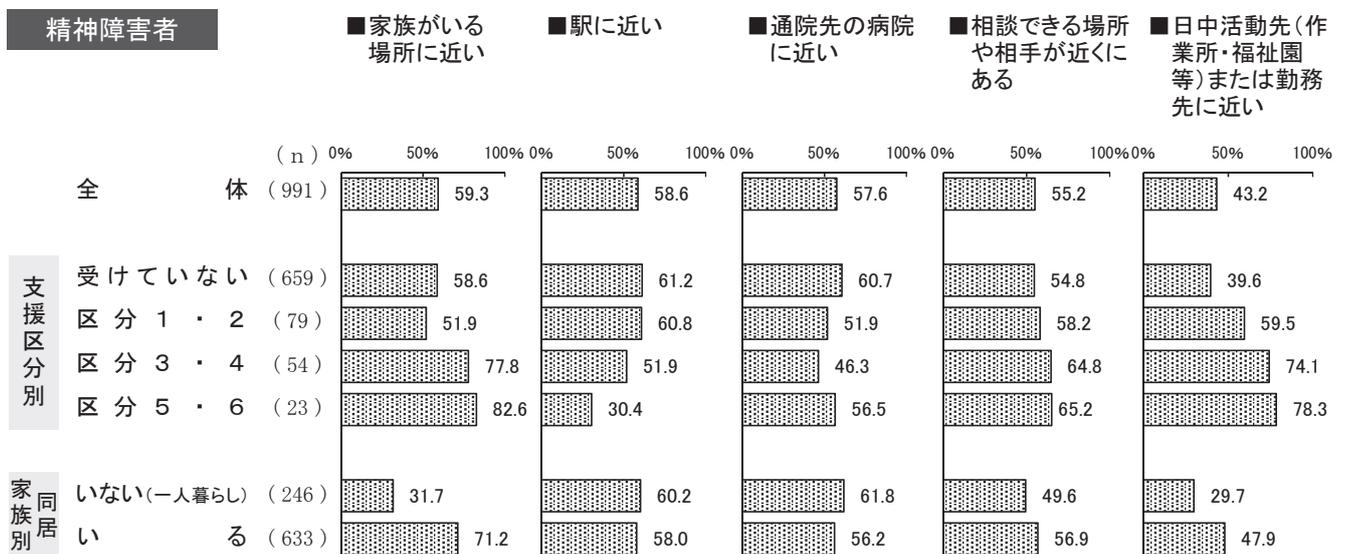
- グループホームの立地条件や周辺環境で重視することについて1～5番目（計）は、いずれの障害者も「家族がいる場所に近い」が最も多く、知的障害者で8割、精神障害者、身体障害者でそれぞれ6割、難病患者で7割となっている。次いで、知的障害者は「日中活動先（作業所・福祉園等）または勤務先に近い」「相談できる場所や相手が近くにある」、精神障害者は「駅に近い」「通院先の病院に近い」、身体障害者、難病患者は「通院先の病院に近い」「駅に近い」の順となっている。



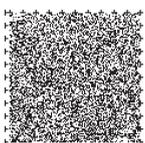
【グループホームの立地条件について重視すること：1～5番目<計>（上位5項目）】



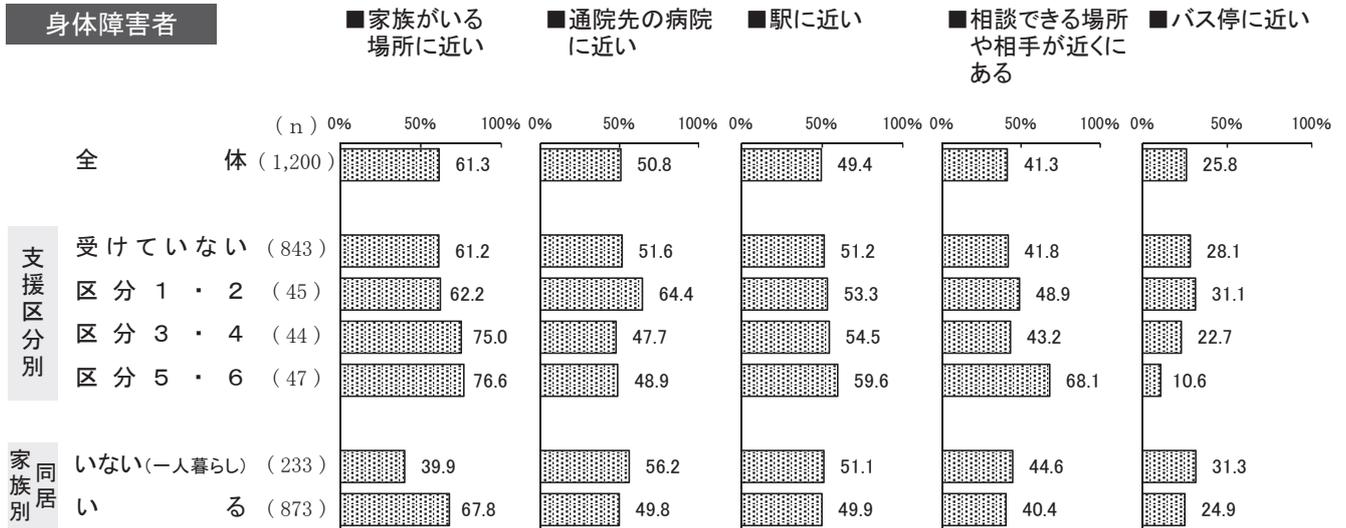
- 知的障害者について支援区分別にみると、区分が重いほど「日中活動先（作業所・福祉園等）または勤務先に近い」が多く、区分が軽いほど「駅に近い」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「相談できる場所や相手が近くにある」が最も多くなっている。同居家族がいる人は「家族がいる場所に近い」「日中活動先（作業所・福祉園等）または勤務先に近い」の順に多くなっている。



- 精神障害者について支援区分別にみると、区分が重いほど「家族がいる場所に近い」「日中活動先（作業所・福祉園等）または勤務先に近い」が多く、区分が軽いほど「駅に近い」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「通院先の病院に近い」、同居家族がいる人は「家族がいる場所に近い」がそれぞれ最も多くなっている。

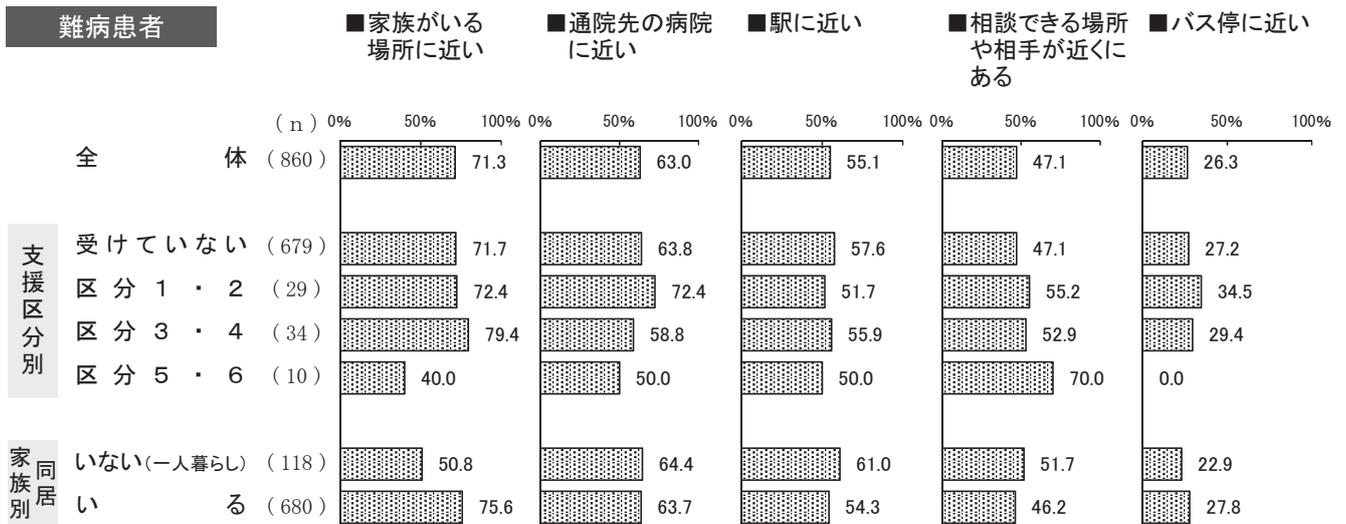


## 身体障害者

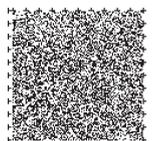


- 身体障害者について支援区別にみると、おおむね区分が重いほど「家族がいる場所に近い」「相談できる場所や相手が近くにある」が多く、おおむね区分が軽いほど「通院先の病院に近い」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「通院先の病院に近い」「駅に近い」の順に多くなっている。同居家族がいる人は「家族がいる場所に近い」が最も多くなっている。

## 難病患者

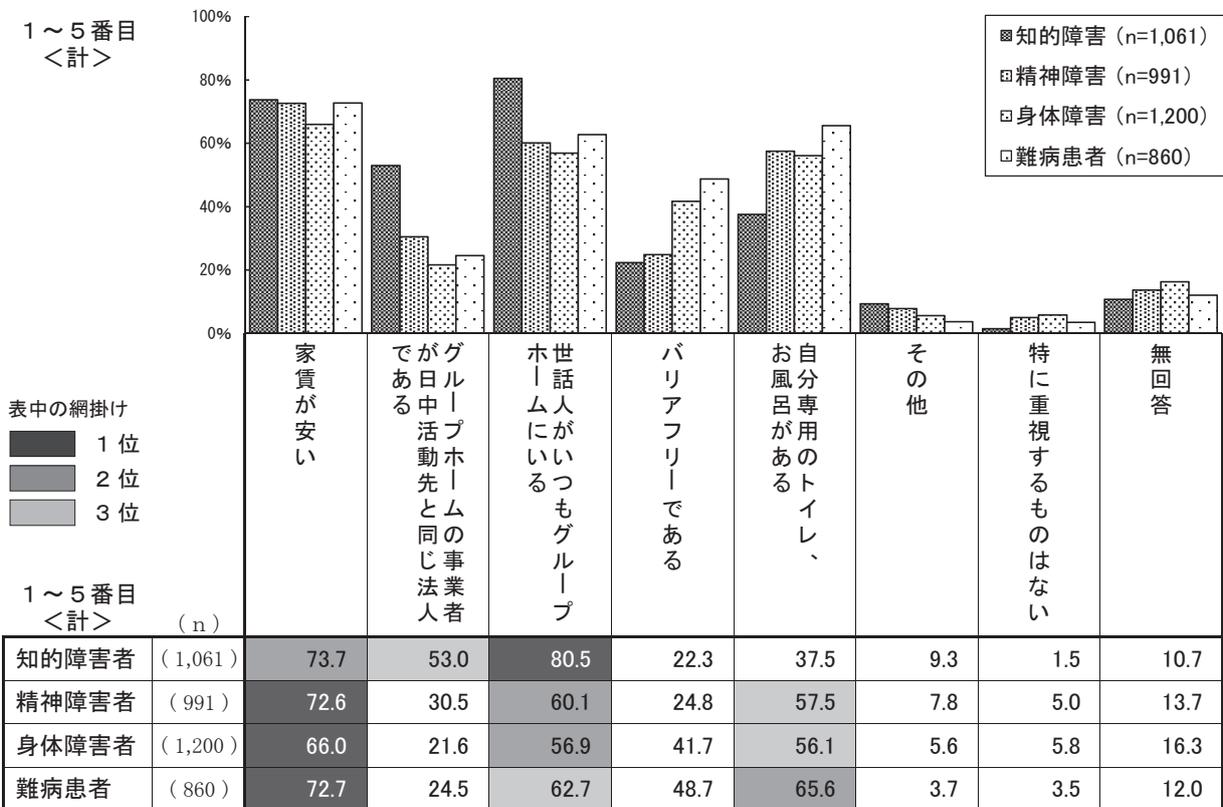


- 難病患者について支援区別にみると、おおむね区分が重いほど「相談できる場所や相手が近くにある」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「通院先の病院に近い」「駅に近い」の順に多くなっている。同居家族がいる人は「家族がいる場所に近い」が最も多くなっている。

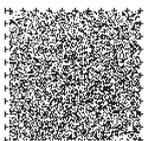


### (3) グループホームの入居条件の希望

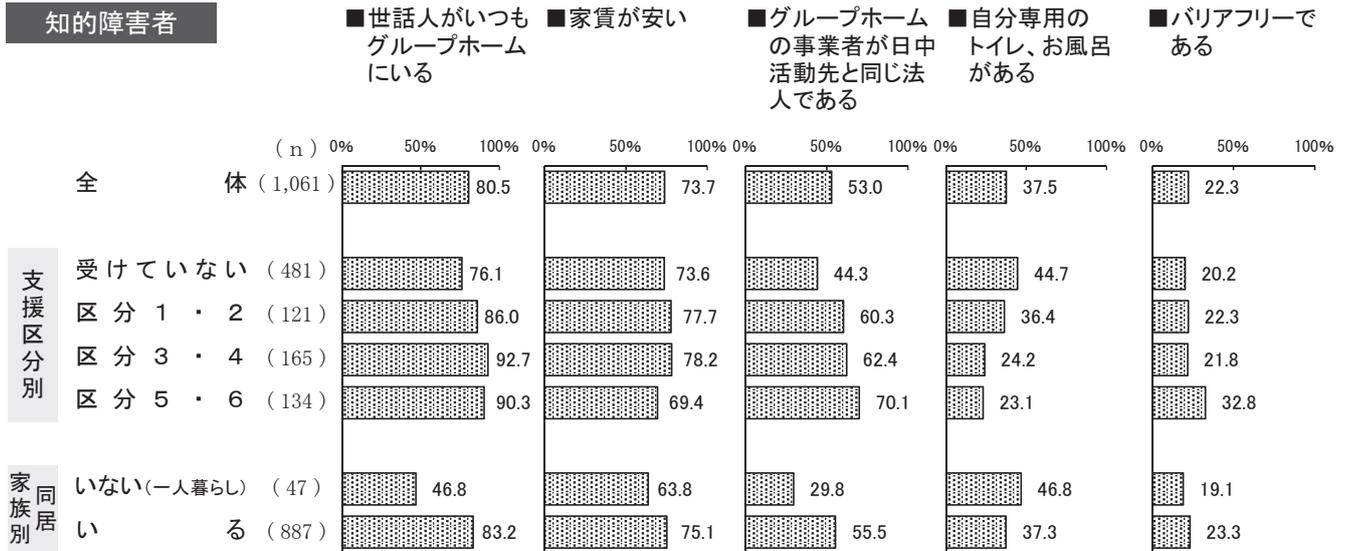
問20：グループホームの入居条件について、どのようなことを重視しますか。  
 もっとも重視することから順番に、最大5番目まで選び、下の枠に項目の番号を記入してください。



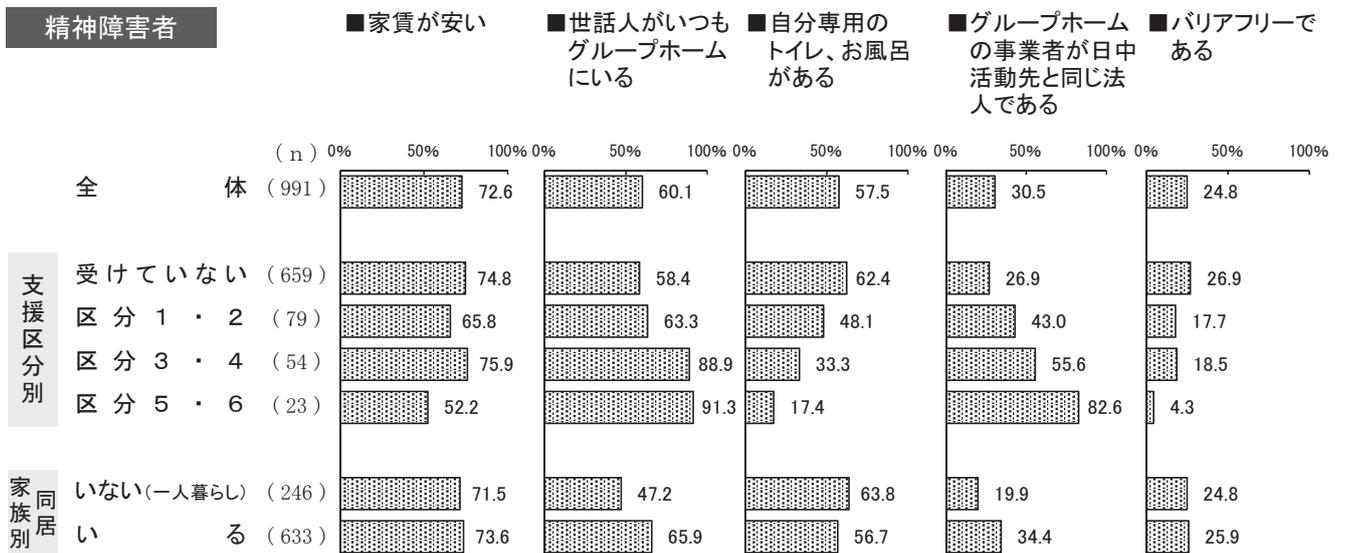
- グループホームの入居条件の希望について1～5番目（計）は、知的障害者は「世話人がいつもグループホームにいる」が8割と最も多く、次いで「家賃が安い」「グループホームの事業者が日中活動先と同じ法人である」の順となっている。精神障害者、身体障害者、難病患者は「家賃が安い」がそれぞれ7割前後と最も多く、次いで「世話人がいつもグループホームにいる」もしくは「自分専用のトイレ、お風呂がある」の順となっている。また、「バリアフリーである」は身体障害者で4割台、難病患者で5割近くとなっている。



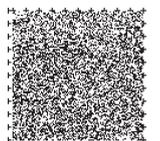
【 グループホームの入居条件の希望： 1～5 番目<計> 】



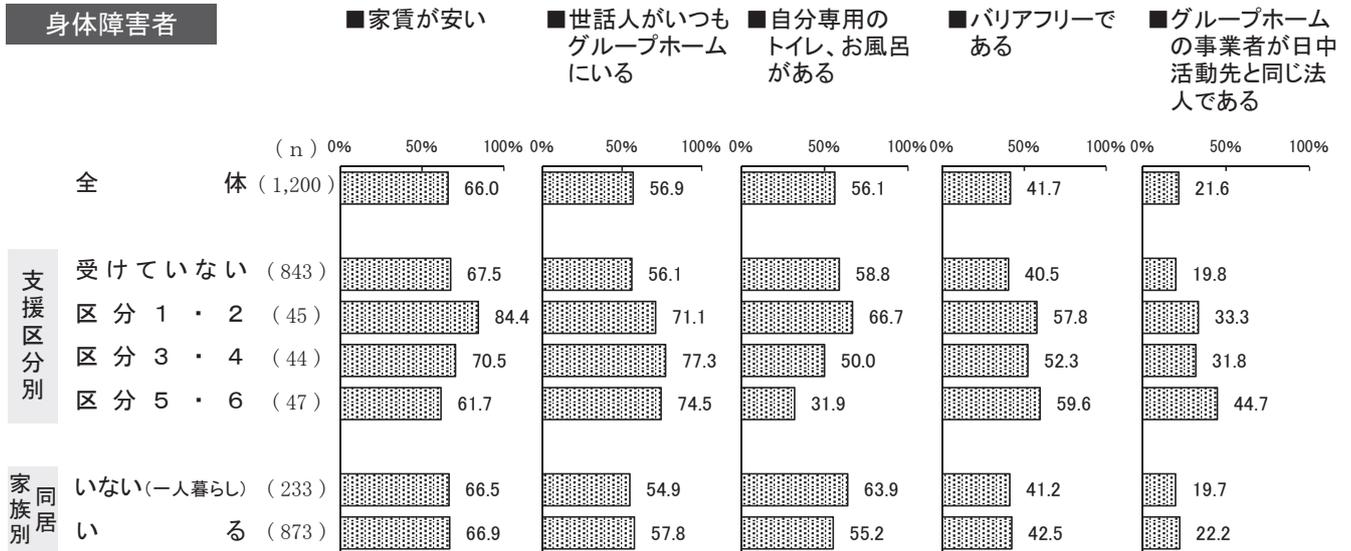
- 知的障害者について支援区分別にみると、おおむね区分が重いほど「世話人がいつもグループホームにいる」「グループホームの事業者が日中活動先と同じ法人である」が多く、おおむね区分が軽いほど「自分専用のトイレ、お風呂がある」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「家賃が安い」、同居家族がいる人は「世話人がいつもグループホームにいる」がそれぞれ最も多くなっている。



- 精神障害者について支援区分別にみると、おおむね区分が重いほど「世話人がいつもグループホームにいる」「グループホームの事業者が日中活動先と同じ法人である」が多く、おおむね区分が軽いほど「家賃が安い」「自分専用のトイレ、お風呂がある」「バリアフリーである」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「家賃が安い」「自分専用のトイレ・お風呂がある」の順に多く、同居家族がいる人は「家賃が安い」「世話人がいつもグループホームにいる」の順に多くなっている。

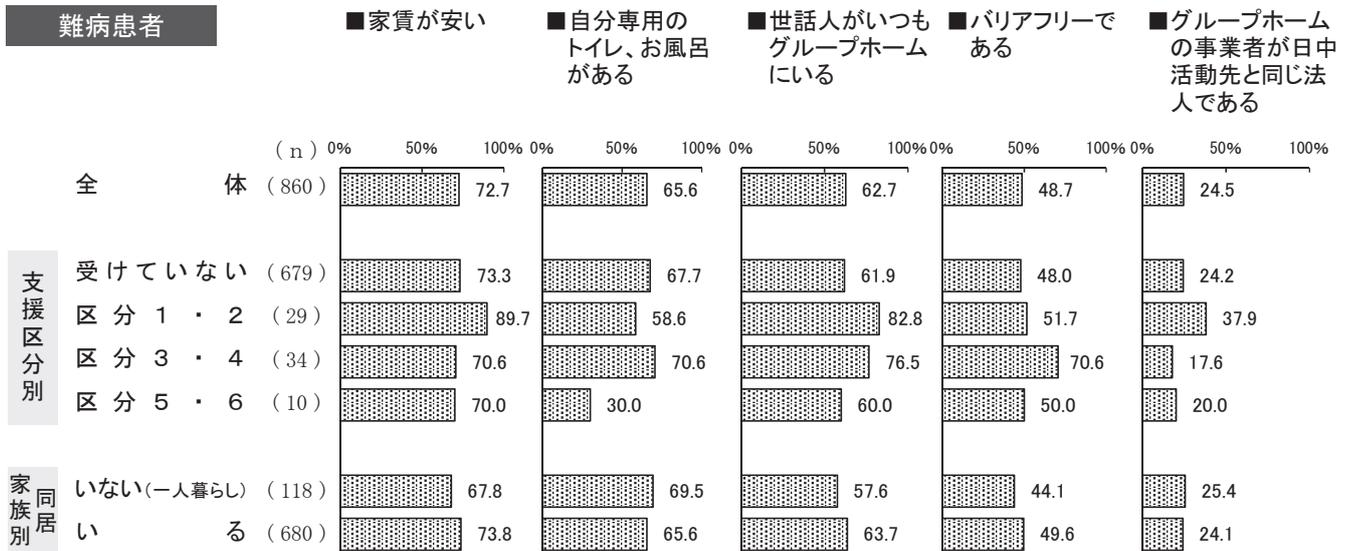


## 身体障害者

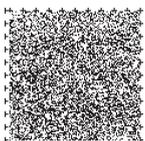


- 身体障害者について支援区分別にみると、おおむね区分が重いほど「世話人がいつもグループホームにいる」「バリアフリーである」「グループホームの事業者が日中活動先と同じ法人である」が多く、区分が軽いほど「自分専用のトイレ、お風呂がある」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「家賃が安い」「自分専用のトイレ、お風呂がある」の順に多く、同居家族がいる人は「家賃が安い」「世話人がいつもグループホームにいる」の順に多くなっている。

## 難病患者

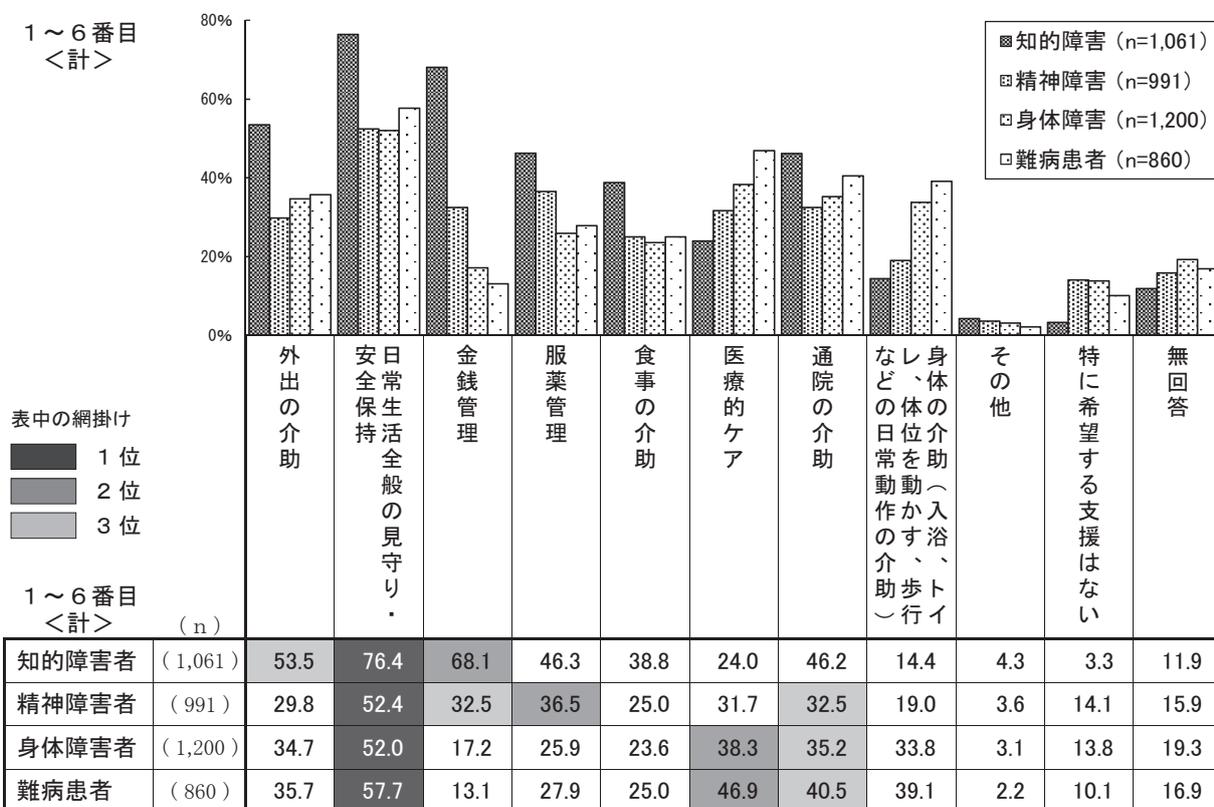


- 難病患者について支援区分別にみると、おおむね区分が軽いほど「自分専用のトイレ、お風呂がある」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は「自分専用のトイレ、お風呂がある」「家賃が安い」の順に多く、同居家族がいる人は「家賃が安い」「自分専用のトイレ、お風呂がある」の順に多くなっている。

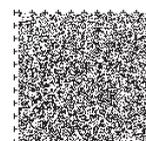


#### (4) グループホームで必要とする支援

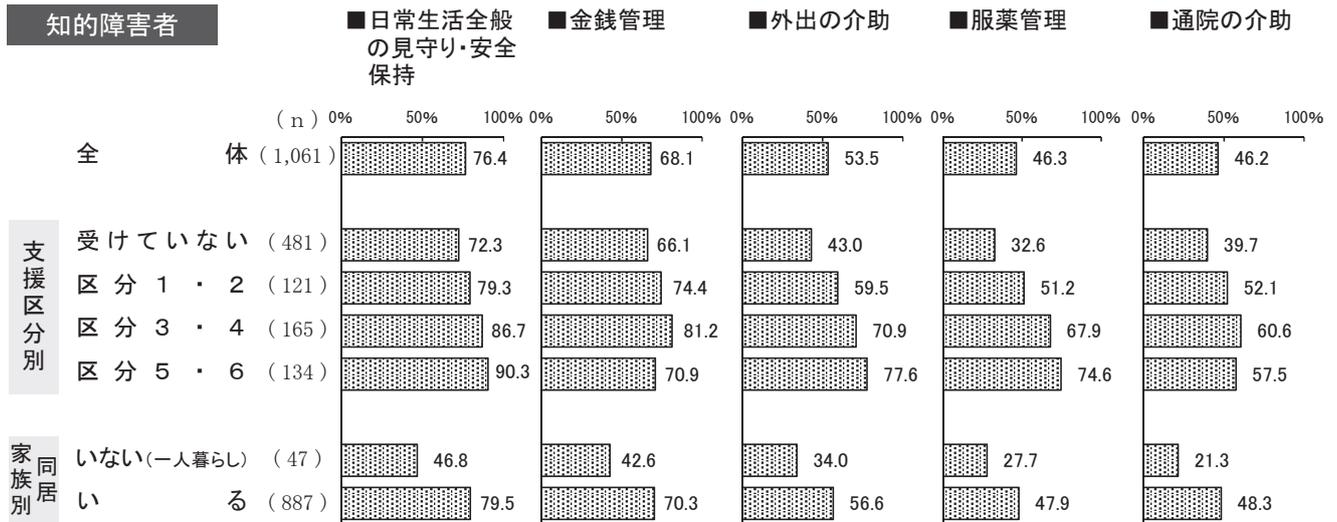
問22：グループホームに入居する場合、どのような支援を希望しますか。  
 もっとも希望することから順番に、最大6番目まで選び、下の枠に項目の番号を  
 記入してください。



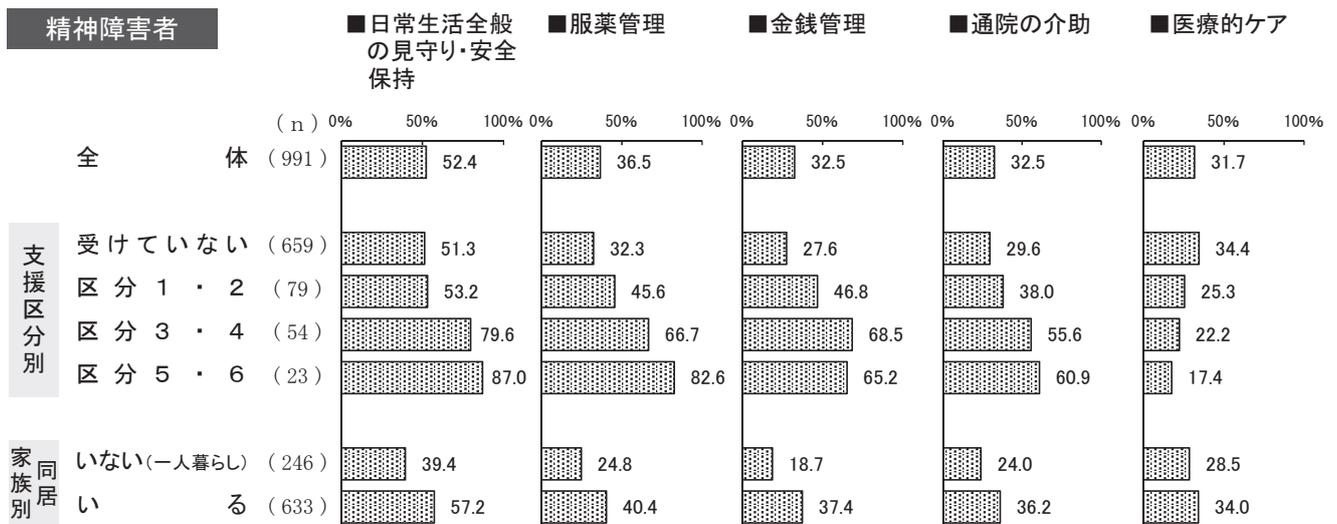
- グループホーム入居時の支援の希望について1～6番目（計）は、いずれの障害者も「日常生活全般の見守り・安全保持」が最も多く、知的障害者で7割半ば、精神障害者、身体障害者、難病患者でそれぞれ5割台となっている。次いで、知的障害者は「金銭管理」「外出の介助」の順、精神障害者は「服薬管理」「金銭管理」および「通院の介助」の順、身体障害者、難病患者は「医療的ケア」「通院の介助」の順となっている。



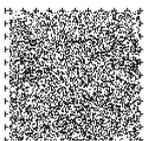
【 グループホームで必要とする支援：1～6番目<計>（上位5項目） 】



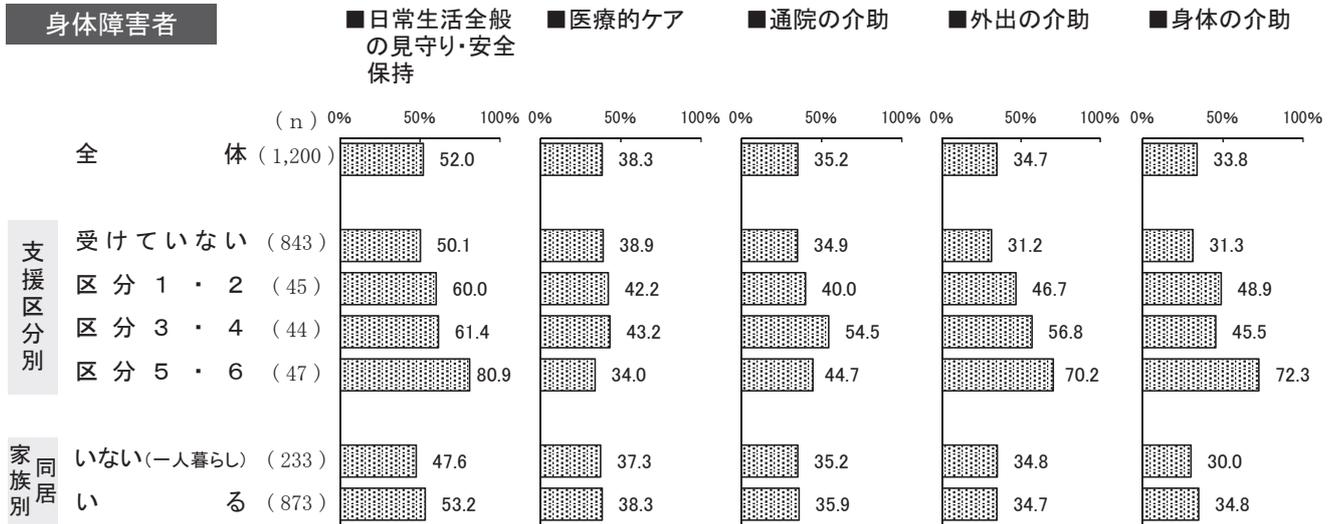
- 知的障害者について支援区分別にみると、おおむね区分が重いほど「日常生活全般の見守り・安全保持」「外出の介助」「服薬管理」が多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）より同居家族がいる人で、必要とする支援が全般に多くなっている。



- 精神障害者について支援区分別にみると、区分が重いほど「日常生活全般の見守り・安全保持」「服薬管理」「金銭管理」「通院の介助」が多くなっているが、「医療的ケア」は区分が軽いほど多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）より同居家族がいる人で、必要とする支援が全般に多くなっている。

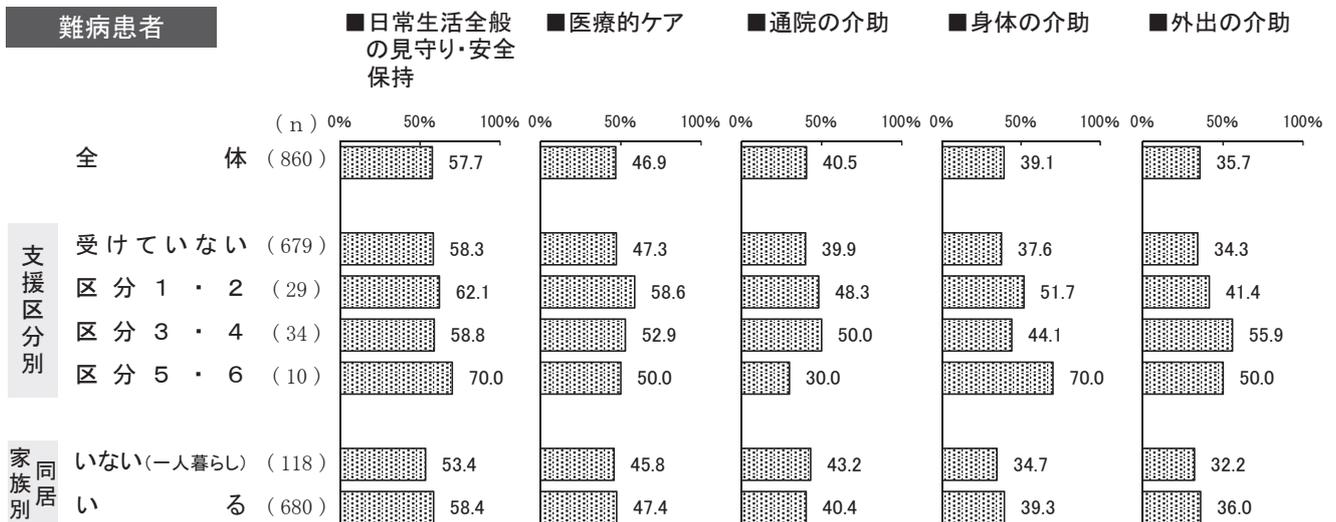


## 身体障害者

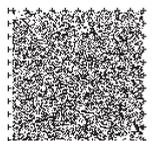


- 身体障害者について支援区別にみると、おおむね区分が重いほど「日常生活全般の見守り・安全保持」「外出の介助」「身体の介助」などが多くなっている。

## 難病患者



- 難病患者について支援区別にみると、おおむね区分が重いほど「日常生活全般の見守り・安全保持」「身体の介助」「外出の介助」などが多くなっている。



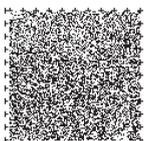
(5) グループホームにほしい共同設備（自由意見）

問21：グループホームの共用設備（風呂、トイレなど）で、希望する設備を具体的にお聞かせください。（例：介護用リフト）

● グループホームにほしい共同設備についての主な意見は次の通りとなっている。

(件)

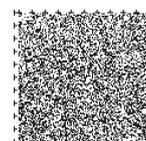
(n)	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
	(1,061)	(991)	(1,200)	(860)
<b>【障害者用設備・環境全般について】</b>	<b>95</b>	<b>149</b>	<b>215</b>	<b>158</b>
・ 手すり	17	30	65	50
・ 介護用リフト・入浴用リフト	14	25	48	31
・ バリアフリー	9	24	24	15
・ 清潔・衛生的、明るい	10	16	11	15
・ 十分な広さ（お風呂の洗い場、車イスでも入れるトイレなど）	8	11	15	12
・ 必要な使いやすい設備・安全な設備	10	4	8	8
・ エレベーター	6	5	10	2
・ 表示・操作方法などがわかりやすいこと（大きな字、ランプ、チャイム・音・音声、点字・触地図など）	2	3	14	2
・ 暖房・床暖房・空調の整備（お風呂、トイレ、脱衣所など）	5	5	5	3
・ ベッド（電動、リクライニング、介護用）	2	4	6	5
・ 滑りにくい床・滑り止め	3	5	2	6
・ グループホーム内で使用できる車イス（電動）	1	3	3	3
・ 人感センサーなどによるスイッチ・照明／引き戸など使いやすいドア	4	4	2	-
・ お風呂、トイレなどの換気・におい対策	-	4	1	2
・ 壁、床、窓などの防音設備	1	4	-	1
・ 通所先等への送迎バス／車／自転車	3	2	-	-
・ 介護ロボット	-	-	1	3
<b>【風呂について（バリアフリー・手すり除く）】</b>	<b>25</b>	<b>38</b>	<b>40</b>	<b>33</b>
・ 機械浴・車イス対応のお風呂（寝台浴、車イス用バス、チェアインバスなど）	4	3	13	10
・ イス、シャワーチェア	4	5	10	8
・ シャワー付きがよい	4	8	6	5
・ 低い（浅い）浴槽／段差のない浴槽がよい	4	9	5	2
・ その他必要な設備（シャンプー台、温度調節ができる、洗髪具、ストマケア、お風呂で排便時の処理設備など）	2	2	3	3
・ 複数ほしい／男女別にしてほしい	4	4	-	1
・ 自動がよい（身体洗い機、蛇口にセンサーなど）	-	2	1	-
・ その他（大浴場／追い炊き機能付き／自分で温度調節ができる／肩までつかれる深い浴槽／ジェットバス／ミストシャワーなど）	3	5	2	4
<b>【トイレについて（バリアフリー・手すり除く）】</b>	<b>54</b>	<b>54</b>	<b>53</b>	<b>35</b>
・ ウォシュレット・温水洗浄便座／暖かい便座	30	34	24	19
・ 洋式がよい	8	6	9	1
・ 介護対応トイレ（車椅子専用、ベッド付き、オストメイト用など）	2	3	12	6
・ 複数ほしい／男女別にしてほしい	8	5	3	2
・ 自動がよい（フタの開閉・流す）	-	2	2	3
・ その他	6	4	3	4
<b>【風呂・トイレ全般について（バリアフリー・手すり除く）】</b>	<b>8</b>	<b>28</b>	<b>24</b>	<b>14</b>
・ 個室に風呂・シャワー・トイレ（・洗面・キッチン）がほしい／自分専用がほしい	8	22	23	14
・ 風呂とトイレは別にしてほしい	-	6	1	-



(続き)

(件)

	知的障害者 (n)	精神障害者 (991)	身体障害者 (1,200)	難病患者 (860)
<b>【他の共有スペースについて】</b>	<b>25</b>	<b>32</b>	<b>33</b>	<b>27</b>
・ 娯楽・レクリエーション・趣味などの用品・スペース／集会室	4	4	7	7
・ 談話室／コミュニケーションスペース	3	8	3	2
・ 運動器具・トレーニングマシン／運動できるスペース・リハビリ設備	1	3	9	3
・ 洗面所に更衣用のイス・ベッド／十分な更衣スペース	2	2	4	-
・ 広いリビング／広いダイニング	3	1	1	3
・ 自分のものが収納できるスペース・ロッカー・保管庫	3	2	-	-
・ 広いキッチン／使いやすいキッチン	2	1	1	-
・ その他 (テラス・ベランダ／洗濯室・コインランドリー・洗濯物干場／庭・屋上／プール・サウナ／休憩室・喫煙室／駐車場など)	7	11	8	12
<b>【生活物資・設備等について】</b>	<b>43</b>	<b>45</b>	<b>17</b>	<b>11</b>
・ 生活家電 (洗濯機、乾燥機、エアコン、空気清浄機、ドライヤー、体重計など)	11	15	3	-
・ テレビ、DVD、CD、ラジオ	12	9	4	2
・ パソコン／インターネット設備 (Wi-Fi)／通信機器 (電話、テレビ電話、FAXなど)	3	9	7	7
・ キッチン家電・用品 (IH、冷蔵庫、電子レンジ、ポット、調理器具など)	7	5	-	-
・ 生活用品・消耗品 (シャンプー・リンス、石鹸、歯ブラシ・歯みがき粉、洗い桶、トイレトペーパー、タオルなど)	6	3	-	-
・ 自動販売機	3	2	-	1
・ 宅配ボックス	1	-	1	-
・ その他	-	2	2	1
<b>【緊急時対策について】</b>	<b>10</b>	<b>14</b>	<b>15</b>	<b>5</b>
・ 非常用呼び出しボタン・ブザー	3	5	7	1
・ 見守り・防犯・セキュリティ (センサー・カメラ・窓、貴重品ロッカー、施錠など)	4	5	4	3
・ 備蓄 (災害時用品、救急用品、AED、薬、おむつなど介護用品、生活用品、食料品など)	3	4	4	1
<b>【その他】</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>



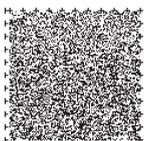
(6) グループホーム整備にあたっての希望（自由意見）

問24：グループホームの整備にあたり、希望することがありましたら、具体的にお聞かせください。

- グループホーム整備にあたっての希望についての主な意見は次の通りとなっている。

(件)

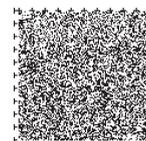
(n)	知的障害者 (1,061)	精神障害者 (991)	身体障害者 (1,200)	難病患者 (860)
<b>【立地環境について】</b>	<b>181</b>	<b>58</b>	<b>51</b>	<b>37</b>
・ アクセスがよい（駅から近い、交通の便がよい）	44	21	13	7
・ 現在の住まい・環境・家族と近い／区内がよい	52	9	11	8
・ 福祉園・作業所、職場、病院、学校、施設などから近い／送迎付き	37	10	8	5
・ 静かな環境／自然・緑のあるところ	11	10	13	14
・ 生活の利便性のあるところ（街中、公共施設、買物など）	17	2	3	1
・ 空き家・空き地などの活用／自宅や土地提供のバックアップ	13	5	2	2
・ 治安のよい場所／人通りのある場所	7	1	1	-
<b>【設備・室内環境について】</b>	<b>313</b>	<b>254</b>	<b>186</b>	<b>168</b>
・ 個室・プライベート空間／プライバシーの確保	95	88	41	46
・ 快適であること（広い、明るい、衛生的・清潔、空調など）	42	35	22	27
・ 障害者用設備・仕様	16	23	48	28
・ 個室にトイレ・風呂などがほしい	28	20	12	12
・ 生活設備（テレビ、インターネット、家電、収納、ベッド、家具など）	27	22	6	7
・ セキュリティ・防犯（外部からの不審者の進入防止など）	21	11	12	15
・ 集まれる場所がある（談話室、ダイニング・リビング、レクリエーションルームなど）	20	12	8	5
・ 防災対策（耐震構造・防火など）	16	7	12	9
・ 防音設備	14	11	1	3
・ 庭・緑・花の植栽／菜園／公園など散歩ができる	4	2	11	7
・ 専用ルーム・設備（運動・ジム・プール、リハビリ・訓練、読書・図書室、音楽・テレビ・DVD、パソコン、カラオケなど）	4	7	5	3
・ 見守りシステム（カメラなどで入居者・管理者の行動・虐待等の監視・観察など）	6	5	2	1
・ お風呂、トイレ、洗面所などが複数ほしい	5	1	-	-
・ その他（ワンルーム・マンションタイプ／戸建・平屋タイプ／鉄筋コンクリート・木造／2人・3人部屋・大部屋など）	15	10	6	5
<b>【生活・行動について】</b>	<b>83</b>	<b>61</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
・ 楽しく・落ち着いて・安心して生活できる／アットホーム・家庭的な雰囲気／自宅と近い環境	36	24	7	7
・ 行動の自由・自由時間（お風呂の時間、外出、趣味など）	8	14	11	9
・ 自分でできることは自分でやる・自立訓練／皆でできることをする／役割分担	13	6	6	9
・ 入居者同士の人間関係がよい・コミュニケーションができる（仲良くできる、入居者がおだやかななど）	14	10	4	4
・ 世話人と合う・相性がよい	7	5	1	-
・ 一定のルールを設ける	5	2	1	1



(続き)

(件)

	知的障害者 (n)	精神障害者 (991)	身体障害者 (1,200)	難病患者 (860)
<b>【支援内容について】</b>	<b>84</b>	<b>51</b>	<b>34</b>	<b>25</b>
・ 生活上の支援・ケアの充実／金銭管理／薬の管理／移動・同行支援など	37	22	14	10
・ 医療的ケアの充実・医療機関との連携／医師・看護師の常駐・巡回／専門家（カウンセラー、介護士など）の常駐・巡回	16	10	16	6
・ 食事の提供・充実（おいしい、栄養管理など）	22	10	1	5
・ 余暇の充実・支援（行事・イベント、レクリエーション、娯楽など）	9	9	3	4
<b>【運営・体制について】</b>	<b>246</b>	<b>93</b>	<b>69</b>	<b>66</b>
・ 世話人の人柄・資質、理解力・対応力、モラル／同性の世話人がよい	68	23	23	16
・ 世話人がいること（常時、24時間、夜間）	54	18	9	6
・ 地域に開かれている／地域との連携・交流・出入りがある／地域の理解がある	51	19	13	16
・ 世話人の質の確保・育成・サポート・管理（職員の労働環境・給料などの待遇をよくする／研修・教育の充実など）	16	9	8	11
・ 事業者の質がよいこと／作業所・学校・病院などと同じ法人がよい	21	9	3	5
・ 世話人の十分な人数	15	8	4	5
・ 家族や友人が泊まれる（スペース）／面会できる／出入り自由	3	6	6	4
・ 福祉園・作業所、幼稚園・保育園、福祉施設・老人施設等と同じ敷地・連携（複合型）／情報の共有	11	1	1	2
・ その他（民間でなく区立・都立等の公的運営／都営住宅や区営住宅内にグループホームを整備／区は福祉事業者や民間事業者を支援する立場がよい／法整備の仲立ちをしてほしいなど）	7	-	2	1
<b>【受け入れ・入居条件について】</b>	<b>168</b>	<b>74</b>	<b>46</b>	<b>32</b>
・ 家賃・入居費用が安いとよい	28	16	10	11
・ 数を増やしてほしい／希望したら入居できるとよい・待機がない／予約できるとよい	30	14	10	4
・ 同居人のレベルを合わせる／障害の程度、自立の程度、性格、年齢などに応じて対応可能なバリエーションを増やしてほしい	21	7	8	8
・ 入居条件の緩和（重度・中度・自立できない人などの受け入れ／特定疾患でも入れるなど）	25	6	5	2
・ 夫婦・親子・兄弟姉妹・友だち・知人などと一緒に入居できるとよい	12	2	7	2
・ 女性専用がほしい／性別で分けてほしい（棟ごと、部屋ごとなど）	17	4	-	-
・ 定着型・長くいられるとよい	8	4	2	1
・ 少人数制がよい（～7・8人くらいまで）	8	4	1	1
・ ペットが飼えるとよい	-	9	2	2
・ 定員数が多めがよい（ある程度大きい）	7	2	1	-
・ 体験入居・トライアル入居ができるとよい	4	3	-	-
・ その他（土日祝日も受け入れ／週末は家に帰れる／合わない時は元に戻せる・場所を移れるなど）	8	3	-	1
<b>【その他】</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>8</b>
・ 情報開示・情報提供／見学したい	13	3	5	7
・ その他（すべて整っている／入居者の要望を取り入れてほしい）	1	-	1	1



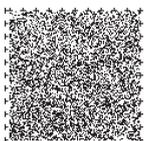
(7) グループホーム入居にあたっての心配ごと・課題（自由意見）

問25：グループホームの入居にあたり、一番心配なこと、課題となっていることはどのようなことですか。具体的にお聞かせください。

- グループホーム入居にあたっての心配ごと・課題について  
 の主な意見は次の通りとなっている。

(件)

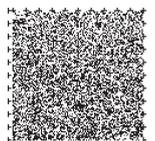
(n)	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
	(1,061)	(991)	(1,200)	(860)
<b>【立地環境について】</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>6</b>	<b>7</b>
・ 自宅・家族に近い／区内にあるか	6	5	4	2
・ 日中活動先（作業所）に近い／通院先等に近いか	6	7	2	1
・ 交通アクセスがよいか	1	5	-	2
・ 静かな環境であるか	-	3	-	2
<b>【設備・室内環境について】</b>	<b>44</b>	<b>68</b>	<b>70</b>	<b>56</b>
・ プライバシーが守られるか・個室があるか	14	38	37	30
・ 快適か（広い、明るい、衛生的・清潔、空調など）	3	12	10	9
・ セキュリティ・防犯体制が整っているか	13	6	7	5
・ トイレ・お風呂など共有設備が整っているか（個別、複数あるなど）	1	4	3	3
・ 障害者用設備・仕様になっているか	1	2	6	2
・ 防災設備が整っているか（耐震構造・防火など）	3	3	1	3
・ 見守りシステム（入居者・管理者の行動、虐待などの監視・観察・カメラ）／様子が定期的に分かるか	5	-	3	1
・ 防音設備があるか	2	2	1	2
・ その他	2	1	2	1
<b>【生活・行動について】</b>	<b>444</b>	<b>304</b>	<b>167</b>	<b>121</b>
・ 同居人との人間関係・コミュニケーションが取れるか／トラブルがないか／相性がよいか／孤独・孤立しないか	144	140	75	61
・ 精神的負担・ストレスがないか／共同生活に適応できるか／居心地がよいか／落ち着いて・安心して生活できるか	52	39	20	14
・ 生活リズムや規則に合うか（スケジュール、制限、門限など）／一人の時間・自由時間はあるか／自由行動ができるか／自分でできるだけやりたい／今と同じように生活できるか	23	32	30	18
・ ひとりでできない部分があるが大丈夫か（片付け、着替え・身だしなみ・季節に合う服装、体の衛生管理、トイレ、お風呂など）	66	15	7	3
・ 世話人との相性がよいか／コミュニケーションが取れるか	33	16	11	8
・ 性質・問題行動の心配（こだわり、多動、パニック、飛び出し、大声、自傷、他害、奇行等）／クールダウンできるか	40	14	5	2
・ 同居人からいじめ・嫌がらせ、暴力・性的暴行、盗難などにあわないか	19	14	6	4
・ 健康・体調管理ができるか／病気のこと	21	9	8	5
・ 体調不良時・問題発生時など自分で訴えられないが大丈夫か／身の危険がわからないが大丈夫か	34	6	-	-
・ 同居人の性質・問題行動の心配（こだわり、多動、大声など）	6	10	3	3
・ 人としての尊厳が守られるか／人権の侵害がないか	4	7	2	1
・ その他（調理の手伝い・洗濯物をたたむなどできることは参加するなど入居者間で助け合えるとよい／余暇の過ごし方／安く・早く・近くで情報が得られる環境であるかなど）	2	2	-	2



(続き)

(件)

(n)	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
	(1,061)	(991)	(1,200)	(860)
<b>【支援内容について】</b>	<b>151</b>	<b>50</b>	<b>51</b>	<b>26</b>
・ 金銭管理をしてくれるか／金銭管理はどうなるのか	62	22	8	7
・ 生活上の支援・ケアはどの程度か	35	14	16	4
・ 食事はきちんとしているか（内容、量、栄養面、食生活全般など）	26	5	7	4
・ 外出・同行の援助や送迎等の程度	19	4	4	2
・ 医療的ケアはどの範囲か	4	-	15	7
・ 薬の管理をしてくれるか	5	5	1	2
<b>【運営・体制について】</b>	<b>234</b>	<b>110</b>	<b>110</b>	<b>76</b>
・ 世話人の人柄がよいか／資質・対応力はあるか	105	45	41	39
・ 世話人による問題行動はないか（虐待、暴力・性的暴行、ハラスメント、DV、窃盗など）	31	19	18	17
・ 世話人が常駐しているか（夜間、24時間、病気等で日中活動を休んだ時の日中の支援など）	29	15	13	4
・ 世話人の人手は不足していないか／頻繁な世話人の入れ替わりはないか	19	5	12	6
・ 事業者の質、経営の安定性、管理体制は整っているか	15	6	5	2
・ 緊急時（病気、災害時など）の対応はできるのか	6	4	10	4
・ 閉鎖的・閉塞的・密室体制の心配／責任者と家庭の権限・力関係のバランス／情報の共有、連絡・相談体制などはあるか	11	4	2	1
・ 地域・近隣の理解があるか／地域との交流があるか	4	4	3	1
・ 他との連携が取れているか（ヘルパー、通所先・職場、ソーシャルワーカーなど）	7	2	1	-
・ 公的機関による施設や運営のチェック・バックアップ体制はあるか	6	4	-	-
・ その他（過剰に世話をされないか／世話人のペースで生活しないといけなくなるのではないか／面会できるか／家族と会いづらくなかないか／家族との絆が保てるか／家族や外部と連絡が自由に取れるかなど）	1	2	5	2
<b>【入居条件・受け入れについて】</b>	<b>152</b>	<b>119</b>	<b>93</b>	<b>104</b>
・ 入居費用や経済的な不安・心配	67	73	57	74
・ 数不足・空きがあるか／希望した時に入居できるか／選択肢が少ない	26	8	10	9
・ 入居条件がクリアできるか／途中で追い出されたらどうなるのか	16	6	11	11
・ 入居者の程度・条件がどうか（障害の種類や程度、男女の別など）／入居者はどのような人か	13	10	6	6
・ 入居期間の心配（いつまでいられるか、生涯いられるか、期限後はどうなるのかなど）	8	5	2	1
・ 土日祝等の対応・行き場はどうなるのか	10	1	1	-
・ その他（相談できるのか／家族・兄弟姉妹・知人・ペットなどと入居できるのか／保証人の確保／うまくいかなかったら他に移れるか／親亡き後はどうなるのかなど）	12	16	6	3
<b>【その他】</b>	<b>3</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>2</b>
・ 現在の持ち家をどうするか／残った家族はどうなるのか	1	1	4	1
・ 親の決心／家族の反対	2	2	1	1



## V 地域で生活するための希望

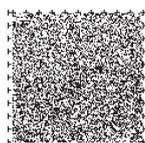
### 1 地域で生活するために希望するサービス（自由意見）

問17：地域で一人暮らし（または家族と一緒に）生活する場合、または将来的に地域で在宅生活をしたい場合、どのようなサービスがあれば良いと思いますか。現在受けているサービス以外に希望するサービスについて、具体的にお聞かせください。

- 地域で生活するために希望するサービスについての主な意見は次の通りとなっている。

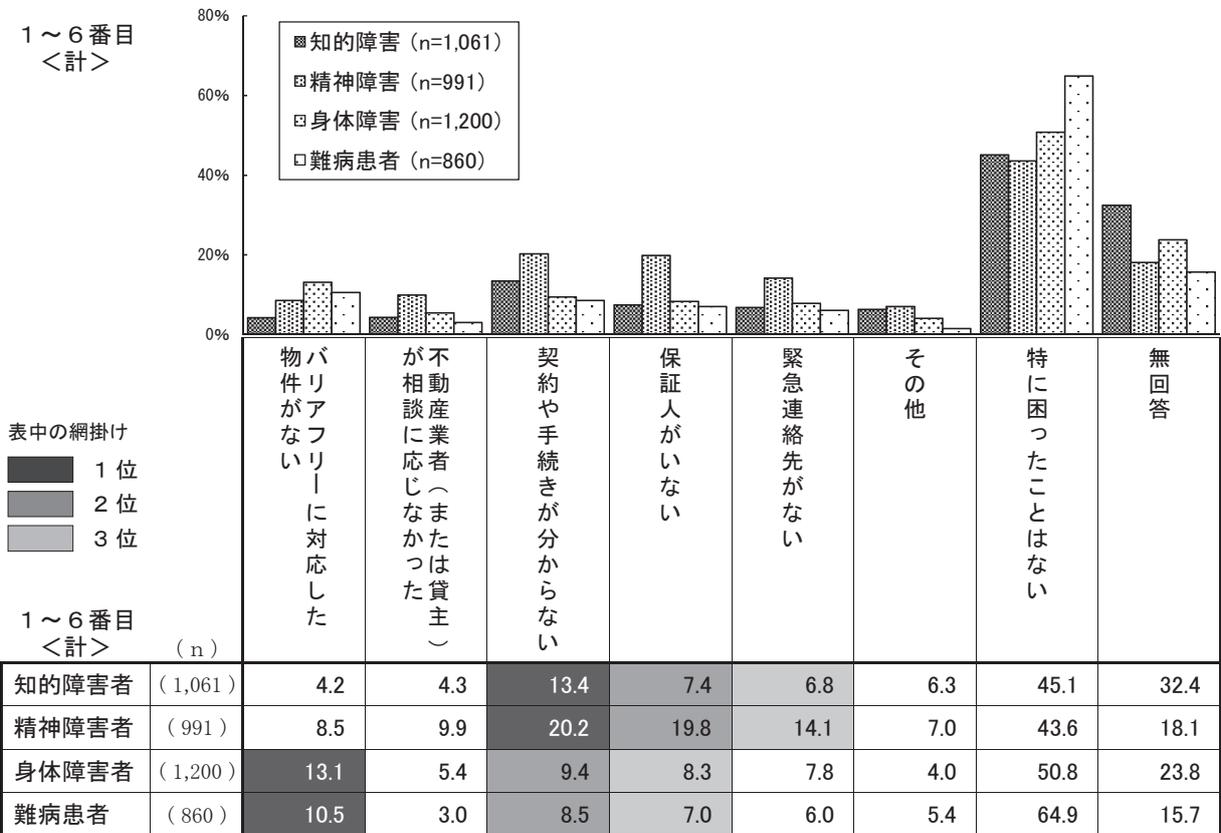
(件)

(n)	知的障害者 (1,061)	精神障害者 (991)	身体障害者 (1,200)	難病患者 (860)
・ 居宅介護・ホームヘルプ（家事支援、生活介助など）	118	120	141	116
・ 外出介助・付き添い・送迎・移動支援／同行支援	75	42	69	44
・ 見守り・声掛け／定期訪問・巡回／安否確認	42	46	28	35
・ 経済的支援（家賃補助、生活費補助、医療費助成、障害者手当の増額、工賃の増額、住宅改修補助、介護用品や生活用品の提供・レンタル、交通機関の減額・無料化など）	20	47	46	31
・ 相談相手・場所・窓口がほしい／生活全般のアドバイザー・サポーター／困ったときに助けてくれる人がほしい	47	60	17	17
・ 医療体制の強化（訪問医療・看護、医療的ケア、健康管理、障害者を理解・障害者に対応できる医療従事者など）	26	23	32	32
・ 住宅支援（都営・区営住宅、障害者用住宅、安い家賃の住宅などの提供・斡旋）／不動産関係（仲介、手続き、保証人代行など）／住宅設備・管理の充実（バリアフリー、エレベーター、装置の提供など）	22	30	27	19
・ 地域や近隣との交流・つながり／話相手がほしい／周囲の協力・理解／同じ障害者との交流など	19	33	12	20
・ 日中活動の充実（放課後等デイサービス・生活介護の拡充、居場所の確保、利用時間の延長など）	37	13	11	4
・ 短期入所・（緊急時）一時預かりサービス・レスパイトの拡充	32	9	14	5
・ 各種手続きや申請の代行・サポート／代読・代筆・代理電話、通訳・手話／手続きや申請の簡素化	17	12	22	10
・ 宅配サービス（食事、お弁当、日用品、薬など）	6	14	15	14
・ 金銭管理の支援	32	14	4	2
・ 緊急時・災害時の体制強化（避難、連絡、安否確認、かけつけなど）	18	10	15	8
・ 就労支援（就労先の紹介・斡旋・提供、在宅ワークの紹介、スキルアップ・職業訓練の場など）	21	21	3	5
・ 余暇活動の支援・充実（イベント、娯楽や趣味の場、余暇を一緒に過ごしてくれるサービスなど）	24	11	6	5
・ 自立支援・訓練／リハビリ／デイケア／運動機能・体力増進	11	12	12	9
・ まちづくり・環境整備（バリアフリー、エレベーター、ユニバーサルデザイン、点字・案内、道路・交通、店の対応、盲導犬など）	3	9	15	14
・ その他の施設について（作業所・通所施設が近くにほしい／地域活動支援センターが近くにほしい／障害児が通いやすい幼稚園がほしい・障害児の一時預かり施設がほしい／福祉施設が増えてほしいなど）	10	9	-	3
・ その他のサービス・制度等について（よりよいサービス全般／手帳の資格・等級・サービスを受けられる点数の見直し／介護保険で福祉サービスを利用できるようにしてほしい／障害者だけでなく介助者に対するサポート／情報提供など）	22	27	21	23

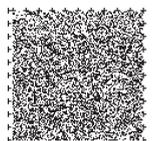


## 2 地域で生活する時に困ったこと

問18：あなたはこれまでに、地域で生活するときに困ったことはありましたか。  
 もっとも困ったことから順番に、最大6番目まで選び、下の枠に項目の番号を  
 記入してください。

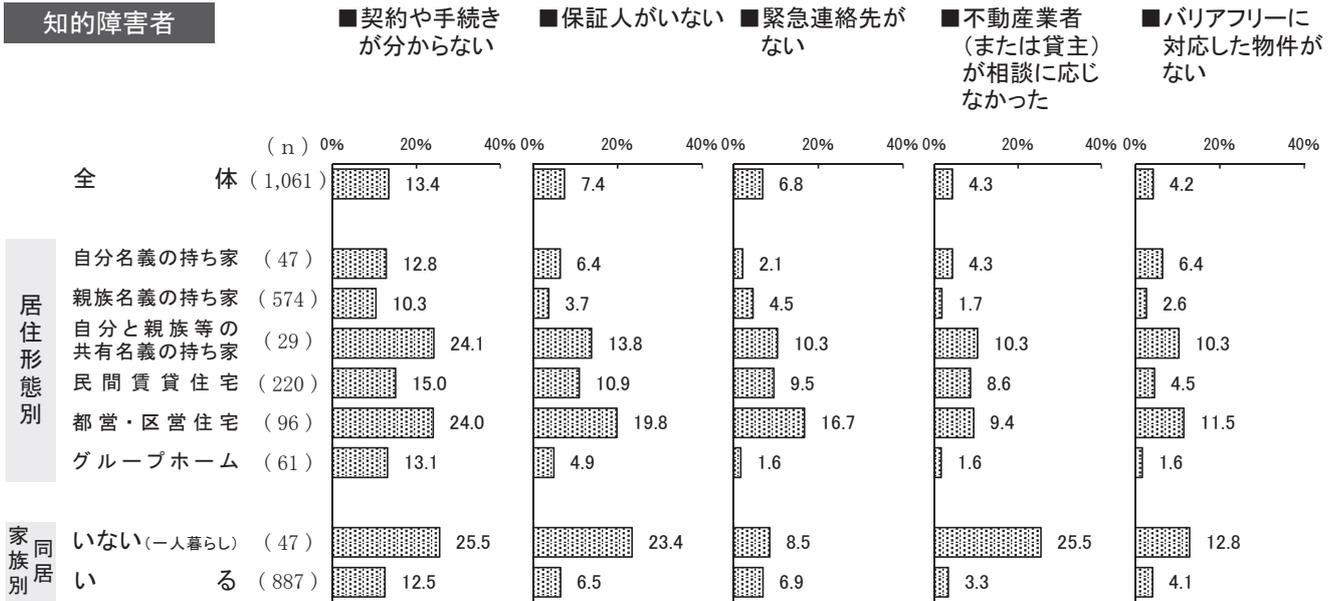


- 地域で生活する時に困ったことについて1～6番目（計）は、いずれの障害者も「特に困ったことはない」が最も多くなっている。知的障害者は「契約や手続きが分からない」が1割台、「保証人がいない」「緊急連絡先がない」がそれぞれ1割未満の順となっている。精神障害者は「契約や手続きが分からない」が2割、「保証人がいない」が2割、「緊急連絡先がない」が1割半ばの順となっている。身体障害者、難病患者は「バリアフリーに対応した物件がない」がそれぞれ1割台、「契約や手続きが分からない」「保証人がいない」がそれぞれ1割未満の順となっている。



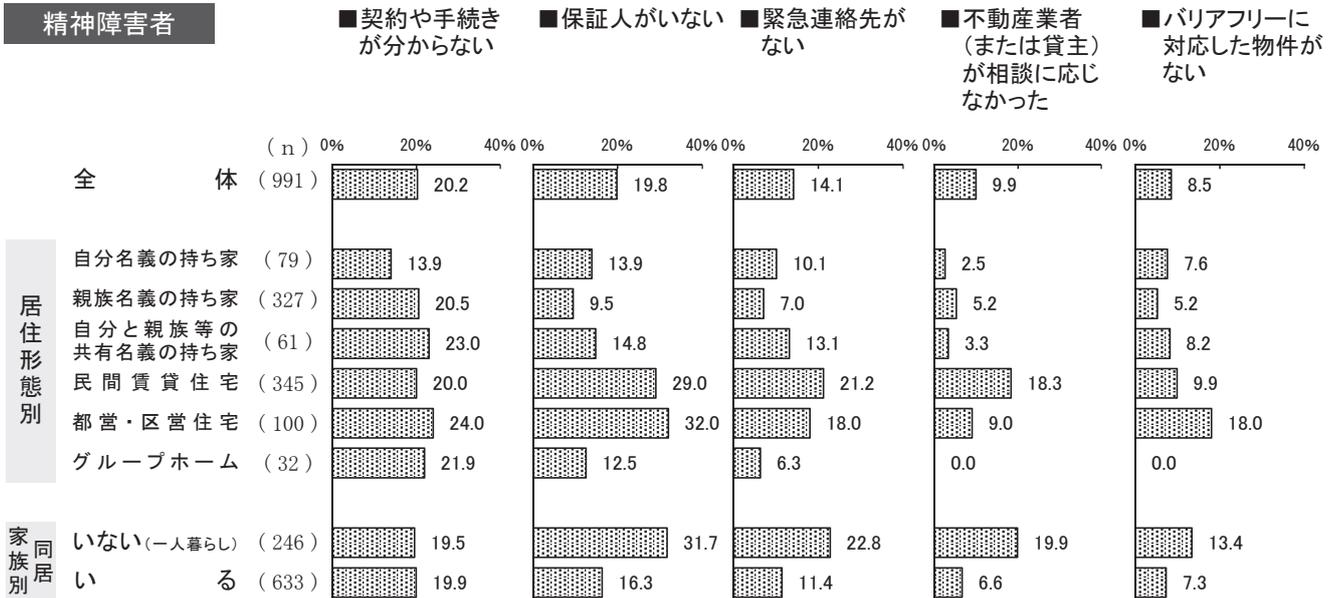
【地域で生活する時に困ったこと：1～6番目<計>】

知的障害者

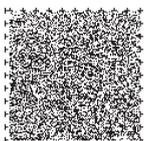


- 知的障害者について居住形態別にみると、都営・区営住宅の居住者は「保証人がいない」「緊急連絡先がない」などが他の居住形態に比べて多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は同居家族がいる人より「契約や手続きが分からない」「保証人がいない」「不動産業者（または貸主）が相談に応じなかった」などが多くなっている。

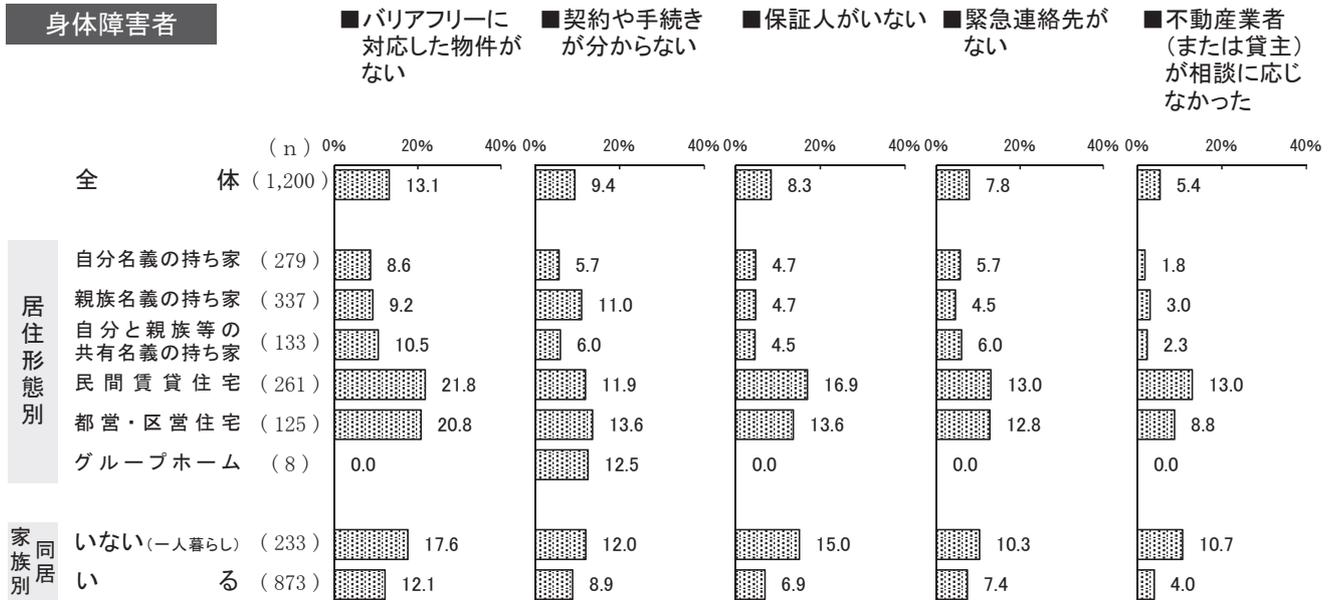
精神障害者



- 精神障害者について居住形態別にみると、民間賃貸住宅の居住者は「緊急連絡先がない」「不動産業者（または貸主）が相談に応じなかった」などが多く、都営・区営住宅の居住者は「保証人がいない」「バリアフリーに対応した物件がない」などが他の居住形態に比べて多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人（一人暮らし）は同居家族がいる人より「保証人がいない」「緊急連絡先がない」「不動産業者（または貸主）が相談に応じなかった」などが多くなっている。

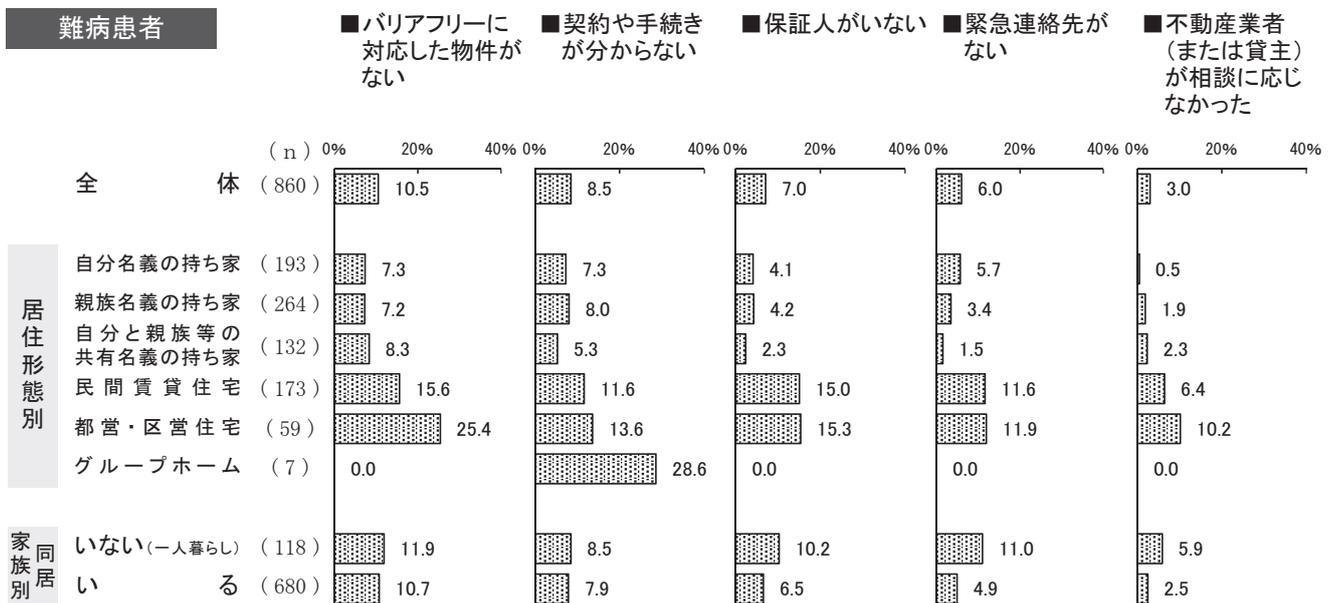


## 身体障害者

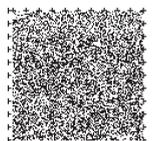


- 身体障害者について居住形態別にみると、民間賃貸住宅や都営・区営住宅の居住者は「バリアフリーに対応した物件がない」「保証人がいない」「緊急連絡先がない」などが多くなっている。また、民間賃貸住宅の居住者は「不動産業者(または貸主)が相談に応じなかった」も他の居住形態に比べ多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人(一人暮らし)は同居家族がいる人より「保証人がいない」「不動産業者(または貸主)が相談に応じなかった」などが多くなっている。

## 難病患者



- 難病患者について居住形態別にみると、都営・区営住宅、民間賃貸住宅の居住者は「バリアフリーに対応した物件がない」「保証人がいない」など、他の居住形態より全般に多くなっている。
- 同居家族別にみると、同居家族がいない人(一人暮らし)は同居家族がいる人より「保証人がいない」「緊急連絡先がない」などが多くなっている。



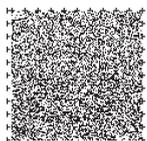
### 3 住まいに関する意見・要望（自由意見）

問26：その他、住まいに関するご意見・ご要望等ございましたら、具体的にお聞かせください。

- 住まいに関する意見・要望についての主な意見は次の通り  
となっている。

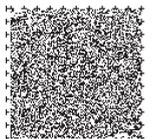
(件)

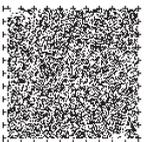
(n)	知的障害者	精神障害者	身体障害者	難病患者
	(1,061)	(991)	(1,200)	(860)
<b>【全般について】</b>	<b>47</b>	<b>27</b>	<b>28</b>	<b>14</b>
・ 安心して・楽しく・笑顔で・幸せに暮らせること	17	8	10	2
・ 自立したい／自立させたい（人の負担にならないよう、一人暮らし・自立できる環境づくりなど）	10	11	8	8
・ 将来の不安（親や介助者が年を取る、親亡き後、一人になった時など）	20	8	10	4
<b>【施設について】</b>	<b>95</b>	<b>30</b>	<b>32</b>	<b>18</b>
・ 施設への入所希望／施設の充実	34	10	14	12
・ グループホームへの入居希望／グループホームの充実	24	8	5	3
・ 空いた土地、空き家、廃校、自宅などを活用してほしい	13	5	4	1
・ 家族（親子、高齢者と障害者、夫婦など）で入れる施設がほしい	9	3	1	2
・ ケアホーム・ケアハウスがほしい／医療ケアのある施設がほしい	6	1	4	-
・ その他（施設とグループホームの中間規模の施設がほしい／訪問相談してくれるシェアハウスがよい／作業所で食事や宿泊ができるとよい／有料老人ホーム以上に自由の利く施設がよい／グループホーム移行のための訓練施設があるとよい／短期入所施設の充実／入院したい／区内の施設の充実に地域差がある・近くに作業所がほしいなど）	9	3	4	-
<b>【居住環境・立地環境について】</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	<b>55</b>	<b>34</b>
・ 現在の自宅／家族と一緒に住みたい・住まわせたい	9	12	14	6
・ 近隣・社会の理解・受け入れ支援／共生／近隣への迷惑が心配	18	6	6	4
・ 現在に近い環境・慣れた環境／区内に住みたい・住まわせたい	12	5	6	1
・ 静かな環境・うるさくないところがよい／自然が豊かなところがよい	6	11	5	2
・ 家（家族）の近く／家族が会いに行ける場所がよい	12	4	4	1
・ 道路など通行のしやすさ（バリアフリーなど）	-	2	11	7
・ 日当たり・風通しがよい住まいがよい／清潔な住まいがよい	5	7	1	2
・ プライバシーを保持したい／他人との接触が少ないほうがよい	1	6	4	2
・ 交通の便・生活の便がよい場所がよい	2	6	-	2
・ その他	5	11	4	7
<b>【住宅設備について】</b>	<b>20</b>	<b>52</b>	<b>54</b>	<b>38</b>
・ 障害者・高齢者等の対応設備の充実	8	15	33	25
・ 基本仕様・基本設備の充実（戸建・集合住宅、間取り、広さ、築年数、階数、個室がある、お風呂・トイレ付き（個別）、エアコン設置など）	10	18	13	9
・ 耐震・災害対策	2	8	1	1
・ その他	-	11	7	3
<b>【経済的なことについて】</b>	<b>22</b>	<b>55</b>	<b>64</b>	<b>44</b>
・ 経済的な不安／経済支援（補助金、助成、援助など）	10	17	37	27
・ 住宅支援／住宅確保（都営・区営住宅、障害者・高齢者用住宅など）	10	30	21	16
・ 低賃金、年金や手当内で住めるように／家賃が安いとよい	2	8	6	1
<b>【体制について】</b>	<b>21</b>	<b>9</b>	<b>14</b>	<b>7</b>
・ サポート体制の充実（見守り・声かけ、補助・介助、各種管理など）	19	8	10	5
・ 災害時の安全確保（避難、物資の供給など）	2	1	4	2
<b>【相談・情報について】</b>	<b>3</b>	<b>11</b>	<b>10</b>	<b>16</b>
・ 情報を開示・提供してほしい／制度・サービスなどがわからない	1	4	4	14
・ 相談窓口の拡充／相談に乗ってほしい	2	7	6	2
<b>【その他】</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>6</b>	<b>3</b>



# 資料 使用した調査票

身体障害者、精神障害者、難病患者は同じ調査票を使用しました。  
ただし、身体障害者用は音声コードをつけました。  
知的障害者は、分かりやすい調査票を使用しました。  
ここでは身体障害者、知的障害者の調査票を掲載します。





## 身体障害者用

### 【区分3】

## 障害のある方などの住まい方に関するアンケート調査

### ～ ご協力のお願い ～

日ごろより練馬区政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
練馬区では、このたび、障害がある方の住まいの状況、将来の住まいの希望等を調査し、グループホームへの入居などの住まいのニーズを把握することを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。  
このアンケート調査は、区内にお住まいの身体障害者手帳所持者・知的障害者手帳所持者、精神通院医療費助成制度利用者、難病医療費助成制度利用者を、無作為に抽出し、対象としています。なお、調査は無記名であり、結果については統計的に処理しますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。  
ご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

平成28年9月

練馬区

### 【ご記入にあたってのお願い】

- アンケート用紙および返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒の宛名ご本人に記入していただくものです。ただし、ご本人が記入することが困難な場合には、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら記入していただけますようお願いいたします。また、ご本人の意見の確認が困難な場合には、ご家族や身近な方がご回答できる範囲で記入していただきますようお願いいたします。
- なお、宛名の方がアンケート調査の対象でない場合は、お手数ですが廃棄ください。
- 記入は、黒または青のボールペンや鉛筆でお願いいたします。
- お答えは、平成28年4月1日現在の状況を記入してください。
- 問1から順に質問ごとに用意した回答の中から、当てはまるものの番号を○で囲んでください。数字を記入する質問については、枠内に数字を記入してください。
- 「その他」を選んだ場合は、( )内に具体的に内容を記入してください。
- 一部の方だけに回答いただく質問もありますが、その場合は説明文がありますので、該当する方のみお答えください。

ご記入いただいた調査票は、**10月17日(月)**までに  
同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函ください。

- ・各ページの角に印刷された模様は「音声コード」です。
- ・市販の「活字読み上げ装置」を利用して音声を聞くことができます。
- ・なお、模様の印刷された部分には、位置をわかりやすくするために、ページの端に「切りかき」をつけています。

なお、このアンケート調査は、株式会社総合企画に委託して実施しています。  
この調査についてのご質問・お問い合わせは、株式会社総合企画までお願いいたします。

### 【アンケート調査に関するお問い合わせ先】

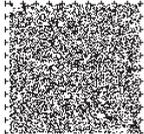
株式会社総合企画 (そうこうきかく)  
東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階 [受付時間]  
電話：03-5829-6203 (直通) 電話：月～金 (祝日除く) 9:30～18:00  
Eメール：nerima-sh@sogo-k.co.jp Eメール：24時間 (ご回答は祝日除く月～金)

株式会社総合企画は、プライバシーマークを取得しており、個人情報の取扱いに関して、法令やその他の規範を遵守し、取り扱っています。  
プライバシーマークとは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が、個人情報を適切に取り扱うことのできる企業や団体(事業者)を審査し認定する制度です。



### 【調査の主体(依頼元)】

練馬区 福祉部 障害者施策推進課 事業計画担当係  
〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号







【問7で「7.生活介護」「8.自立訓練」「9.就労移行支援」「10.就労継続支援」「11.デイケア（病院など）」とお答えの方にお聞きします】※該当しない方は問8へ

問7-1 「生活介護」「自立訓練」「就労移行支援」「就労継続支援」「デイケア」へは、1週間に平均何日くらい通っていますか。(〇は1つ)

1. 週1日      3. 週3日      5. その他  
2. 週2日      4. 週4日以上      ( )

問7-2 「生活介護」「自立訓練」「就労移行支援」「就労継続支援」「デイケア」の通所先の名称（施設名・事業所名等）を具体的に記入してください。

【すべての方にお聞きします】

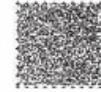
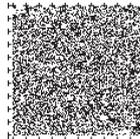
問8 あなたは現在、日常生活をおくるために、医療的なケアを必要としていますか。(〇は1つ)

1. 必要      2. 必要ではない      → 問9へ

【問8で「1. 必要」とお答えの方にお聞きします】※該当しない方は問9へ

問8-1 どのような医療的ケアが必要ですか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 経管栄養      5. 吸入  
2. 胃ろう      6. 気管カニューレ  
3. 腸ろう      7. 導尿  
4. たん等の吸引      8. その他 ( )



【すべての方にお聞きします】

問9 現在のあなたご自身の収入について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

1. 就労による収入（工賃を含む）      7. 児童育成手当  
2. 重度心身障害者手当      8. 障害基礎年金  
3. 特別障害者手当      9. 障害厚生年金  
4. 障害児福祉手当      10. 生活保護  
5. 心身障害者福祉手当      11. 家族などからの仕送り  
6. 特別児童扶養手当      12. その他 ( )

問9-1 あなたご自身について、1か月の合計収入（就労や手当を合わせた合計額）をお答えください。(〇は1つ)

※生活保護費、ご家族等の収入は除いてお答えください。

（生活保護費や家族等の収入は含めずに…）

1. 5万円未満      4. 15万円以上20万円未満  
2. 5万円以上10万円未満      5. 20万円以上25万円未満  
3. 10万円以上15万円未満      6. 25万円以上

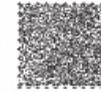
【問9で「1. 就労による収入」とお答えの方にお聞きします】

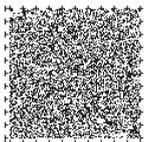
※該当しない方は問10へ

問9-2 あなたの現在の仕事の形態は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

※複数の仕事をしている場合は、もっとも収入の多い仕事を1つお選びください。

1. 正社員・正職員  
2. 非正規社員・非正規職員（パートタイム・アルバイト等）  
3. 自宅で仕事をしている  
4. 福祉的就労（就労継続支援・就労移行支援）での仕事  
5. その他 ( )





【すべての方にお聞きします】

問10 あなたの世帯の、**主な生計維持者（もっとも収入が多い方）**はどなたですか。（○は1つ）

（○は1つ）

※「3. 父」「4. 母」とお答えの場合は、年齢（平成28年4月1日現在）をご記入ください。

1. 本人（この調査の対象の方）	5. 子
2. 本人の配偶者（夫・妻）	6. 祖父・祖母
3. 父 → 父の年齢 [      歳 ]	7. 兄弟・姉妹
4. 母 → 母の年齢 [      歳 ]	8. その他（      ）

問10-1 前問の問10でお答えいただいた、**主な生計維持者（もっとも収入が多い方）**の年収をお答えください。（○は1つ）

※平成27年度（昨年度）の税込の年収額としてください。

1. 100万円未満	4. 500万円以上700万円未満
2. 100万円以上300万円未満	5. 700万円以上900万円未満
3. 300万円以上500万円未満	6. 900万円以上

現在の住まいについて

問11 あなたは現在、練馬区のどちらにお住まいですか。（○は1つ）

（50音順に並んでいます）

- |           |          |          |          |
|-----------|----------|----------|----------|
| 1. 旭丘     | 13. 下石神井 | 25. 豊玉中  | 37. 早宮   |
| 2. 旭町     | 14. 石神井台 | 26. 豊玉南  | 38. 光が丘  |
| 3. 大泉学園町  | 15. 石神井町 | 27. 土支田  | 39. 氷川台  |
| 4. 大泉町    | 16. 関町北  | 28. 中村   | 40. 東大泉  |
| 5. 春日町    | 17. 関町東  | 29. 中村北  | 41. 富士見台 |
| 6. 上石神井   | 18. 関町南  | 30. 中村南  | 42. 平和台  |
| 7. 上石神井南町 | 19. 高野台  | 31. 西大泉  | 43. 南大泉  |
| 8. 北町     | 20. 高松   | 32. 西大泉町 | 44. 南田中  |
| 9. 向山     | 21. 田柄   | 33. 錦    | 45. 三原台  |
| 10. 小竹町   | 22. 立野町  | 34. 貫井   | 46. 谷原   |
| 11. 栄町    | 23. 豊玉上  | 35. 練馬   |          |
| 12. 桜台    | 24. 豊玉北  | 36. 羽沢   |          |



問12 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. あなた名義の持ち家	→ 問13へ
2. 親族名義の持ち家	
3. あなたと親族等の共有名義の持ち家	
4. 民間賃貸住宅	
5. 都営・区営住宅	
6. グループホーム	→ 問14へ（次のページ）
7. 入院	
8. その他（      ）	→ 問13へ

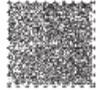
【問12で「1. あなた名義の持ち家」「2. 親族名義の持ち家」「3. 共有名義の持ち家」「4. 民間賃貸住宅」「5. 都営・区営住宅」「8. その他」とお答えの方にお聞きします】  
※該当しない方（「6. グループホーム」「7. 入院」とお答えの方）は問14へ

問13 現在、あなたと同居している家族はどなたですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 一人暮らし	5. 子
2. 配偶者（夫・妻）	6. 祖父・祖母
3. 父	7. 兄弟・姉妹
4. 母	8. その他（      ）

問13-1 あなたのことを、**もっとも長い時間、介助・援助している人**はどなたですか。  
**1つだけ**○をつけてください。（○は1つ）

1. 配偶者（夫・妻）	6. 兄弟・姉妹
2. 父	7. ヘルパー
3. 母	8. その他（      ）
4. 子	9. 介助・援助は必要ない
5. 祖父・祖母	10. 介助・援助する人はいない



住まいの希望について

問14 あなたは、**5年後**、どのような暮らし方を希望しますか。  
第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホーム<sup>(※)</sup>で暮らしたい
4. 施設に入所して暮らしたい
5. その他 ( )

↑

第1希望	第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を記入してください。

(※)グループホーム(共同生活援助事業)とは…  
障害のある方が、夜間や休日に、共同生活を行う住居で、相談、入浴、排せつ、食事の介護や日常生活上の支援を受けながら生活しています。

問15 あなたは、**10年後**、どのような暮らし方を希望しますか。  
第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームで暮らしたい
4. 施設に入所して暮らしたい
5. その他 ( )

↑

第1希望	第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を記入してください。

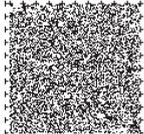
問16 では、**20年後**、どのような暮らし方を希望しますか。  
第1希望、第2希望について、右の枠に項目の番号を記入してください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームで暮らしたい
4. 施設に入所して暮らしたい
5. その他 ( )

↑

第1希望	第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を記入してください。



地域で生活する場合に希望するサービスについて

問17 地域で一人暮らし(または家族と一緒に)生活する場合は、または将来的に地域で在宅生活をしたい場合、どのようなサービスがあれば良いと思いますか。  
現在受けているサービス以外に希望するサービスについて、具体的にお願いください。

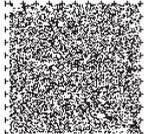

問18 あなたはこれまでに、地域で生活するときに困ったことはありませんでしたが、もっとも困ったことから順番に、最大6番目まで選び、下の枠に項目の番号を記入してください。

1. バリアフリーに対応した物件がない
2. 不動産業者(または貸主)が相談に応じなかった
3. 契約や手続きが分からない
4. 保証人がいない
5. 緊急連絡先がない
6. その他 ( )
7. 特に困ったことはない

➔

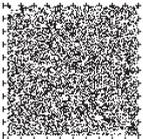
1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目

※上の項目「1」～「7」から選び、番号を記入してください。  
※あてはまるものがない場合は、6番目まで記入しなくても結構です。









問26 その他、住まいに関するご意見・ご要望等ございましたら、具体的にお聞かせください。

-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----
-----

質問は以上です。  
お忙しいところ回答いただき、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、10月17日（月）までに  
投函いただけますよう、お願いいたします。



## 知的障害者用

【区分1】

### 障害のある方などの住まい方に関するアンケート調査

#### ～ ご協力をお願いします ～

白くろより練馬区政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
練馬区では、このたび、障害がある方の住まいの状況、将来の住まいの希望等を調査し、グループホームへの入居などの住まいのニーズを把握することを目的として、アンケート調査を実施することといたしました。  
このアンケート調査は、区内にお住まいの愛の手帳をお持ちの方々を、無作為に選んで対象としています。なお、このアンケートには、お名前を書く必要はありません。お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。  
ご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

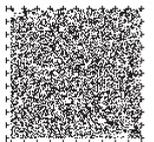
平成28年9月

練馬区

#### 【 ご記入にあたってのお願い 】

- アンケート用紙および返信用封筒には、お名前・ご住所を書く必要はありません。
- このアンケートは、封筒の宛名ご本人に書いていただくものです。ただし、ご本人が書くことがむずかしい場合は、ご家族や身近な方がご本人の意見を聞きながら代わりに書いてください。また、ご本人の意見の確信がむずかしい場合には、ご家族や身近な方がご回答できる範囲で書いてください。
- なお、宛名の方がアンケート調査の対象でない場合は、お手数ですが捨ててください。
- アンケートは、黒または青のボールペンや鉛筆で書いてください。
- お答えは、平成28年4月1日現在の状況を書いてください。
- 問1から順に質問ごとに用意した回答の中から、当てはまるものの番号に○をつけてください。数字を書き込む質問については、枠内に数字を書いてください。
- 「その他」を選んだ場合は、( ) 内に具体的に内容を書いてください。
- 一部の方だけに回答いただく質問もありますが、その場合は説明文がありますので、あてはまる方のみお答えください。

ご記入いただいたアンケート用紙は、**10月17日(月)**までに、  
一纏にはいつている返信用封筒(切手はいりません)に入れて、お近くの郵便ポストに入れてください。



なお、このアンケート調査は、株式会社総合企画に依頼して実施しています。

このアンケート調査について、わからない点がございましたら、株式会社総合企画にお問い合わせください。

#### 【 アンケート調査に関するお問い合わせ先 】

株式会社総合企画 (そうこうきかく)

東京都台東区浅草橋1-7-2 岩崎ビル4階

電話 : 03-5829-6203 (直通) → 月～金 (祝日除く) 9:30～18:00

Eメール : nerima-sh@sogo-k.co.jp → 24時間 (ご回答は祝日を除く月～金)

株式会社総合企画は、プライバシーマークを取得しており、個人情報の取扱いは、緊密やその他の規範を守り、取り扱っています。

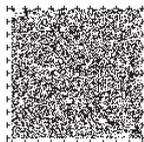
プライバシーマークとは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)が、個人情報保護法に基づいて認定する企業や団体(事業者)を審査し認定する制度です。



#### 【 調査の主体 (依頼元) 】

練馬区 福祉部 障害者施策推進課 事業計画担当係

〒176-8501 東京都練馬区蓮玉北6丁目12番1号



問1 このアンケート調査票は、どなたが書きますか。(Oは1つ)

1. 自分一人で書いている
2. 本人の意向を確認しながら、家族または支援者が書いている
3. 家族または支援者が書いている(本人の意向が確認できないため)

**あなた(あて名の方ご本人)のことについて**

問2 あなたの年齢をお答えください。  
 歳 ※平成28年(今年の)4月1日現在で書いてください。

問3 あなたの性別をお答えください。(Oは1つ)

1. 男性
2. 女性

問4 あなたは障害者手帳をお持ちですか。(Oは1つ)

1. もっている
2. もっていない → 問5へ

**【問4で「1. もっている」とお答えの方にお聞きします】※持っていない方は問5へ**

問4-1 あなたがもっている、障害者手帳にOをつけてください。(Oはいくつでももっている手帳の等級・度数にもOをつけてください。)

1. 愛の手帳 → [ 1級・2度・3度・4度 ]
2. 精神障害者保健福祉手帳 → [ 1級・2級・3級 ]
3. 身体障害者手帳 → [ 総合級 = 1級・2級・3級・4級・5級・6級 ]

※手帳に書いてある障害名と等級をお答えください。

- |                        |                                                             |
|------------------------|-------------------------------------------------------------|
| ア. 視覚障害                | → [ 1級・2級・3級・4級・5級・6級 ]                                     |
| イ. 聴覚障害                | → [ 2級・3級・4級・6級 ]                                           |
| ウ. 肢体不自由               | → [ 上肢機能障害 → [ 2級 ]<br>下肢機能障害 → [ 2級 ]<br>体幹機能障害 → [ 2級 ] ] |
| エ. その他、アからウまでに書いていないもの | ◆障害名 → [ ]<br>◆等級 → [ 級 ]                                   |

**【すべての方にお聞きします】**

問5 あなたは、自立支援医療(精神通院)または難病医療費の助成を利用していますか。利用している場合は、病名を書いてください。

1. 自立支援医療(精神通院)を利用している  
 ↳ 病名 [ ]
2. 難病医療費助成を利用している  
 ↳ 病名 [ ]
3. 利用していない

問6 あなたは、福祉サービスを利用するための障害支援区分は、決まっていますか。(Oは1つ)

決まっている場合は、障害の区分にOをつけてください。

1. 決まっている  
 ↳ [ 区分1・区分2・区分3・区分4・区分5・区分6 ]
2. 決まっていない

問7 あなたは福祉、障害福祉サービスを利用していますか。あてはまるものすべてにOをつけてください。(Oはいくつでも)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. 居宅介護(ホームヘルプ) | 7. 生活介護(福祉園など)    |
| 2. 重度訪問介護       | 8. 自立訓練           |
| 3. 同行介護         | 9. 就労移行支援(作業所など)  |
| 4. 行動介護         | 10. 就労継続支援(作業所など) |
| 5. 重度障害者等包括支援   | 11. テイクア(病院など)    |
| 6. 短期入所         | 12. 訪問看護          |
|                 | 13. その他( )        |
|                 | 14. サービスは受けていない   |

(7から11までにOをつけなかった方は次のページの問8へ)



【問7で「7. 生活介護」「8. 自立訓練」「9. 就労移行支援」「10. 就労継続支援」「11. テイクア（病院など）」とお答えの方にお聞きします】※当てはまらない方は問8へ

問7-1 「生活介護（福祉館など）」「自立訓練」「就労移行支援（作業所など）」「就労継続支援（作業所など）」「テイクア」へは、1週間に何日くらい通っていますか。  
(○はいくつ)

- 1. 週1日
- 2. 週2日
- 3. 週3日
- 4. 週4日以上
- 5. その他 ( )

問7-2 「生活介護」「自立訓練」「就労移行支援」「就労継続支援」「テイクア」の名前（施設名・事業所名など）を書いてください。

【すべての方にお聞きします】

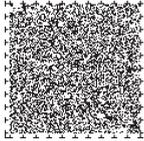
問8 あなたは現在、ふだんの生活をおくるために、医療的なケアを必要としていますか。  
(○は1つ)

- 1. 必要
- 2. 必要ではない → 問9へ

【問8で「1. 必要」とお答えの方にお聞きします】※当てはまらない方は問9へ

問8-1 どのような医療的ケアが必要ですか。  
あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1. 経管栄養
- 2. 胃ろう
- 3. 腸ろう
- 4. たん等の吸引
- 5. 吸入
- 6. 気管カニューシ
- 7. 褥瘡
- 8. その他 ( )



【すべての方にお聞きします】

問9 現在のあなたご自身の収入について、あてはまるものすべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

- 1. 働いた収入（給料、作業所の工賃）
- 2. 重度心身障害者手当
- 3. 特別障害者手当
- 4. 障害児福祉手当
- 5. 心身障害者福祉手当
- 6. 特別児童扶養手当
- 7. 児童育成手当
- 8. 障害基礎年金
- 9. 障害厚生年金
- 10. 生活保護
- 11. 家族などからの仕送り
- 12. その他 ( )

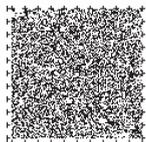
問9-1 あなたご自身が1か月間にもらうお金（給料・工賃・年金など）は、全部でいくらですか。(○は1つ)  
※生活保護費、ご家族等の収入は除いてお答えください。

- (生活保護費や家族等の収入は含めずに…)
- 1. 5万円未満
  - 2. 5万円以上10万円未満
  - 3. 10万円以上15万円未満
  - 4. 15万円以上20万円未満
  - 5. 20万円以上25万円未満
  - 6. 25万円以上

【問9で「1. 働いた収入（給料、作業所の工賃）」とお答えの方にお聞きします】  
※当てはまらない方は問10へ

問9-2 あなたの働き方は、次のうちどれですか。(○は1つ)  
※2つ以上の仕事をしている場合は、もっとも収入の多い仕事を1つお選びください。

- 1. 正社員・正職員
- 2. 非正規社員・非正規職員（パートタイム・アルバイト等）
- 3. 自宅で仕事をしている
- 4. 福祉的就労（作業所など）での仕事
- 5. その他 ( )



【すべての方にお聞きします】

問10 あなたと一緒に住んでいる人のうち、もっとも収入が多い方(生計維持者)はどなたですか。(〇は1つ)  
※「3. 父」「4. 母」と答えた方は、年齢(平成28年4月1日現在)を書いてください。

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 本人(この調査の対象の方)  | 5. 子           |
| 2. 夫または妻          | 6. おじいさん・おばあさん |
| 3. 父 → 父の年齢 [ 歳 ] | 7. 兄弟・姉妹       |
| 4. 母 → 母の年齢 [ 歳 ] | 8. その他 ( )     |

問10-1 前の質問(問10)でお答えいただいた、もっとも収入が多い方の年収を

お答えください。(〇は1つ)  
※平成27年度(昨年度)の税込の年収額としてください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 100万円未満        | 4. 500万円以上700万円未満 |
| 2. 100万円以上300万円未満 | 5. 700万円以上900万円未満 |
| 3. 300万円以上500万円未満 | 6. 900万円以上        |

現在の住まいについて

問11 あなたは、現在、緑区どこに住んでいますか。(〇は1つ)

- |               |          |          |          |
|---------------|----------|----------|----------|
| (50音順に並んでいます) |          |          |          |
| 1. 旭丘         | 13. 下石神井 | 25. 鎌玉中  | 37. 草野   |
| 2. 旭町         | 14. 石神井谷 | 26. 鎌玉南  | 38. 光が丘  |
| 3. 天雲学園町      | 15. 岩神井町 | 27. 土支由  | 39. 沢川台  |
| 4. 大栗町        | 16. 関町北  | 28. 中村   | 40. 栗大栗  |
| 5. 春日町        | 17. 関町東  | 29. 中村北  | 41. 富士見台 |
| 6. 上石神井       | 18. 関町南  | 30. 中村南  | 42. 平和台  |
| 7. 上石神井南町     | 19. 高野台  | 31. 西大栗  | 43. 南大栗  |
| 8. 北町         | 20. 高松   | 32. 西大栗町 | 44. 岡田中  |
| 9. 向山         | 21. 田柄   | 33. 錦    | 45. 三原台  |
| 10. 小竹町       | 22. 立野町  | 34. 黄井   | 46. 谷原   |
| 11. 栄町        | 23. 鎌玉上  | 35. 鎌馬   |          |
| 12. 秘谷        | 24. 鎌玉北  | 36. 駒沢   |          |

問12 あなたは現在、どのように住んでいますか。(〇は1つ)

- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| 1. 自分の持ち家                  | → 問13へ  |
| 2. 親など家族の持ち家               |         |
| 3. あなたと家族の一緒に持ち家(共有名義)     |         |
| 4. アパート、賃貸マンション、借家(民間賃貸住宅) |         |
| 5. 都営・区営住宅                 |         |
| 6. グループホーム                 | → 問14へ  |
| 7. 入居                      | (次のページ) |
| 8. その他 ( )                 | → 問13へ  |

【問12で「1. 自分の持ち家」「2. 親など家族の持ち家」「3. 一緒に持ち家」「4. アパート、賃貸マンション、借家」「5. 都営・区営住宅」「8. その他」とお答えの方にお聞きします】  
※当てはまらない方(「6. グループホーム」「7. 入居」とお答えの方)は問14へ

問13 現在、あなたと一緒に暮らしている人はだれですか。

あてはまるものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. 一人暮らし | 5. 子           |
| 2. 夫または妻 | 6. おじいさん・おばあさん |
| 3. 父     | 7. 兄弟・姉妹       |
| 4. 母     | 8. その他 ( )     |

問13-1 もっとも長い期間、あなたの生活を助けてくれる人(介助・援助者)はどなたですか。1つだけ〇をつけてください。(〇は1つ)

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 夫または妻       | 6. 兄弟・姉妹           |
| 2. 父           | 7. ヘルパー            |
| 3. 母           | 8. その他 ( )         |
| 4. 子           | 9. 生活を助けてもらう必要がない  |
| 5. おじいさん・おばあさん | 10. 生活を助けてもらう人はいない |

【すべての方にお聞きします】

住まいの希望について

問14 あなたは、**5年後**、どのような暮らしがしたいですか。暮らしたい順番に、右の枠に項目の番号を書いてください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホーム<sup>(※)</sup>で暮らしたい
4. 施設に入って暮らしたい
5. その他 ( )

第1希望

第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を書いてください。

(※) グループホーム（共同生活援助事業）とは・・・

障害のある方が、夜や休日に、みんなで生活するところです。相談をしたり、お風呂、トイレ、食事の準備などを手伝ってもらいながら生活しています。

問15 あなたは、**10年後**、どのような暮らしがしたいですか。暮らしたい順番に、右の枠に項目の番号を書いてください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームで暮らしたい
4. 施設に入って暮らしたい
5. その他 ( )

第1希望

第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を書いてください。

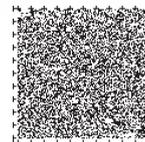
問16 では、**20年後**、どのような暮らしがしたいですか。暮らしたい順番に、右の枠に項目の番号を書いてください。

1. ひとりで暮らしたい
2. 家族と一緒に暮らしたい
3. グループホームで暮らしたい
4. 施設に入って暮らしたい
5. その他 ( )

第1希望

第2希望

※左の項目「1」～「5」から選び、番号を書いてください。



【すべての方にお聞きします】

地域で生活する場合に希望するサービスについて

問17 地域で一人暮らし（または家族と一緒に）生活する場合、またはこれから発、地域で生活をしたい場合、どのようなサービスがあれば良いですか。現在受けているサービス以外に希望するサービスについて、具体的に書いてください。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

問18 あなたはこれまでに、地域で生活するときに困ったことはありませんか。困ったことも困ったことから順番に、最大6番目まで選び、下の枠に項目の番号を書いてください。

1. バリアフリー（段差がないなど）になっていない物件がない
2. 不動産（または貸主）が相談のつてくれなかった
3. 契約や手続きが分からない
4. 保証人がいない
5. 緊急連絡先がない
6. その他 ( )
7. 枠に困ったことはない

1番目

2番目

3番目

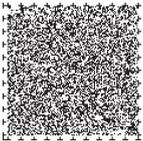
4番目

5番目

6番目

※上の項目「1」～「7」から選び、番号を書いてください。

※あてはまるものがない場合は、6番目まで書かなくても結構です。



【すべての方にお聞きします】

グループホームについて

◎ ここからは、『グループホーム』に入り、生活することについてうかがいます。この先、グループホームに入ることを望んでいない方も、入ると考えてお答えください。

問19 グループホームの「場所(まわりの環境)」について、どのようなことが大事ですか。もっとも大事なことから順番に、5つまで選び、下の枠に項目の番号を書いてください。

1. 家族がいる場所に近い
2. 作業所・福祉館または職場に近い
3. 駅に近い
4. バス停に近い
5. 通院先の病院に近い
6. 近くの駅のみわりのバリアフリーである(段差がない)
7. 相談できる場所や相手が近くに
8. その他( )
9. 特に大事なものはなし

➔

1番目	2番目	3番目	4番目	5番目

※上の項目「1」～「9」から選び、番号を書いてください。  
※あてはまるものがない場合は、5番目まで書かなくても結構です。

問20 グループホームに入る場合、どのようなことが大事ですか。もっとも大事なことから順番に、5つまで選び、下の枠に項目の番号を書いてください。

1. 家賃が安い
2. グループホームの事業者が日中活動先(作業所や福祉館など)の事業者と同じである
3. 世話人(生活の手助けをしてくれる人)がいつもグループホームにいる
4. バリアフリーである(段差がない)
5. 自分だけのトイレ、お風呂がある
6. その他( )
7. 特に大事なものはなし

➔

1番目	2番目	3番目	4番目	5番目

※上の項目「1」～「7」から選び、番号を書いてください。  
※あてはまるものがない場合は、5番目まで書かなくても結構です。

問21 グループホームと一緒に住つかわるもの(風呂、トイレなど)で、希望するものがあれば具体的に書いてください。(例：介護用リフト)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

問22 グループホームに入る場合、どのような手助けがあるといいですか。下の枠に項目の番号を書き、もっとも手助けしてほしいことから順番に、6つまで選び、下の枠に項目の番号を書いてください。

1. 外出の手助け					
2. 生活のみまもり					
3. お金の管理					
4. 薬の管理					
5. 食事の手助け					
6. 医療的ケア					
7. 病院に行くときの手助け					
8. 体を動かす手助け（お風呂、トイレ、歩く、体の向きを動かすなどの手助け）					
9. その他（ ）					
10. 特に手助けしてもらいたいことはない					



1番目	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目

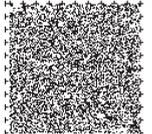
※上の項目「1」～「10」から選び、番号を書いてください。

※あてはまるものがない場合は、6番目まで書かなくても結構です。

問23 グループホームに入ると、1か月あたり食費・電気代などとして約5万円程度かかり、その他に「家賃」が必要となります。

「家賃」として、月額いくらまで支払うことができますか。（〇は1つ）

1. 4万円未満	→	「具体的な金額を書いてください：_____円」
2. 4万円以上5万円未満		
3. 5万円以上6万円未満		
4. 6万円以上7万円未満		
5. 7万円以上	→	「具体的な金額を書いてください：_____円」

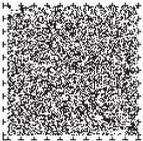


問24 グループホームをつくるときに、希望することがありましたら、具体的に書いてください。

_____
_____
_____
_____
_____
_____

問25 グループホームに入るとき、一番心配なことを、継続となっていること（困っていること）は、どのようなことですか。具体的に書いてください。

_____
_____
_____
_____
_____
_____



問26 その他、在まいに関するご意見・ご要望等ございましたら、具体的にお願いします。


質問は以上です。  
お忙しいところ回答いただき、誠にありがとうございました。

一緒に入っている返信用封筒（切手はいりません）に入れて、  
**10月17日（月）までに** お近くのポストにいれてください。  
よろしく願います。

## 障害者の住まい方に関する調査 報告書

平成29年（2017年）3月

編集・発行 練馬区 福祉部 障害者施策推進課 事業計画担当係  
〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号  
電話 03-5984-4602（ダイヤルイン）

調査実施 株式会社総合企画  
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1丁目7番2号  
電話 03-5829-6203（代表）

この報告書の白色の用紙は、再生紙を使用しています。

